

基本操作

基本操作	26
タッチパネルの使いかた	26
縦／横画面表示を切り替える	26
画面について	27
ホーム画面を利用する	28
ホーム画面をカスタマイズする	28
ロック画面にウィジェットを追加する	29
メインメニューを利用する	29
メインメニューをカスタマイズする	29
ホーム画面のスタイルを切り替える	29
ファミリーモードを使う	30
メニューを表示する	31
スライドイン機能を利用する	31
アプリケーションやWebページの情報を検索する	32
最近使用したアプリケーションを起動／終了する	32
通信機能をオフにする(機内モード)	32
マナーモードを設定する	32
タッチロックモードを設定する	33
シアターモードを利用する	33
文字入力	33
キーボードについて	33
ATOKで文字を入力する	33
ATOKを設定する	37
中国語・韓国語に関する設定をする	38
Googleキーボードで文字を入力する	38
Googleキーボードを設定する	38
外付けキーボードを利用する	38

基本操作

FJT21の基本操作を説明します。

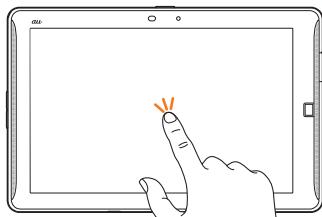
■ タッチパネルの使いかた

FJT21のディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。

- ・ディスプレイが汚れていれば汗や水でぬれると、タッチパネルが誤動作する場合があります。その場合はディスプレイの表面をきれいに拭き取ってください。

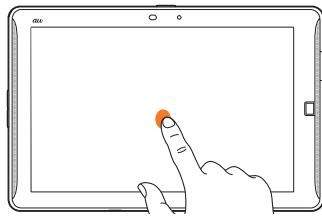
■ タップ／ダブルタップ

画面の項目やアイコンを指で軽く叩いて選択します。また、2回連続で同じ位置をタップする操作をダブルタップと呼びます。



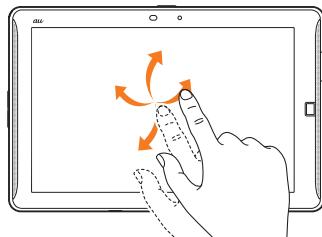
■ ロングタッチ

画面の項目やアイコンを指で押さえたままにします。ポップアップメニューなどを表示する場合に使います。



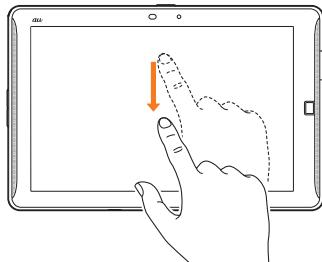
■ フリック

ホーム画面やギャラリーなど、複数のページやデータがあるときに画面を上下左右にすばやく払うように触ると、画面が切り替わります。



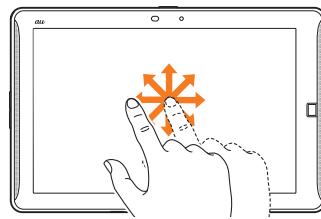
■ ドラッグ

画面の項目やアイコンを指で押さえながら移動します。



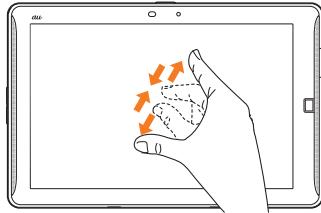
■ スライド

設定メニューやWebページ、PDFファイル、静止画の拡大表示時など、1画面で表示されないときに、画面に触れながら移動して表示させます。



■ ピンチ

Webページや静止画などの表示中に、画面を2本の指で広げる(ピンチアウト)と拡大し、狭める(ピンチイン)と縮小します。



縦／横画面表示を切り替える

FJT21の向きや動きを検知する加速度センサーによって、FJT21を縦または横に持ち替えて画面表示を切り替えることができます。

memo

- ◎ FJT21を垂直に立てた状態で操作してください。FJT21を水平に寝かせると向きや動きの変化を正しく検知できず、画面表示が切り替わらない場合があります。
- ◎ 「画面の自動回転」(▶P.106)がオフのときは画面表示を切り替えられません。なお、オンのときでも、画面によっては画面表示が切り替わらない場合があります。

画面について

アイコンの見かた

画面上部のステータスバーにはFJT21の状態を示すアイコンが表示されます。



主な通知アイコン

- ✉ 新着Gmail(▶P.61)
- ✉ 新着PCメール(▶P.60)
- ✉ 新着SMS(▶P.62)
- ✉ 緊急速報メール(▶P.89)
- ✉ 新着Eメール(▶P.49)
- 🎵 音楽プレイヤーで再生中(▶P.80)
- 📶 無線LAN(Wi-Fi®)のオープンネットワークが利用可能(▶P.99)
- Bluetooth®通信でファイル受信(▶P.102)
- Bluetooth®通信でパケット通信中
- USB接続中(▶P.95)
- Wi-Fi®テザリングが有効(▶P.100)
- USBテザリングが有効(▶P.100)
- Wi-Fi®テザリングとUSBテザリングが有効
- GPS測位中(▶P.109)
- Google Playなどからのアプリケーションがインストール完了(▶P.83)
- タッチブロックモード設定中(▶P.33)
- アプリ電池診断の通知(▶P.107)
- 📺 テレビ(ワンセグ)受信状態(白)(▶P.73)
- 📺 テレビ(フルセグ)受信状態(青)(▶P.73)
- 📺 テレビ(ワンセグ)録画中(白)(▶P.75)
- 📺 テレビ(フルセグ)録画中(青)(▶P.75)
- DXiM Server起動中(▶P.80)
- 💻 ソフトウェア更新のお知らせ(▶P.121)
- 📞 IP通話アプリの音質サポート設定中(▶P.105)

主なステータスアイコン

- あ ATOKのかな入力モード(▶P.34、35)
- A ATOKの英数字入力モード(▶P.34、35)
- 數 ATOKの数字入力モード(▶P.34)
- 手 ATOKの手書き入力(▶P.36)
- 他 ATOKの絵文字／顔文字／記号、定型文入力(▶P.36)
- NFCを有効に設定中(▶P.82)
- * Bluetooth®機能オン(▶P.101)
- * Bluetooth®対応機器と通信中(▶P.101)
- 無線LAN(Wi-Fi®)接続中(▶P.98)
- 通常マナーモード(▶P.32)
- サイレントマナー(▶P.32)
- アラームONマナー(▶P.32)
- オリジナルマナー(▶P.33)
- 音量OFF(サイレント)中(▶P.105)
- 持ってる間ONで常時点灯中(▶P.106)
- 持ってる間ONで消灯時
- マルチコネクション有効(▶P.99)
- LTE / 3G / 4G パケット通信の利用状態(▶P.66)
- 電波状態
- 圏外
- 機内モード(▶P.32)
- 電池レベル
 - (青色)電池残量十分／■(黄色)電池残量が少ない／■(赤色)電池残量がほとんどない／■要充電
- 充電中(▶P.21)

通知パネルについて

通知アイコンが表示されたときは、通知パネルを開くと通知の概要を確認できます。また、ステータスパネルスイッチをタップして各機能のオン／オフなどを切り替えたり、✿をタップして設定メニューを表示したりすることもできます。

1 ステータスバーを下にドラッグ



① ステータスパネルスイッチ

各スイッチをタップすると機能のオン／オフなどの設定ができます。

- スイッチをロングタッチ→機能をタップして、機能を入れ替えることができます。設定できる機能は次の通りです。
 - 無線LAN(Wi-Fi®)機能のオン／オフ
 - 最適通信設定
 - GPS機能のオン／オフ
 - Bluetooth®機能のオン／オフ
 - NFC(P2P/Androidビーム)のオン／オフ
 - 画面の自動回転のオン／オフ
 - 画面の明るさの設定
 - マナーモードの設定／解除
 - ブルーライトカットモードの設定
 - 機内モードのオン／オフ
 - モバイルデータ通信のオン／オフ
 - Dolby Digital Plusのオン／オフ
 - microSDカードのマウント解除
 - エコモードのオン／オフ
 - LTEのオン／オフ
 - Wi-Fi®テザリングのオン／オフ

② すべて消去

通知パネル内の表示を消去します。ただし、通知内容によっては消去できない場合があります。

③ 設定

各種設定を行うことができます(▶P.104)。

④ 通知／実行中の項目

新着メッセージなど、通知の詳細を確認したり、必要な設定を行ったりできます。

⑤ 通知パネルを閉じる

▲を上にドラッグすると通知パネルを閉じます。

memo

- ◎ ▲をタップしても通知パネルを閉じることができます。
- ◎ 通知を左右にフリックして、通知を消去することもできます。

ホーム画面を利用する

ホーム画面は、FJT21のすべての操作のスタート地点です。□をタップするといつでも表示することができます。また、複数の画面で構成されており、左右にフリックすると切り替えることができます。ホーム画面では、アプリケーションのショートカットやウィジェットを自由に配置できます。



① 検索ウィジェット（クイック検索ボックス）

タップしてキーワードを入力すると、FJT21のアプリケーションやWebページの情報を検索できます（▶P.32）。

② 画面表示位置

③ ドック（Dock）メニュー

アイコンをタップすると、アプリケーションや機能を起動できます。お好みのアプリケーションのショートカットを最大8個まで設定できます。フォルダを設定することもできます。

・未読メールなどがある場合は、アイコンに件数が表示されることがあります。

④ □: キャプメモボタン

お買い上げ時はボタンをタップするだけでキャプメモを利用できます。キャプメモボタンは、表示しないように設定することもできます（▶P.106）。

⑤ カスタマイズエリア

アプリケーションのショートカットやウィジェットを自由に配置できます。

⑥ ナビゲーションキー

◀: 前の画面に戻ります。

▶: ホーム画面に戻ります。ロングタッチしたまま ▶までドラッグして指を離すと、Google検索を利用できます。

◀: 最近使用したアプリケーションの一覧を表示します。

≡: 現在の画面で使用できるオプションメニューを表示します。

⑦ メインメニュー ボタン

メインメニューを表示します。

ホーム画面からアプリケーションや機能を起動する

ホーム画面のドックメニュー や カスタマイズエリア から、FJT21に登録されているアプリケーションやウィジェットなどを起動できます。

1 ホーム画面で起動するアイテムをタップ

- ・アプリケーションアイコンやウィジェットをタップしてそれぞれの機能を使用すると、機能によっては通信料が発生する場合があります。

memo

○ウェブページへのリンク、画像の選択時などに、利用できるアプリケーションが複数存在する場合は、アプリケーション選択画面が表示されることがあります。その場合は、画面の指示に従ってアプリケーションを選択してください。

ホーム画面をカスタマイズする

ホーム画面にショートカットやウィジェットを追加できます。また、ホーム画面で ≡ をタップすると、ホーム設定や壁紙の変更などホーム画面に関する設定ができます。

カスタマイズエリアにショートカットやウィジェットを追加する

カスタマイズエリアには、好みのアイテム（ショートカットやウィジェット）を配置できます。

1 ホーム画面で ≡ 「アプリ」／「ウィジェット」→追加する アイテムをロングタッチ

- ・初回起動時はアプリ／ウィジェット選択についての説明画面が表示されます。内容を確認して「閉じる」をタップします。

2 追加する位置へドラッグして指を離す

ショートカットやウィジェットを並べ替える／削除する

1 ホーム画面で並べ替える／削除するアイテムをロングタッチ

2 移動する位置へドラッグして指を離す

- ・アイテムを削除する場合は、「ホームから削除」の上へドラッグして指を離します。

memo

○サイズを変更できるウィジェットの場合は、ロングタッチして指を離すとサイズ調節の枠が表示されます。枠をドラッグしてサイズを変更することができます。

フォルダを追加する

ショートカットを整理するためのフォルダを追加できます。

1 ホーム画面またはメインメニューでショートカットをロングタッチ

2 別のショートカットの上へドラッグして指を離す

memo

○フォルダ名を編集する場合は、編集するフォルダをタップ→フォルダのタイトルをタップ→フォルダ名を入力→「確定」をタップします。

○ショートカットをフォルダから出す場合は、対象のフォルダをタップ→フォルダから出すショートカットをロングタッチ→ドラッグしてホーム画面の上で指を離します。残りのショートカットが1つになると、フォルダは削除されます。

○フォルダ内のショートカットをすべて削除する場合は、削除するフォルダをロングタッチ→「ホームから削除」の上へドラッグして指を離します。

ホーム画面の壁紙を変更する

1 ホーム画面でカスタマイズエリアをロングタッチ

2 壁紙の選択方法をタップ→画像をタップ

- ・「ギャラリーの画像」を選択した場合は、トリミング枠の内部をドラッグして位置を指定し、トリミング枠をドラッグして表示範囲を設定したあと「OK」をタップします。
- ・「ギャラリーの画像」以外を選択した場合は、「壁紙に設定」をタップします。
- ・設定した壁紙によっては、以降も操作が必要な場合があります。画面の指示に従って操作してください。

ショートカットアイコンを変更する

ホーム画面上のショートカット、ドックメニューのアイコンデザインを変更できます。

1 ホーム画面で■→「アイコン変更」

変更できるアイコンに枠が表示されます。

2 デザインを変更するアイコンをタップ

3 アイコンのデザインを選択

- 「初期値に戻す」をタップすると、メインメニューのアイコンデザインに変更されます。

ホーム画面を設定する

ホーム画面の表示や手書き検索の検索対象など、ホーム画面の機能を設定します。

1 ホーム画面で■→「ホーム設定」

2 必要な項目を設定

ページ編集	ホーム画面をサムネイル表示し、ホーム画面の並べ替えや追加、削除ができます。 <ul style="list-style-type: none"> 並べ替える場合は、移動するホーム画面をロングタッチ→移動する位置にドラッグして指を離します。 追加する場合は「+」をタップします。 削除する場合は、削除するホーム画面をロングタッチ→■の上へドラッグして指を離す→「OK」をタップします。
新着通知表示	新着通知、ステータスバータブ、スライドナビ、タッチヘルパーガイドを表示するかどうかを設定します。
ループ	ホーム画面の左端と右端を連続して表示させるように設定できます。

ロック画面にウィジェットを追加する

ロック画面に時計や予定表などのウィジェットを追加して、利用することができます。

ロック画面のメインに表示されているウィジェットを含めて、最大5個まで登録できます。

1 ロック画面の左端で右にフリック

- すでにウィジェットが追加されている場合は、「ウィジェットを追加」が表示されるまで、右にフリックします。

2 「ウィジェットを追加」→「ウィジェットをタップ」

- ロック画面の左端で右にフリックし、利用するウィジェットが表示されるまで左右にフリックするとウィジェット画面を表示できます。

memo

◎ ウィジェットを並べ替えるには、移動するウィジェット画面を表示して、ロングタッチしたまま移動したい位置までドラッグして指を離します。

◎ ウィジェットを削除するには、削除するウィジェット画面を表示して、ロングタッチしたまま「削除」までドラッグして指を離します。

メインメニューを利用する

FJT21にインストールしたアプリケーションのアイコン／ウィジェットが一覧表示されます。アプリケーションアイコンをタップすると、アプリケーションを起動できます。

1 ホーム画面で■→

メインメニューが表示されます。

- 初回起動時はアプリ／ウィジェット選択についての説明画面が表示されます。内容を確認して「閉じる」をタップします。
- ・メインメニューで「アプリ」／「ウィジェット」タブをタップすると、アプリケーション一覧表示／ウィジェット一覧表示を切り替えます。
- ・「表示順」をタップすると、「アプリ」タブの場合は「名前順」「ダウンロード順」「カテゴリ」「カスタマイズ」で、「ウィジェット」タブの場合は「名前順」「ダウンロード順」でアイコンの表示順を変更できます。
- ・■をタッチしてスライダーを表示→移動する位置へドラッグすると、ページを切り替えることができます。

2 起動する機能／項目をタップ

- アプリケーションアイコンをタップしてそれぞれの機能を使用する、機能によっては通信料が発生する場合があります。

メインメニューをカスタマイズする

メインメニューで■をタップすると、アプリケーションアイコンの移動などのメインメニューに関する設定ができます。

アプリケーションアイコンを並べ替える／移動する

1 ホーム画面で■→■→「並び替え」

- 「並び替え」は、表示順を「カスタマイズ」または「カテゴリ」に設定している場合に選択できます。

2 並べ替える／移動するアプリケーションアイコンをロングタッチ→並べ替える／移動する位置へドラッグして指を離す

- をタップすると、並び順をリセットできます。
- カテゴリ名をタップすると、メインメニューのカテゴリ名を変更できます。ただし、「ダウンロード」／その他」カテゴリは変更できません。

3 「完了」→「OK」

ホーム画面のスタイルを切り替える

ホーム画面のスタイルを変更することができます。スタイルのテンプレートは「スタンダード」「キッズスタイル」「かんたんスタイル」の3タイプから選択できます。

- 本書は主に「スタンダード」の操作を説明しています。「キッズスタイル」「かんたんスタイル」では、スタンダードとは表示や操作が異なります。

1 ホーム画面で■→「スタイル設定」→「スタイル切替」

- ホーム画面で「スタイル切替」をタップしてもスタイル切替画面を表示できます。

2 利用するスタイルをタップ

memo

◎ 「かんたんスタイル」設定時にスタイルを切り替える場合は、ホーム画面で「アプリ一覧」→「設定」→「スタイル設定」→「スタイル切替」→利用するスタイルをタップします。

◎ 「ファミリー利用設定」で、それぞれが好きなホームスタイルを設定しておき、ロック画面から切り替えて利用することもできます(▶P.30)。

スタイルを作成する

- ホーム画面で「スタイル設定」→「スタイル切替」→「新規作成」
- スタイル名欄をタップしてスタイル名を入力→キーボードの「確定」
- 「利用するテンプレートを選択する」で「未設定」→テンプレートをタップ
- 「登録完了」
 - 「キッズスタイル」を選択した場合は、「スタイルを登録して次へ」→「キッズスタイル設定」画面で各項目を設定→「登録完了」をタップします(▶P.30)。
 - ファミリーモードを設定している場合は、「スタイルを登録して次へ」→「指紋を登録する」をタップして指紋を登録すると、指紋認証によるスタイルの切り替えができます。

■ キッズスタイルの設定をする



キッズスタイルで利用できるアプリケーションや利用できない時間帯などの設定ができます。

・あらかじめ、ロック画面で認証操作が必要なセキュリティ解除方法を設定する必要があります。また、設定項目を表示する際に認証操作が必要な場合があります。

- スタンダードまたはかんたんスタイル設定時に「スタイル切替」画面で、キッズスタイルをロングタッチ→「キッズスタイル設定」
- 各項目を設定

キッズの利用可能なアプリを選択する	キッズスタイルで使用してよいアプリケーションにチェックを付けます。
利用できない時間帯を設定する	「新規登録」をタップして、利用できない時間帯を設定します。
1日の利用可能時間を設定する	1日に利用可能な時間を設定します。
キッズ利用アプリ履歴を確認する*	キッズスタイルで使用したアプリケーションの履歴を確認できます。

*スタイルの新規作成から「キッズスタイル設定」画面を選択した場合は、表示されません。

■ かんたんスタイルを利用する



メインメニューはホーム画面で「アプリ一覧」をタップして表示します。

設定メニューはメインメニューで「設定」をタップするか、ホーム画面を左にフリックして設定画面を表示し、「さらに細かい設定」をタップして表示します。

作成したスタイルを編集・削除する

- ホーム画面で「スタイル設定」→「スタイル切替」
- 編集・削除するスタイルをロングタッチ
 - 編集する場合
 - 各項目を設定
 - スタイルやモードにより設定項目が異なります。
 - 削除する場合
 - 「削除」→「OK」

■ ファミリーモードで使う

家族や複数の人で共有して使い分けることができます。それぞれが作成したスタイルをスタイル選択画面から選んで利用できます。

利用する人ごとに指紋を登録すると、指紋センサーに指をスライドさせることで専用のスタイルに切り替えることができます。

memo

◎ファミリーモードに設定していても、電話帳やmicroSDカードのデータ、アプリケーション、メールやブラウザなどの履歴やブックマークなどは共有されます。

- ホーム画面で「スタイル設定」→「ファミリー利用設定」

■ ファミリーモードで使う

- スリープモード中に電源／指紋センサーを押すと、スタイル切り替え画面が表示されます。使いたいスタイルのアイコンをタップします。
- セキュリティ解除方法が設定されているときは、認証操作が必要です。

■ 指紋を使ってそれぞれのスタイルに切り替えて使うには

指紋センサーに指をスライドさせるだけで、その人のスタイルに切り替えて使うように設定できます。

- ホーム画面で「スタイル設定」→「スタイル切替」
- スタイルをロングタッチ→「スタイルを指紋で切り替えるための設定」
- 「未登録」→画面の指示に従って指紋を登録→「OK」→「完了」
 - スタイルを指紋認証で切り替えるようにするには、セキュリティ解除方法を「指紋」に設定してください。
 - 登録済みの指紋でスタイルを切り替える場合は、認証操作→登録した指紋をタップ→「OK」→「完了」をタップします。

■ キッズ切替ガードを設定する

ファミリーモードでセキュリティ解除方法がタッチ／スワイプの場合、キッズスタイル以外のスタイルに切り替えられないように設定できます。

- タブレットオプションメニューが表示されるまで④を押したままにする
- 「タッチブロックモード」をタップ→「OK」
 - 設定を解除するには、④を押します。

メニューを表示する

FJT21は、 / をタップして表示するオプションメニューと、入力欄や項目をタップまたはロングタッチして表示するポップアップメニューの2種類のメニューがあります。

例：電話帳の連絡先詳細画面で をタップする場合



例：電話帳の連絡先詳細画面で電話番号をロングタッチする場合



スライドイン機能を利用する

画面の端(スライドスポット)から中央方向にスライドすると、任意のアプリケーションをランチャー表示(スライドインランチャー)したり、画面メモ機能(キャプメモ)を起動したりできます。スライドイン機能はどの画面からでも表示できるので、よく使うアプリケーションや画面メモ機能をいつでもすばやく起動することができます。

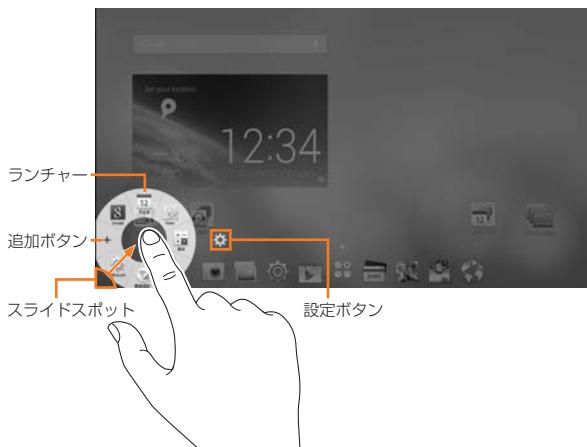
お買い上げ時は「スライドイン機能設定」がオンに設定されています。

スライドインランチャーを利用する

1 スライドスポットから画面の中央方向にスライド

ランチャーが表示されます。

初回起動時は、確認画面が表示されます。内容をご確認のうえ「閉じる」をタップしてください。



- 追加ボタンをタップするとランチャーに表示するアプリケーションアイコンを追加できます。
- 設定ボタンをタップするとスライドイン機能の設定ができます（▶P.106）。
- お買い上げ時は画面の左下端がスライドスポットに設定されています。

2 指を離さずに、起動するアプリケーションのアイコン上に移動してから離す

アプリケーションが起動します。

- 指を離してからアプリケーションアイコンをタップしても、アプリケーションを起動できます。
- アプリケーションアイコンをロングタッチすると、アプリケーションの削除や入れ替えができます。

キャプメモを利用する

表示されている画面を簡単な操作でキャプチャし、描画ツールを使って手書きで画像を編集したり、他のアプリケーションと共有したりできます。

お買い上げ時は をタップするだけでキャプメモを利用できます。次の操作で、スライドスポットからのキャプチャもできます。

1 スライドスポットから画面の中央方向にスライド

- お買い上げ時は画面の右下端がスライドスポットに設定されています。

2 の上で指を離す

画面がキャプチャされます。

- そのまま保存する場合は、「保存」または をタップします。

3 ツールをタップして、編集操作を行おう「保存」/

- 描画ツールで画像に文字や絵などを手書きしたり、トリミングや拡大／縮小したりできます。
- 鉛筆／ペン／蛍光ペンツールを選択中に再度タップすると、色選択画面が表示されます。
- 保存された画像はギャラリーの「スクリーンショット」アルバムなどから確認できます。

■ 画像を共有する場合

3 「共有」→使用する機能をタップ→画面の指示に従って操作

- 「共有」の隣に表示されているアプリケーションアイコンをタップしてもアプリケーションを起動できます。

memo

- キャプチャした画像はPNG形式で保存されます。キャプメモで編集中に画像を共有する場合は、JPEG形式で送信します。画像編集画面で →「共有画像形式」をタップして共有時のファイル形式をPNGに設定することもできます。
- Android標準ブラウザでWebページを表示中にキャプチャした場合はURL情報も同時に取得され、共有するアプリケーションによっては文字入力欄にURL情報を貼り付けたりできます。画像編集画面で →「URL共有設定」をタップして、URL情報を取得しないように設定することもできます。
- テレビ視聴画面など、アプリケーションや機能によっては画面をキャプチャできない場合があります。
- ⑩と⑪を同時に1秒以上押しても画面をキャプチャできます。ただし画像の編集はできません。

スライドスポットを設定する

スライドを始める位置を指定し、ランチャーやキャプメモを割り当てることができます。

- 1つのランチャーやキャプメモを複数のスライドスポットに割り当てることができます。

1 スライドインランチャーを表示中に →「スライドスポット」

- ホーム画面で →「ディスプレイ」→「スライドイン機能設定」→「スライドスポット」をタップしても操作できます。

2 スpotをタップ→設定するランチャーまたはキャプメモをタップ

アプリケーションやWebページの情報を検索する

1 ホーム画面で□→「Google」

Google検索画面が表示されます。

2 キーワードを入力

文字の入力に従って、検索候補が表示されます。

3 検索候補をタップ／□

- 選択した検索候補がFJT21のアプリケーションの場合は、該当するアプリケーションが起動します。



◎ Googleアカウントを設定している場合は、「Google Now」についての説明画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

◎一度検索を行うと、検索ショートカット(以前の検索結果)も表示されます。検索ショートカットをタップしても検索できます。

音声検索を利用する

マイクに向かって話すだけで、Webページの情報を検索できます。文字入力は必要ありません。

1 Google検索画面で□

2 マイクに向かってキーワードを話す

検索結果が表示されます。

Google検索の設定を変更する

Google検索で検索するときの動作や、検索対象を設定できます。

1 Google検索画面で□→「設定」

2 必要な項目を設定

音声	音声検索時の言語や設定を変更できます。
タブレット内検索	検索対象にするFJT21内のデータを選択します。
プライバシーとアカウント	Googleアカウントの利用や、現在地情報の使用、検索履歴の消去など、検索時の動作に関する設定をします。



◎ Googleアカウントを設定している場合は、「Google Now」のオン／オフなどを設定する項目が表示されます。

ウルトラ統合検索を利用する

検索するサイトを選択して検索ができます。

1 ホーム画面で□→「ウルトラ統合検索」

- 初回起動時は確認画面が表示されます。内容をご確認のうえ、「はい」をタップしてください。

2 キーワードを入力→検索するサイトをタップ

選択したサイト内での検索結果が表示されます。



◎ ホーム画面で□→「ウルトラ統合検索」→「追加」をタップすると、検索するサイトを追加できます。

最近使用したアプリケーションを起動／終了する

最近使用したアプリケーションの履歴一覧から、実行中のアプリケーションを確認し、起動または終了ができます。

最近使用したアプリケーションを起動する

1 ホーム画面で□

2 起動するアプリケーションの画面をタップ



◎ 最近使用したアプリケーションを表示しないように設定することができます(▶P.109)。

アプリケーションを終了する

実行中のアプリケーションが多くなるとメモリ不足となり、FJT21の動作が遅くなります。また、電池を消費し、連続待受時間が短くなる場合があります。使っていないアプリケーションは終了させてください。

1 ホーム画面で□

2 「すべて終了」

- 特定のアプリケーションをリストから削除する場合は、削除するアプリケーションを上下にフリックします。
- アプリケーションをロングタッチして「リストから削除」をタップしても削除できます。

通信機能をオフにする(機内モード)

機内モードを設定すると、ワイヤレス機能(パケット通信、無線LAN(Wi-Fi®)、Bluetooth®機能など)がすべてオフになります。

1 ホーム画面で□→「無線とネットワーク」の「その他...」

2 「機内モード」にチェックを付ける

ステータスバーに□が表示されます。

- タブレットオプションメニューが表示されるまで、□を押したままにして、「機内モード」をタップしても、オン／オフを切り替えることができます。



◎ 「機内モード」をオンにすると無線LAN(Wi-Fi®)機能とBluetooth®機能がオフになりますが、機内モード中に再びオンにすることができます。無線LAN(Wi-Fi®)機能とBluetooth®機能をオンにする方法については、「無線LAN(Wi-Fi®)機能をオン／オフにする」(▶P.98)と「Bluetooth®機能をオンにする」(▶P.101)をご参照ください。

医療機関、航空機内、電車の優先席付近など、電波の使用を禁止された区域では、無線LAN(Wi-Fi®)機能とBluetooth®機能を使用しないでください。

マナーモードを設定する

マナーモードを設定すると、公共の場所で周囲の迷惑とならないように、メールの受信音などを鳴らさないようにすることができます。

1 ホーム画面で□→「音・バイブ」

2 「マナーモード」→「マナーモードを有効」にチェックを付ける

ステータスバーにマナーモードのアイコンが表示されます。

- タブレットオプションメニューが表示されるまで、□を押したままにして、設定しているマナーモードの種類をタップしても、マナーモードの設定／解除ができます。



◎ マナーモード設定中でも、カメラ利用時のスクリーンショットやキャプメモのキャプチャ音、シャッター音、セルフタイマーのカウントダウン音、録画開始／終了音、「Bluetooth Low Energy設定」のFind Me通知音は鳴ります。

マナーモードの設定を変更する

- ホーム画面で →「音・バイブ」
- 「マナーモード」→「マナーモード選択」
- マナーモードを選択

通常マナー	音を鳴らさず、メール受信やアラームをバイブレータでお知らせします。
サイレントマナー	音を鳴らないだけでなく、バイブルーターも振動しません。
アラームONマナー	アラームは、アラーム設定に従って音とバイブルーターでお知らせします。 アラーム以外は、音を鳴らさずバイブルーターでお知らせします。
オリジナルマナー	オリジナルマナーに設定します。 お知らせする内容ごとに、音量を決めるなど、好みに合わせてマナーモードの設定を編集できます(▶P.33)。

※ マナーモードの種類によって、ステータスバーに表示されるアイコンが異なります。アイコンについては、「アイコンの見かた」(▶P.27)をご参照ください。

オリジナルマナーの動作内容を設定する

- ホーム画面で →「音・バイブ」
- 「マナーモード」→「オリジナルマナー」
- 必要な項目を設定

タッチロックモードを設定する

タッチ操作で画面が反応しないように設定できます。子供による誤操作を防止するチャイルドロックとしても使用できます。

- タブレットオプションメニューが表示されるまで を押したままにする
- 「タッチロックモード」→「OK」

memo

◎タッチロックモードを解除するには、を押します。

シアターモードを利用する

シアターモードでは、卓上ホルダで充電しながら気軽に音楽や映像を楽しむことができます。

ホーム画面(スリープモード中、ロック画面、認証画面を含む)またはメインメニュー表示中に、卓上ホルダで充電を開始すると、シアターモードに切り替わります。

- ホーム画面またはメインメニュー表示中にFJT21を卓上ホルダに置き、充電を開始

シアターモードに切り替わります。

利用するアプリケーションをタップ

- セキュリティ解除方法が設定されている場合は、認証操作を行うとアプリケーションが起動します。
- アプリケーションからシアターモードのメニューに戻るときは、をタップします。

memo

◎シアターモードはファミリーモードではご利用になれません。

利用するメニューを変更する

シアターモードから起動するアプリケーションを変更できます。

- シアターモードのメニュー表示中に →「シアターモード設定」
- 「アプリケーション設定」→変更するアプリケーションをタップ

memo

◎シアターモードのメニュー表示中は、一定の時間が経過するとスリープモードになりますが、スリープモードを解除しても画面ロックはかかりません。「セキュリティ解除方法」が「なし」または「スワイプ」以外に設定されているときは、セキュリティがかかりますが、ロック解除の認証画面は表示されません。ロック解除の認証画面は、シアターモードから別の画面に移動する際に表示されます。

文字入力

FJT21では、ディスプレイに表示されるキーボードを使って文字を入力します。

キーボードについて

キーボードでは、ATOK(NX!input)の日本語、NX!inputの韓国語や中国語(簡体字)、Googleキーボードを使って文字を入力します。

キーボードは、文字入力欄をタップすると表示され、をタップすると非表示になります。

memo

◎Googleキーボードは、主に英数字を入力できます。日本語は入力できません。
◎本書では、「NX!input」で文字を入力する場合の操作を例に説明しています。

キーボードの入力方法を切り替える

- ホーム画面で →「言語と入力」→「デフォルト」

入力方法をタップ

- 「入力方法をセットアップ」→各入力方法の をタップすると、入力方法の詳細を設定できます。

ATOKで文字を入力する

4種類のキーボードと複数のパネルを使って文字を入力します。

・キーボードやパネルに表示される内容は、文字入力画面によって異なる場合があります。

■ テンキーキーボード



一般的な携帯電話と同じ順序で文字が並んでいるキーボードです(▶P.34)。フリック入力、ケータイ入力、ジェスチャー入力、2タッチ入力の4種類の入力方式を使用できます。入力方式の設定については、「テンキーキーボードの入力方式について」(▶P.34)をご参照ください。

キーボードのレイアウトによっては手書きエリアが表示され、手書き入力を併用できます。

■ QWERTYキーボード



一般的なパソコンと同じ順序で文字が並んでいるキーボードです(▶P.35)。

キーボードのレイアウトによっては手書きエリアが表示され、手書き入力を併用できます。

■ 50音キーボード



50音順、アルファベット順に文字が並んだキーボードです(▶P.36)。

■ 手書きキーボード



手書きで文字を入力できます(▶P.36)。

- 「上書き手書き入力」をオンに設定した場合、QWERTYキーボード、50音キーボードで「手書き」をタップすると、手書きエリアを示す青色の枠が表示され、上書き手書き入力ができます。テンキーキーボードの場合は、縦画面でキーボードが1つのレイアウトの場合に上書き手書き入力ができます。この場合、テンキーキーボードはケータイ入力固定となります。

■ 絵文字／顔文字／記号パネル



絵文字や顔文字、記号を入力するパネルです(▶P.36)。

カテゴリーや文字は上下にスライドして選択します。

■ 定型文パネル



カテゴリーはタップして選択し、文字は上下にスライドして選択します(▶P.36)。

■ テンキーキーボードで入力する

① ほかのキーボードが表示されている場合は「10キー」

- 「10キー」をタップするたびに、キーボードのレイアウトが切り替わります。
- 数字入力モードでは半角数字のみ入力できます。

② 文字を入力

- 入力方式によって操作が異なります。ここでは共通の操作を説明しています。入力方式について詳しくは「テンキーキーボードの入力方式について」(▶P.34)をご参照ください。

目的	操作
漢字を入力する	ひらがなを入力することにキーボード上部に表示される変換候補をタップするか、ひらがなを入力して「変換」をタップします。 <ul style="list-style-type: none"> 推測変換候補は「変換」をタップすると変換候補に変わります。 「変換」または変換候補をタップして選択します。 変換候補を上下にフリック、またはをタップすると、変換候補の表示領域を拡大できます。元の表示に戻す場合はをタップします。
カタカナ／数字／英字／年月日を入力する	ひらがなを入力して「カナ英数」をタップします。 入力時にタップしたボタンに対応した変換候補が表示されます。 例:「あ」→「か」→「さ」→「わをん」の順にタップして「カナ英数」をタップすると「1230」や「12/30」、「1230年」などが候補に表示されます。
ひらがな／カタカナを入力する	ひらがなを入力して「変換」→「後変換」をタップします。
かな入力モードで濁音／半濁音／拗音を入力する	文字を入力したあと「。」を1回または2回タップします。
英数字入力モードで大文字を入力する	文字を入力したあと「A/a」をタップします。
文字を削除する	をタップします。ロングタッチで前の文字を連続して削除します。上にフリックしての上で指を離すと、カーソルの後の文字を削除できます。
カーソルを移動したり変換対象を選択する	「←」／「→」をタップします。
文字を逆順で表示する	をタップします。
直前に確定した文字を変換前の文字に戻す	「戻す」をタップします。

■ テンキーキーボードの入力方式について

テンキーキーボードの入力方式は次の操作で切り替えられます。

① 「MENU」→「設定」→「テンキーの設定」→「入力方式」

② 入力方式をタップ→「OK」

memo

- 「上書き手書き入力」がオンに設定されている場合、入力方式はケータイ入力固定となります。入力方式を変更するには、「上書き手書き入力」(▶P.37)の「テンキー」のチェックを外してください。

■ フリック入力

入力する文字が割り当てられているキーをロングタッチすると、フリックガイドが表示されます。



ディスプレイから指を離さずに、フリックガイドで示されている方向にフリックすると、文字を入力できます。

■ ケータイ入力

入力する文字が割り当てられているキーを、目的の文字が表示されるまで続けてタップします。

- ほかの入力方式を選択した場合でも、ケータイ入力と同じ方法で入力できます。

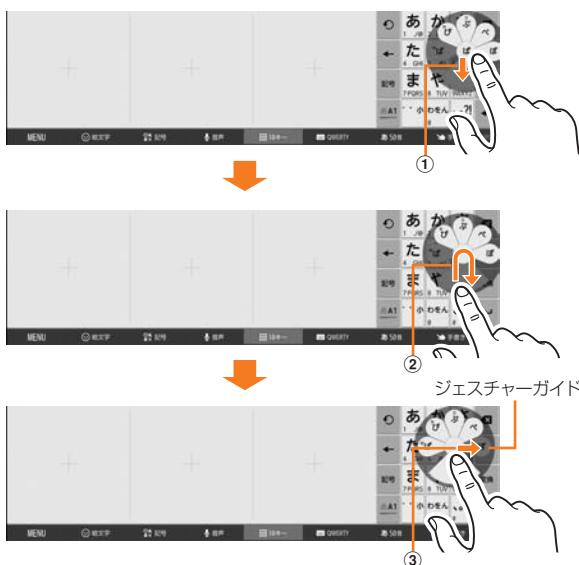
■ ジェスチャー入力

入力する文字が割り当てられているキーをロングタッチすると、キーの周りにジェスチャーガイドが表示されます。

ディスプレイから指を離さずに、目的の文字まで指を移動して離すと、文字を入力できます。

- 濁音／半濁音／拗音／促音をジェスチャーガイドから入力することもできます。

例: 「ぼ」を入力する場合



- ① ロングタッチした指を離さずに指を下に移動すると、濁音や拗音、促音の表示に切り替わります。
 - ② 指を離さずに中央に戻して、もう一度下に移動すると半濁音や促音の表示に切り替わります。
 - ③ 指を離さずに「ぼ」に移動してから離すと、文字を入力できます。
- 英数字入力モードで大文字を入力する場合も、濁音などと同様の操作を行ってください。

■ 2タッチ入力

1回目のタップでそのキーに割り当てられている文字の一覧を表示して、2回目のタップで目的の文字を選択して入力します。

QWERTYキーボードで入力する

1 ほかのキーボードが表示されている場合は「QWERTY」

- 「QWERTY」をタップするたびに、キーボードのレイアウトが切り替わります。

2 文字を入力

目的	操作
漢字を入力する	ひらがなを入力するごとにキーボード上部に表示される変換候補をタップするか、「変換」をタップします。 <ul style="list-style-type: none"> 推測変換候補は「変換」をタップすると変換候補に変わります。 「変換」または変換候補をタップして選択します。 変換候補を上下にフリック、または □ をタップすると、変換候補の表示領域を拡大できます。元の表示に戻す場合は ■ をタップします。
ひらがな／カタカナ／英字を入力する	ひらがなを入力して「後変換」をタップします。
英数字入力モードで大文字を入力する	□ (Shift) をタップしたままにすると大文字を入力できます。大文字を続けて入力するときは、「CapsLock」をタップします(青色)。
記号を入力する	「記号」をタップします。
文字を削除する	□ をタップします。ロングタッチで前の文字を連続して削除します。上にフリックして □ の上で指を離すと、カーソルの後の文字を削除できます。
カーソルを移動したり変換対象を選択する	「←」／「→」をタップします。
直前に確定した文字を変換前の文字に戻す	「戻す」をタップします。

QWERTYキーボードの設定について

1 「MENU」→「設定」→「QWERTYキーボードの設定」→必要な項目を設定

QWERTYキーボードのフリック操作について

お買い上げ時、QWERTYキーボードには数字や記号が表示されるようになっています。フリック入力で数字や記号を入力するには、文字入力画面で「MENU」→「設定」→「QWERTYキーボードの設定」→「数字キー表示(縦画面)」／「数字キー表示(横画面)」のチェックを外します。

50音キーボードで入力する

50音順またはアルファベット順に並んだキーボードで入力します。

1 ほかのキーボードが表示されている場合は、「50音」

- 「50音」をタップするたびに、各キーの配列順が切り替わります。

2 文字を入力

目的	操作
漢字を入力する	ひらがなを入力するごとにキーボード上部に表示される変換候補をタップするか、「変換」をタップします。 <ul style="list-style-type: none"> 推測変換候補は「変換」をタップすると変換候補に変わります。 「変換」または変換候補をタップして選択します。 変換候補を上下にフリック、または■をタップすると、変換候補の表示領域を拡大できます。元の表示に戻す場合は■をタップします。
ひらがな／カタカナ／英字を入力する	ひらがなを入力して「後変換」をタップします。
英数字入力モードで大文字を入力する	Ⓐ(Shift)をタップします。Ⓑ(Shift)をタップするたび、大文字画面→大文字画面(ロック)→小文字画面→…と切り替わります。大文字画面(ロック)のときは、Shiftキーの左上が青色になります。大文字を続けて入力するときに便利です。
文字を削除する	⌫をタップします。ロングタッチで前の文字を連続して削除します。上にフリックしてⒹの上で指を離すと、カーソルの後ろの文字を削除できます。
カーソルを移動する／変換対象を選択する	←／→をタップします。
直前に確定した文字を変換前の文字に戻す	「戻す」をタップします。

手書きキーボードで入力する

手書きエリアに指で文字を書いて文字を入力します。

1 ほかのキーボードが表示されている場合は、「手書き」をタップして手書きキーボードに切り替え

2 手書きエリア内で指をスライドし、文字を入力

目的	操作
文字を入力する	文字を入力するごとに表示される変換候補をタップするか、「変換」をタップします。 <ul style="list-style-type: none"> 推測変換候補は、「変換」をタップすると変換候補に変わります。 「変換」または変換候補をタップして選択します。 変換候補を上下にフリック、または■をタップすると、変換候補の表示領域を拡大できます。元の表示に戻す場合は■をタップします。 変換候補下部に表示された、確定していない文字をタップすると、手書きエリアの補正候補の文字の一覧が表示されます。一覧から文字をタップすると文字を入れ替えることができます。
文字を削除する	⌫をタップします。上にフリックしてⒹの上で指を離すと、カーソルの後ろの文字を削除できます。



○手書き入力を確定するまでの時間を設定できます(▶P.37)。

○手書きキーボードでは、韓国語・中国語の入力も可能です。

絵文字／顔文字／記号パネルで入力する

1 「絵文字」／「記号」

「絵文字」タブ／「顔文字」タブをタップすると、パネルが切り替わります。

2 文字を入力

・入力した文字は「履歴」カテゴリーに追加されます。

目的	操作
カテゴリーや文字を選択する	上下にスライドして、目的のカテゴリーや文字をタップします。▲または▼をタップしてカテゴリーを移動することもできます。
文字を削除する	⌫をタップします。上にフリックしてⒹの上で指を離すと、カーソルの後ろの文字を削除できます。
カーソルを移動する	文字列をタップ、または■をドラッグします。
キーボードに戻る	「戻る」をタップします。

定型文パネルで入力する

1 「MENU」→「定型文」

2 文字を入力

目的	操作
カテゴリーを選択する	カテゴリーをタップして、目的のカテゴリーをタップします。
定型文を選択する	上下にスライドして、目的の定型文をタップします。
文字を削除する	⌫をタップします。上にフリックしてⒹの上で指を離すと、カーソルの後ろの文字を削除できます。
カーソルを移動する	←／→をタップします。
キーボードに戻る	「戻る」をタップします。

パスワードを引用して入力する

パスワードマネージャー(▶P.109)に登録したIDやパスワードなどの認証情報を引用できます。

1 「MENU」→「ATOKダイレクト」→「パスワードマネージャー」

2 認証操作

3 引用するタイトルをタップ→引用する項目の□

連絡先から引用して入力する

1 「MENU」→「ATOKダイレクト」→「電話帳／ATOKダイレクト」

2 連絡先をタップ→引用する項目にチェックを付ける→「OK」

音声を文字に変換して入力する

1 文字入力中に「音声」

2 マイクに向かって入力内容を話す

3 変換候補から文字を選択

ATOKを設定する

1 「MENU」→「設定」

2 必要な項目を設定

操作音・バイブ	キーをタップしたときの操作音とバイブについて設定します。
テンキーの設定	入力方式の選択や、各入力方式の詳細な設定などを行います。 「入力方式」(▶P.34)「フリック入力の設定」「ケータイ入力の設定(自動カーソル)」「ジェスチャー入力の設定」「文字削除キー」
QWERTYキー ボードの設定	QWERTYキーボードに関する設定を行います。 「英字は確定入力」「数字キー表示(縦画面)」「数字キー表示(横画面)」
手書き入力の設定	手書きキーボードに関する設定を行います。 「上書き手書き入力」「確定速度」「線の設定」
共通の設定	推測変換や学習機能、スペースに関する設定など、各キーボードで共通の設定を行います。 「推測変換」「未入力時の推測候補表示」「学習機能」「スペースは半角で出力」「自動スペース入力」「文字削除フリック」「バックキー」「自動全画面化(横画面)」「タッチ位置補正」「ハードキーボードを優先」「マルチタッチ」
候補一覧設定	候補一覧の文字サイズ、表示する行数や表示のタイミングを設定します。
デザイン	画面デザインのテーマを設定したり、キーサイズなどを設定します。
ユーティリティ	よく使う単語や定型文を登録できます。Windows/Mac版のATOKで登録した単語を共有することもできます。 ▶P.37「ATOKでよく利用する単語を登録する」 ▶P.37「よく利用する文章を登録する(定型文)」
初期化	ATOKの設定をお買い上げ時の状態に戻したり、記憶された学習データをすべて消去します。 •「設定の初期化」では、学習データやユーザー辞書の単語、追加した定型文は削除されません。

ATOKでよく利用する単語を登録する

よく使う単語をあらかじめATOK用のユーザー辞書に登録しておくと、ATOKでその読みを入力したとき変換候補に表示されます。

1 「MENU」→「設定」→「ユーティリティ」→「辞書ユーティリティ」

NX!input辞書ユーティリティ画面が表示されます。

2 ①→「新規登録」

3 各項目を入力

- 変換の精度をよくするために、「品詞」に適切な品詞を設定してください。

4 「登録」

memo

○登録した単語を修正する場合は、修正する単語をタップ→単語を修正→「修正」をタップします。

○登録した単語を削除する場合は、次の操作を行います。

- 削除する単語をロングタッチ→「削除」→「はい」
- NX!input辞書ユーティリティ画面で①→「全削除」→「はい」

■ 登録単語を内蔵ストレージまたはmicroSDカードに保存する

1 NX!input辞書ユーティリティ画面で①→「一覧出力」

2 「場所」欄で「0」→保存するフォルダを選択

- 「場所」欄に「0」以外が表示されているときは、「/」→一覧の「sdcard」をタップします。
- microSDカードに保存する場合は「/」→「mnt」→「external_sd」をタップします。

3 「名前」欄をタップ→ファイル名を入力

4 「OK」→「実行」→「閉じる」

memo

○内蔵ストレージまたはmicroSDカードに保存した単語データを読み込むには、次の操作を行います。

NX!input辞書ユーティリティ画面で①→「一括登録」→「場所」欄で「/」→「mnt」→「external_sd」→フォルダを選択→ファイルを選択→「OK」→「登録」→「閉じる」

よく利用する文章を登録する(定型文)

■ 定型文を登録する

1 「MENU」→「設定」→「ユーティリティ」→「定型文ユーティリティ」

定型文一覧画面が表示されます。

- カテゴリーを追加する場合は、①→「カテゴリー」→②→「新規作成」をタップし、カテゴリー名を入力→「OK」をタップしてください。

2 ①→「新規作成」

3 定型文を入力→「カテゴリー」欄で登録するカテゴリーをタップ

4 「登録」

自動的に定型文のタイトルが追加されます。

memo

○登録した定型文を削除する場合は、削除する定型文をロングタッチ→「削除」→「はい」をタップします。

○定型文データをお買い上げ時の状態に戻すには、定型文一覧画面で①→「初期化」→「はい」をタップします。

■ 定型文のカテゴリー・本文を編集する

1 定型文一覧画面で編集する定型文をタップ

2 内容を修正→「登録」

- 新規に作成した定型文の本文を編集すると、タイトルも連動して変更されます。タイトルを本文と連動させたくない場合は、「定型文のタイトルを変更する」(▶P.37)をご参照ください。

memo

○カテゴリーは、次の操作でも変更できます。

定型文一覧画面でカテゴリーを変更する定型文をロングタッチ→「カテゴリー移動」→移動先のカテゴリーをタップ

■ 定型文のタイトルを変更する

1 定型文一覧画面でタイトルを変更する定型文をロングタッチ

2 「タイトル変更」

3 内容を修正→「OK」

中国語・韓国語に関する設定をする

手書きキーボードで中国語(簡体字)や韓国語の入力をする際の設定を行います。

- 1 ホーム画面で●→「言語と入力」
- 2 「NX!input 中国語(簡体字)」「NX!input 韓国語」の●
- 3 必要な項目を設定

Googleキーボードで文字を入力する

Googleキーボードを使うと、英数字やアクセント記号付きの文字、記号を入力できます。

- Googleキーボードでは、日本語は入力できません。
- キーボードの入力方法を切り替えるには「キーボードの入力方法を切り替える」(▶P.33)をご参照ください。

- 1 「?123」「ABC」をタップして希望する入力画面に切り替え

2 文字を入力

目的	操作
アクセント記号付きの文字を入力する	キーをロングタッチすると一覧が表示され、そのまま指を離さずに、アクセント記号付きの文字まで移動します。
大文字を入力する	● (Shift)をタップします。タップするたび、大文字画面→小文字画面→…と切り替わります。また、 ● をダブルタップすると、大文字画面(ロック)に切り替わります。大文字画面(ロック)のときは、 ● の下線が青色になります。大文字を続けて入力するときに便利です。
より多くの記号を入力する	「?123」をタップします。タップするたび、画面が切り替わります。 ● が表示されているときは、タップするとより多くの記号を入力できます。
文字を削除する	■ をタップします。

Googleキーボードを設定する

- 1 ホーム画面で●→「言語と入力」
- 2 「Googleキーボード」の●
- 3 必要な項目を設定



◎アプリケーションによっては、設定が反映されない場合があります。

外付けキーボードを利用する

FJT21はUSBキーボードやBluetooth®キーボード(HID／SPP)を接続して文字を入力することができます。

- 次のキーボードに対応しています。
 - 101キーボード
 - 104キーボード
 - 106キーボード
 - OADG 109キーボード
 - OADG 109Aキーボード
- USBキーボードを接続する場合は、USBキーボードをホスト機能付きmicroUSBケーブル(市販品)でFJT21の外部接続端子に接続します。
- Bluetooth®キーボードの接続方法については、「Bluetooth®機能を利用する」(▶P.101)をご参照ください。



◎FJT21とすべてのキーボードとの動作を保証するものではありません。

外付けキーボードの配列を設定する

使用するキーボードのレイアウトを選択します。

- 1 ホーム画面で●→「言語と入力」
物理キーボード欄に、接続したキーボード名称が表示されます。
- 2 キーボード名称をタップ→キーボードレイアウトを選択
→設定する項目をタップ

セキュリティ

ロックしてプライバシーを守る	40
指紋認証機能を利用する	40
PINコードを設定する	41

ロックしてプライバシーを守る

セキュリティの解除方法を設定する

画面ロックなどのセキュリティを解除する方法を設定します。パターン、暗証番号、パスワードのほか、指紋認証や顔認証による解除方法も設定できます。

1 ホーム画面で→「セキュリティ」

2 「セキュリティ解除方法」

3 認証操作

- ・お買い上げ後、初めて設定する場合は、認証操作は不要です。

■ ロック画面を表示しない場合

4 「なし」

■ スワイプ(スライド)で解除する場合

4 「スワイプ」

■ パターン／暗証番号／パスワードで解除する場合

4 「パターン」「暗証番号」「パスワード」→画面の指示に従ってパターン／暗証番号／パスワードを設定

■ 指紋認証と他の解除方法を併用して解除する場合

4 「指紋」→2個以上指紋が登録されていることを確認して「完了」

- ・指紋を登録していない場合は、画面の指示に従って2個以上の指紋を登録してください。

5 「パターン」「暗証番号」「パスワード」→画面の指示に従ってパターン／暗証番号／パスワードを設定→「OK」

■ 指紋認証のみで解除する場合

4 「指紋」→2個以上指紋が登録されていることを確認して「完了」→「なし」→警告文の内容を確認して「OK」→「OK」

- ・指紋を登録していない場合は、画面の指示に従って2個以上の指紋を登録してください。

■ 顔認証と他の解除方法を併用して解除する場合

4 「顔認証」→「セットアップ」→「続行」→顔を登録→「次へ」

5 「パターン」「暗証番号」→画面の指示に従ってパターン／暗証番号を設定→「OK」

memo

○パターン／暗証番号／パスワードを変更する場合は、ホーム画面で→「セキュリティ」→「パターンの変更」「暗証番号の変更」「パスワードの変更」→現在のパターン／暗証番号／パスワードを入力し、新しいパターン／暗証番号／パスワードを入力してください。

○すでに指紋を登録している場合で、初めてセキュリティ解除方法を設定する場合は、「指紋」をタップしたあとに指紋認証の操作が必要です。

○指紋認証や顔認証と他の解除方法を併用して設定しているときは、指紋認証や顔認証ができない場合に他の解除方法で認証操作ができます。

○「顔認証」に設定した場合、画面ロックのセキュリティを解除するときのみ、顔認証で操作します。その他のセキュリティの解除は、併用して設定した解除方法で操作します。

○顔認識の精度を高めるためにいろいろな状態の顔を撮影できます。ホーム画面で→「セキュリティ」→「顔認識の精度を改善」をタップし、画面の指示に従って操作してください。

○認証ストレージを利用している場合、セキュリティ解除方法は暗証番号とパスワードのみ使用できます。

○Googleアカウントを設定済みで、パターン／暗証番号／パスワードを5回間違えた場合は、「パターンを忘れた場合」「暗証番号を忘れた場合」「パスワードを忘れた場合」をタップして画面の指示に従って操作すると、セキュリティ解除方法を設定し直すことができます。

画面ロックに関する設定をする

・設定により表示される項目が異なります。セキュリティの設定項目については「セキュリティの設定をする」(▶P.109)をご参照ください。

1 ホーム画面で→「セキュリティ」

2 必要な項目を設定

自動ロック ^{※1}	スリープモードに移行後、画面ロックを開始するまでの時間を設定します。
電源ボタンですぐにロックする ^{※1}	チェックを付けると、電源ボタンを押してロックをかけることができます。
所有者情報	ロック画面に表示する所有者情報を入力します。 ・「ロック画面に所有者情報を表示」にチェックを付けると、ロック画面に表示されます。
生体検知 ^{※2}	顔認証をする際に、まばたきが必要になります。
パターンを表示する ^{※3}	チェックを付けると、ロック解除時にパターンを線で表示します。

※1 セキュリティ解除方法を「なし」／「スワイプ」以外に設定している場合に表示されます。

※2 セキュリティ解除方法を「顔認証」に設定し「パターン」／「暗証番号」を併用して設定している場合に表示されます。

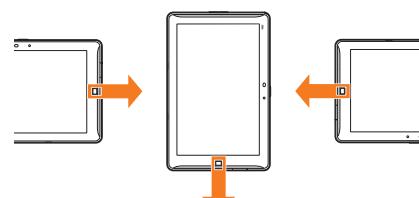
※3 セキュリティ解除方法を「パターン」に設定している場合、または「指紋」／「顔認証」で「パターン」を併用して設定している場合に表示されます。

指紋認証機能を利用する

指紋認証機能とは、指紋センサーに指をスライドして行う認証操作です。セキュリティの解除のほかに、ファミリーモードで利用している場合は、各ユーザーが指紋を登録しておくことでスタイルの切り替えを指紋認証で行なうことができます。スタイルの切り替えについては、「ホーム画面のスタイルを切り替える」(▶P.29)をご参照ください。

■ 指紋認証利用時のご注意

- ・本機能は指紋の特徴を認証に利用するものです。このため、指紋の特徴が少ないお客様の場合は、指紋認証機能が利用できないことがあります。
- ・指紋の登録には同じ指で3回以上の読み取りが必要です。異なる指で登録を行わないでください。
- ・認証性能(正しく指をスライドさせた際に指紋が認証される性能)はお客様の使用状況により異なります。指がぬれていたり汗をかいていたり、手が乾燥しているなど、指の状態によっては、指紋の登録が困難になったり、認証性能が低下することがあります。その場合、手を洗う、手を拭く、認証する指を変えるなど、お客様の指の状態に合わせて対処することで、認証性能が改善されることがあります。
- ・指紋の登録・認証の際は、第1関節をセンサー中央に合わせ、センサーと平行になるように指を押し当てながら指紋センサーの領域を通過するまで下方向へスライドさせます。登録時と認証時の指の位置の違いによる認証失敗を防ぐためには、端末と同じ方向に指を置いてスライドさせてください。



- ・スライドが速すぎたり遅すぎたりすると、正常に認識できないことがあります。
- ・親指は指紋の渦の中心がすれたりゆがんだりして、登録や認証が困難な場合があります。できるだけ指紋の渦の中心が指紋センサーの中心を通過するようにスライドさせてください。
- ・指紋が正常に読み取れなかったときは、警告メッセージが表示されます。

- ④を押してからロック画面が表示されるまでの間は、指紋センサーに触れないでください。指紋センサーが機能しなくなることがあります。電源を入れ直すよう警告メッセージが表示される場合は再起動してください。
- ・指紋センサーに指を置いたまま指紋の登録・認証を開始すると、起動できない場合があります。指を離して操作をやり直してください。
- ・デスクトップパソコンなどアースを必要とする機器とFJT21をmicroUSBケーブル01(別売)で接続するときは、必ず機器のアースが接続されていることを確認してください。アースが接続されていない状態で接続している間は、指紋認証できない場合があります。FJT21を機器から取り外して指紋認証を行ってください。
- ・指紋認証技術は完全な本人認証・照合を保証するものではありません。当社では本製品を使用されたこと、または使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関しても、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 指紋センサー利用時のご注意

- ・指紋センサー表面のシート部は防水性を維持するための保護膜です。はがしたり、ペン先など鋭利なものでつづいたりしないでください。
- ・指紋センサー表面は防水性を有していますが、指紋センサー表面や操作する指先に水滴や汚れが付着した場合は誤動作の原因となります。柔らかい布で水滴・汚れを取り除いてご使用ください。また、水分により指先がふやけた場合でも、誤動作の原因となる場合があります。
- ・ぶつけたり、強い衝撃を与えたまいでください。故障および破損の原因となることがあります。また、センサー表面をひっかいたり、先の尖ったものでつづいたりしないでください。
- ・爪やストラップの金具など硬いものを押し付けると、指紋センサー表面に傷が付くことがあります。
- ・泥などで指紋センサー表面が汚れたり、表面に傷が付いたりすると、故障および破損の原因となることがあります。
- ・指紋センサー表面にシールを貼ったり、インクなどで塗りつぶしたりしないでください。
- ・ほこりや皮脂などの汚れ、汗などの水分が付着したり結露が発生すると、指紋の読み取りが困難になったり、認証性能が低下することがあります。指紋センサー表面はときどき清掃してください。
- ・指紋の登録失敗や認証失敗が頻発する場合や、センサー表面が汚れているなどのメッセージが表示された場合は、指紋センサー表面を清掃してください。現象が改善されることがあります。
- ・指紋センサーを清掃する際には、静電気の発生しにくい、乾いた柔らかい布で表面の汚れを取り除いてください。長期間の使用によりゴミがたまることがあります、その場合でも先の尖ったもので取り除かないでください。
- ・静電気が故障の原因となる場合があります。指紋センサーに指を置く前に、金属に手を触れるなどして静電気を取り除いてください。冬期など乾燥する時期は、特にご注意ください。

■ 指紋を登録する

指紋認証を利用するには、2個以上の指紋を登録してください。

1 ホーム画面で^①→「セキュリティ」

2 「指紋設定」

- ・「セキュリティ解除方法」を設定している場合は、認証操作が必要です。
- ・「セキュリティ解除方法」を設定していない場合でも、すでに指紋を登録しているときは指紋認証の操作が必要です。

3 「未登録」→画面の指示に従って、指紋センサーに指を3回以上スライド

- ・2個目も同様の操作で登録します。
- ・登録した指紋を削除するには、削除する指紋を選択→「指紋を削除する」→「指紋を削除する」をタップします。ただし、セキュリティ解除方法が指紋認証に設定されているときに、指紋の登録数が2個の場合は削除できません。

4 「完了」

■ 指紋認証を行う

1 指紋認証画面が表示されたら、指紋センサーに指をスライド

- ・正しく認証されない場合は、指を指紋センサーから離し、もう一度認証操作を行ってください。

■ PINコードを設定する

第三者によるau Micro IC Card (LTE)の無断使用を防止するため、電源を入れたときにPINコードを入力するように設定します。

1 ホーム画面で^②→「セキュリティ」

2 「PINコード設定」

3 「入力要否設定」にチェックを付ける

PINコードを入力する画面が表示されます。

4 PINコードを入力→「OK」

memo

○お買い上げ時のPINコードは「1234」に設定されています。初めてPINコードを入力する場合は、「1234」を入力してください。

○PINコードについては、「PINコードについて」(▶P.12)をご参照ください。

■ PINコードを変更する

・PINコードを変更する場合は、あらかじめ「入力要否設定」をオンに設定してください。

1 ホーム画面で^③→「セキュリティ」

2 「PINコード設定」

3 「PINコード変更」

現在のPINコードを入力する画面が表示されます。

4 現在のPINコードを入力→「OK」

新しいPINコードを入力する画面が表示されます。

5 新しいPINコードを入力→「OK」

新しいPINコードを入力する画面がもう一度表示されます。

6 新しいPINコードを再入力→「OK」

■ PINロックを解除する

PINコードの入力を3回連続して間違えると、au Micro IC Card (LTE)がロックされます。次の操作でPINロックを解除し、新しいPINコードを設定します。

1 PINロック解除コードの入力画面で、8桁のPINロック解除コードを入力

2 新PINコードの入力欄をタップ→新しいPINコードを入力

3 (確認用)の入力欄をタップ→新しいPINコードを再入力

4 「OK」

memo

○PINロック解除コードについては、「PINコードについて」(▶P.12)をご参照ください。

メール

メールについて.....	44
Eメールを利用する	44
Eメールの表示モードを切り替える.....	44
Eメールを送信する.....	47
Eメールを受信する.....	49
新着メールを問い合わせて受信する.....	50
Eメールを検索する.....	50
Eメールを会話モードで確認する.....	51
Eメールをフォルダモードで確認する.....	51
Eメールを設定する.....	54
Eメールをバックアップ／復元する.....	57
迷惑メールフィルターを設定する.....	58
PCメールを利用する	59
PCメールを使うために必要な設定をする.....	59
受信トレイを表示する	60
メールを作成して送信する	60
メールを受信する.....	60
メールを返信／転送する	60
メールを削除する.....	60
メールアカウントごとに受信設定を行う	60
メールをバックアップ／復元する.....	60
Gmailを利用する	61
受信トレイを表示する	61
送信済みや下書き保存したメールを確認する	61
メールを作成して送信する	61
メールを受信する.....	61
メールを返信／転送する	61
スレッドを操作する	61
メール受信時の動作を設定する	61
SMSを利用する.....	62
SMSを送信する.....	62
SMSを受信する.....	62
SMSを検索する.....	63
SMSを削除する.....	63
SMSを設定する.....	63
SMS安心ブロック機能を設定する.....	64

メールについて

FJT21では、以下のメールが利用できます。

■ Eメール

「@ezweb.ne.jp」のアドレスを利用してメールの送受信ができます。

■ PCメール

普段パソコンなどで利用しているメールアカウントをFJT21に設定し、パソコンと同じようにFJT21からメールを送受信できます。

■ Gmail

GmailはGoogleのメールサービスです。FJT21でGoogleアカウント設定を行うとGmailも利用できます。FJT21のGmailで送受信したメールは、パソコンなどのブラウザからも確認できます。また、パソコンなどのブラウザでGmailを操作するとFJT21のGmailにも反映されます。

■ SMS

タブレットや携帯電話同士で、電話番号を宛先としてメールのやりとりができるサービスです。

Eメールを利用する

Eメール(@ezweb.ne.jp)のアドレスを利用してメールの送受信ができるサービスです。絵文字やデコレーションメールに対応し、文章のほか、静止画や動画などのデータを送ることができます。

- Eメールアプリを利用するには、あらかじめ初期設定が必要です。詳しくは、「Eメールの初期設定を行う」(▶P.23)をご参照ください。
- Eメールを利用するには、LTE NETのお申し込みが必要です。ご購入時にお申し込みにならなかった方は、auショッピングまたはお客様センターまでお問い合わせください。

memo

- ◎ Eメールは海外でもご利用になります。詳しくは、「GLOBAL PASSPORT(グローバルパスポート)について」(▶P.116)をご参照ください。
- ◎ Eメールの送受信には、データ量に応じて変わるパケット通信料がかかります。海外でのご利用は、通信料が高額となる可能性があります。詳しくは、au総合カタログおよびauホームページをご参照ください。
- ◎添付データが含まれている場合やご使用エリアの電波状態によって、Eメールの送受信に時間がかかる場合があります。
- ◎ Eメールの送受信は無線LAN(Wi-Fi®)で利用できますが、初期設定はLTE／3Gデータ通信に行ってください。

Eメールの表示モードを切り替える

相手先ごとにEメールをスレッドとしてまとめて表示する会話モードと指定した条件ごとにEメールをまとめるフォルダモードの、2つの表示モードを切り替えることができます。

① ホーム画面で (Eメール)

②

表示モードが切り替わります。



memo

◎ 本書では会話モードでの操作を基準に説明しています。フォルダモードでは、メニューの項目／アイコン／画面上のボタンなどが異なる場合があります。

会話モードでの画面の見かた

Eメールは、相手先ごとにまとめられたスレッドが一覧表示されます。



《会話モード画面》

① スレッド一覧

② スレッド内容表示

③ アクションバー

■ スレッド一覧の見かた



① すべて表示／お気に入り表示切替ボタン

すべてのスレッド一覧と、お気に入りのスレッド一覧を切り替えて表示できます。

② ●(赤色):新着Eメールあり

●(青色):未読Eメールあり

③ スレッド

内容を表示しているスレッドは色が変わります。

④ チェックボックス

削除するスレッドにチェックを付け、をタップするとスレッドを削除できます。

⑤ ★(黄色):お気に入り

★(灰色):お気に入り解除

■ スレッド内容表示の見かた



① 受信したEメール

② 続き表示ボタン

本文をすべて表示するときに使用します。

閉じるときは ▲ をタップします。

③ 送信者がBccやメーリングリストのアドレスを使用して送信した場合に表示されるアイコンです。

④ フラグ付きEメール

⑤ 保護されたEメール

⑥ 詳細表示ボタン

Eメール詳細表示画面を表示します。

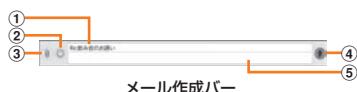
⑦ 送信したEメール

⑧ ⑨ :送信予約Eメール

⑨ :自動再送信Eメール

⑨ メール作成バー

■ メール作成バーの見かた



① 件名入力欄

「件名を非表示」に設定している場合は表示されません。

② 絵文字ボタン

絵文字を入力するときに使用します。

③ 添付ボタン

データを添付するときに使用します。

④ 送信ボタン

⑤ 本文入力欄

■ フォルダモードでの画面の見かた

フォルダ一覧には、受信ボックスや送信ボックス、フォルダなどが表示されます。フォルダは、「フォルダ作成」をタップしてフォルダを作成すると表示されます。



① フォルダ一覧

② Eメール一覧

③ アクションバー

■ フォルダ一覧側の見かた



① 未読・未送信メール件数

各フォルダに未読メールや未送信メールがある場合は、アイコンの右上に合計の件数が表示されます。

② 受信ボックス

③ 送信ボックス

④ 未送信ボックス

⑤ テンプレート

⑥ フォルダ

⑦ フォルダ作成

■ Eメール一覧側の見かた



① 宛先／差出人の名前またはEメールアドレス

Eメールアドレスが電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が表示されます。

受信したEメールに差出人名称が設定されている場合は、設定されている名前が表示されます。

電話帳に登録されていない場合で、差出人名称も設定されていない場合は、Eメールアドレスが表示されます。

※電話帳にEメールアドレスが登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が優先して表示されます。

② ↳ :返信したEメール

➡ :転送したEメール

↔ :返信／転送したEメール

③ ● :未読のEメール

○ :本文を未受信のEメール

△ :サーバーにメールがなく本文を受信できないEメール

④ 件名

⑤ チェックボックス

チェックするとアクションバーで全選択／削除／保護／フラグの操作をすることができます。

⑥ フラグ付きEメール

⑦ 保護されたEメール

⑧ 添付データあり

⑨ 送信に失敗したEメール／サーバーに元のメール(受信メール)がなく転送に失敗したEメール

⑩ ↳ :返信のEメール

➡ :転送のEメール

⑪ ⑫ :送信予約Eメール

✉ :自動再送信Eメール

⑫ 受信／送信切替スライダー

フォルダ内の受信メール一覧と、送信済みメール一覧を切り替えて表示できます。

■ Eメール詳細表示画面の見かた



① 送信メール

To / **CC** / **BCC** :宛先の名前またはEメールアドレス
受信メール

From :差出人の名前またはEメールアドレス

To / **CC** :宛先の名前またはEメールアドレス

※宛先が複数ある場合は1件のみ表示されます。✉ をタップすると、その他のEメールアドレスを表示できます。

② ○ :本文を未受信のEメール

△ :サーバーにメールがなく本文を受信できないEメール

③ 送信メール

◀ :返信のEメール

▶ :転送のEメール

受信メール

◀ :返信したEメール

▶ :転送したEメール

↔ :返信／転送したEメール

④ Sub :件名

⑤ 📁 :添付データ(本体メモリ保存)

📄 :添付データ(本体ストレージ保存)

📄 :添付データ(本体ストレージ保存失敗)

📄 :オンライン添付データ(本体メモリ保存)

📄 :オンライン添付データ(本体ストレージ保存)

⑥ 未受信の添付データ

※添付データが複数ある場合は1件のみ表示されます。✉ をタップすると、その他の添付データを表示できます。

⑦ 本文

⑧ 添付データあり

⑨ フラグ付きEメール

⑩ 保護されたEメール

Eメールを送信する

1 ホーム画面で (Eメール)

送信メール作成画面が表示されます。

2

宛先入力画面が表示されます。

- 過去に送受信した相手先にEメールを送信する場合は、スレッドをタップしてEメールを送信することができます。その場合は操作⑥へ進みます。

3

- アドレス入力欄をタップしてアドレスを直接入力することもできます。

入力中のアドレスを含むスレッドの候補が表示されます。

4 項目を選択

アドレス帳引用	電話帳のEメールアドレスを宛先に入力します。
アドレス帳グループ引用	電話帳のグループに登録されたすべてのEメールアドレスを宛先に入力します。 <ul style="list-style-type: none">グループに登録されているEメールアドレスが宛先の上限を越えている場合は、上限まで宛先に入力します。「Friends Noteでグループ作成」を選択すると、グループを作成することができます。Friends Noteアプリがインストールされていない場合またはバージョンが古い場合は、最新のFriends Noteアプリを「auスマートパス」からダウンロードしてください。
メール受信履歴引用	送信メール履歴／受信メール履歴の一覧から選択して、Eメールアドレスを宛先に入力します。 Eメールアドレスにチェックを付ける→「選択」 <ul style="list-style-type: none">→「削除」→Eメールアドレスにチェックを付ける→「削除」→「削除」をタップすると、履歴を削除できます。
メール送信履歴引用	プロフィールに登録されているEメールアドレスを選択して宛先に入力します。
プロフィール引用	クリップボードに記憶されたEメールアドレスを貼り付けます。
貼り付け*	クリップボードに文字が記憶されている場合に表示されます。

* クリップボードに文字が記憶されている場合に表示されます。

5 「作成」

会話モードの送信メール作成画面が表示されます。

6 件名入力欄をタップ→件名を入力

- 件名は、全角50／半角100文字まで入力できます。

7 本文入力欄をタップ→本文を入力

- 本文は、全角5,000／半角10,000文字まで入力できます。

8 →「送信」

■ フォルダモードでEメールを送信する場合

1 フォルダモード画面で

フォルダモードの送信メール作成画面が表示されます。

2

宛先の入力方法を選択するサブメニューが表示されます。「Eメールを送信する」(P.47)の操作④をご参照ください。

- アドレス入力欄をタップしてアドレスを直接入力することもできます。

3 件名入力欄をタップ→件名を入力

- 件名は、全角50／半角100文字まで入力できます。

4 本文入力欄をタップ→本文を入力

- 本文は、全角5,000／半角10,000文字まで入力できます。

5 「メニュー」→「完了」→「送信」→「送信」

memo

- デコレーションアニメには対応していません。
- 件名や本文には、半角カナおよび半角記号「ー(長音)」(濁点)、(半濁点)、。・「」は入力できません。
- 1日に送信できるEメールの件数は、宛先数の合計で最大1,000通までです。
- 絵文字を他社の携帯電話やパソコンなどに送信すると、一部他社の絵文字に変換されたり、受信側で正しく表示されないことがあります。
- また、異なるau電話に送信した場合は、auの旧絵文字に変換される場合があります。
- 一度に送信できるEメールの宛先の件数は、最大30件(To/Cc/Bccを含む。1件につき半角64文字以内)までです。
- フォルダモードでは送信メール作成画面で「保存」をタップすると、作成中のEメールを未送信ボックスに保存できます。
- 送信時確認表示は非表示に設定することもできます(P.55)。
- あらかじめ「自動再送信」(P.55)をオンにしておくと、メールの送信に失敗した際に自動で再送信することができます。また、「送信予約」ボタンをタップすると、日時指定送信か、またはお客様のau電話が電波の届かない場所でメールを送信したい場合に範囲内復帰時に自動送信することができます。

宛先を追加・削除する

■ 宛先を追加する場合

1 宛先入力画面で未入力のアドレス入力欄の

宛先の入力方法を選択するサブメニューが表示されます。「Eメールを送信する」(P.47)の操作④をご参照ください。

- アドレス入力欄をタップしてアドレスを直接入力することもできます。

■ 宛先を削除する場合

1 宛先入力画面で入力済みのアドレスの →「削除」

memo

- フォルダモードでは入力済みのアドレスの をタップすると宛先の種類を変更することができます。一番上の宛先は種類を変更することはできません。

送信予約をする

■ 会話モードで送信予約する場合

1 会話モードの送信メール作成画面で本文入力欄をタップ→本文を入力

2 →「OK」

3 送信する日付を入力→「設定」

4 送信する時間を入力→「設定」

スレッド内容表示画面に が付いた送信予約のEメールが表示されます。

■ フォルダモードで送信予約する場合

1 フォルダモードの送信メール作成画面で本文入力欄をタップ→本文を入力→「メニュー」→「完了」

2 「送信予約」→「OK」

3 送信する日付を入力→「設定」

4 送信する時間を入力→「設定」

未送信ボックスに が付いた送信予約のEメールが保存されます。

memo

- メールの自動送信は20件まで設定できます。
- 送信予約が設定されているメールを編集しようとしたり、指定した日時を変更しようとしたり、いったん送信予約が解除されます。
- 電波状況などにより、予約した日時に送信できない場合があります。
- 送信予約(日時指定)された日時に、電波が届かない状態や電源が切れていた場合には、送信失敗になります。
- 日時指定したメールがローミング中に送信された場合、料金が高額となる場合がありますのでご注意ください。
- 電波が届かない状態で送信予約をすると、日時指定送信か範囲内復帰時に自動送信するかを選択することができます。

■ Eメールにデータを添付する

送信メールには、最大5件(合計2MB以下)のデータを添付できます。

1 会話モードの送信メール作成画面で

2 項目を選択

ストレージ	ファイル種別を選択して、データを添付します。microSDカードが取り付けられている場合は、microSDカードのフォルダが表示されます。内蔵ストレージのデータを添付する場合は、「Up」を複数回タップして「storage」フォルダを選択してください。
ギャラリー(静止画)	ギャラリーの静止画データを添付します。
ギャラリー(動画)	ギャラリーの動画データを添付します。
カメラ(静止画)	静止画を撮影して添付します。
カメラ(動画)	動画を撮影して添付します。
その他	他のアプリケーションを利用してデータを添付します。

■ 静止画データを添付する場合

3 リサイズするサイズをタップ

- 静止画データをリサイズして添付することができます。



- ◎「ストレージ」からデータを添付する場合は、ファイル選択画面で複数のファイルにチェックを付ける→「添付」をタップして、複数のファイルを添付できます。
◎1データあたり2MBまでのデータを添付できます。
◎フォルダモードではデータを添付したあとに、添付データ欄をタップすると添付したデータを再生できます。
◎添付データを削除するには、削除する添付データの [X] →「OK」／「削除」をタップします。

■ 絵文字を利用する

Eメール作成中に、デコレーションメールの素材を簡単に探すことができます。

1 会話モードの送信メール作成画面で

2 「D絵文字」「ピクチャ」→「▲」

3 項目を選択

メニューリストから探す	auスマートパスに接続して、デコレーションメールアプリを検索できます。
お気に入りからコントンツを探す	他のアプリケーションを利用して、デコレーションメールの素材を検索できます。

■ microSDカードまたは内蔵ストレージの絵文字を利用する場合

2 「microSD」→「ダウンロード」

3 項目を選択

メニューリストから探す	auスマートパスに接続して、デコレーションメールアプリを検索できます。
お気に入りからコントンツを探す	他のアプリケーションを利用して、デコレーションメールの素材を検索できます。
更新	microSDカードまたは内蔵ストレージに保存されているデコレーション絵文字を検索し、表示します。



- ◎ フォルダモードで絵文字を利用する場合は、本文入力中に「メニュー」→[?] をタップします。

■ 本文入力中にできること

1 本文入力欄をタップ→

2 必要な項目を選択

アドレス帳引用	電話帳から、電話番号やEメールアドレスなどを呼び出して挿入します。 ・フォルダモードのときのみ選択できます。
プロフィール引用	プロフィールに登録している電話番号やEメールアドレスを呼び出して挿入します。
挿入	定型文／冒頭文／署名を挿入します。 「定型文」「冒頭文」「署名」 ・冒頭文／署名はあらかじめ登録してください(▶P.55)。
装飾全解除	すべての装飾を解除します。 ・フォルダモードのときのみ選択できます。
文字サイズ	文字サイズを一時的に切り替えます。 「特大」「大」「中」「小」「極小」
完了	本文入力を終了し、送信メール作成画面に戻ります。 ・フォルダモードのときのみ選択できます。

■ アクションバーを利用する

1 会話モード画面で本文入力欄をタップ

2 アイコンをタップ

[A] (宛先一覧)	宛先一覧画面が表示されます。 ・「宛先編集」をタップすると宛先を編集できます。
[Q] (検索)	▶P.50「Eメールを検索する」
[②] (送信予約)	▶P.47「送信予約をする」
[B] (アドレス帳引用)	電話帳から、電話番号やEメールアドレスなどを呼び出して挿入します。

■ フォルダモードで本文を装飾する

フォルダモードでは本文を装飾したり、テンプレートを使用して装飾メールを作成することができます。

■ 本文を装飾する

本文を装飾したEメールを送付できます(デコレーションメール)。

1 フォルダモードの送信メール作成画面で本文入力欄をタップ→本文を入力

2 [A]

デコレーションメニューが表示されます。

3 装飾の開始位置を選択→「選択開始」→[] / [] で終了位置を選択

- 「全選択」をタップして、すべての文字を選択することもできます。
- 「装飾全解除」→「解除」をタップすると、装飾を解除できます。

4 必要な項目を設定

文字サイズ	文字の大きさを変更します。 「小さい」「標準」「大きい」
文字位置／効果	文字の位置や動きを指定します。 「左寄せ」「センタリング」「右寄せ」「点滅表示」「テロップ」「スwing」
文字色	24色のカラーパレットから文字の色を選択します。
背景色*	24色のカラーパレットから背景の色を選択します。
挿入	microSDカードまたは内蔵ストレージに保存された画像やギャラリーの画像、カメラで撮影した画像を挿入したり、行と行の間にラインを挿入したりします。 「画像挿入」「ライン挿入」

*「冒頭文」「署名」編集時は選択できません。

5 「完了」→「送信」→「送信」



- ◎本文を装飾する場合は、装飾情報を含めて約10KBの文字を入力できます。
- ◎本文には、最大20件(合計100KB以下)の画像／デコレーション絵文字を挿入できます。
※一度挿入した画像／デコレーション絵文字は、件数に関係なく繰り返し挿入できます。
※挿入できる画像／デコレーション絵文字は、拡張子が「.jpg」「.gif」のファイルです。
- ◎「Eメールにデータを添付する」(▶P.48)の操作でデータを添付した場合は、添付データと画像／デコレーション絵文字を合計して2MBまで添付できます。
- ◎装飾した文字を削除しても、装飾情報のみが残り、入力可能文字数が少なくなる場合があります。
- ◎異なる機種の携帯電話やパソコンなどの間で送受信したデコレーションメールは、受信側で一部正しく表示されないことがあります。
- ◎デコレーションメール非対応機種やパソコンなどに送信すると、通常のEメールとして受信・表示される場合があります。
- ◎Eメールの「サーバ転送」では、本文を装飾できません。
- ◎会話モードでは、本文を装飾できません。

■ 速デコを利用する

本文を入力後に、自動的に絵文字を挿入したり、フォント／背景色を変更して、本文を装飾することができます。

速デコを利用するには、あらかじめauスマートパスから対応するアプリケーションをダウンロードしてください。

- ・フォルダモードでのみ利用できます。

1 送信メール作成画面で本文入力欄をタップ→本文を入力

2 [E]

装飾結果プレビュー画面が表示されます。

- ・「次候補」をタップするたびに次の装飾候補が表示されます。

3 「確定」



■ テンプレートを利用する

テンプレートにメッセージを挿入することで、簡単に装飾メールを作成して送信することができます。

- ・フォルダモードでのみ利用できます。

1 フォルダ一覧で「テンプレート」

テンプレート一覧画面が表示されます。

- ・[E] →「ストレージから読み込み」をタップすると、microSDカードまたは内蔵ストレージ内のテンプレート一覧を表示できます。

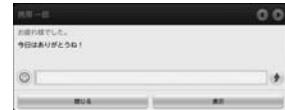
FJT21本体に読み込んでからご利用ください。

2 テンプレートをタップ→[E]

Eメールを受信する

1 Eメールを受信

- Eメールの受信が終了すると、以下の方法で新着メールをお知らせします。いずれの通知もEメール設定で「基本通知設定」(▶P.56)または「個別通知設定」(▶P.56)にてオフにすることができます。
- ・端末がスリープ状態でEメールを受信すると画面が点灯します。
- ・ロック画面上に通知ポップアップを表示することができます。



- ・ステータスバーに[E]が表示され、Eメール受信音が鳴ります。
- ステータスバーにEメールアドレス、名前、件名が表示されます。受信したEメールに差出人名称が設定されている場合は、設定されている名前が表示されます。Eメールアドレスが連絡先に登録されている場合は、連絡先に登録されている名前が優先して表示されます。

2 ホーム画面で[E] (Eメール)

Eメールの会話モード画面が表示されます。

- ・新着Eメールがあるスレッドには●(赤色)、未読Eメールがあるスレッドには●(青色)が表示されます。

3 確認するスレッドをタップ

受信したEメールを含むスレッド内容表示が表示されます。

- ・確認するEメールをロングタッチ→「詳細表示」をタップするとEメール詳細表示画面が表示されます。



◎Eメールやその他の機能を操作中でもバックグラウンドでEメールを受信します。ステータスバーに[E]が表示され、Eメール受信音が鳴ります。ただし、「メール自動受信」(▶P.55)をオフに設定している場合は、バックグラウンド受信はしません。

◎「メール自動受信」(▶P.55)をオフに設定している場合や、受信に失敗した場合は、Eメール受信音が鳴り[E]が表示されます。「新着メールを問い合わせて受信する」(▶P.50)の操作を行い、Eメールを受信してください。

◎受信状態および受信データにより、正しく受信されなかった場合でもパケット通信料がかかる場合があります。

◎受信できる本文の最大データ量は、1件につき約1MBまでです。それを超える場合は、本文の最後に、以降の内容を受信できなかった旨のメッセージが表示されます。

◎受信したEメールの内容によっては、正しく表示されない場合があります。

添付データを受信・再生する

1 スレッド内容表示で添付データをタップ

2 「表示」

- ・アプリケーションの選択画面が表示された場合は、使用するアプリケーションを選択します。
- ・未受信の添付データは、添付データのファイル名をタップすると受信が開始されます。
受信完了後、もう一度添付データをタップ→「表示」をタップしてください。



◎通常のEメール(テキストメール)では、添付データがオンライン再生される場合があります。再生されるデータの種類は、拡張子が「.png」「.jpg」「.gif」「.bmp」などのファイルです。

※データによっては、オンライン再生されない場合があります。

◎デコレーションメールの本文内に挿入されている画像は最大150KBまで受信できます。

添付画像を保存する

Eメールに添付された画像をmicroSDカードまたは内蔵ストレージに保存できます。

1 スレッド内容表示で添付データをタップ

2 「ストレージへ保存」

保存先選択画面が表示されます。

3 保存先を選択→「保存」

- 選択した画像が内蔵ストレージ、またはmicroSDカードが取り付けられている場合はmicroSDカードの「MyFolder」に保存されます。



- ◎保存先選択画面で「Up」をタップすると、1つ上の階層のフォルダを選択できます。
◎未受信の添付画像は保存できません。サーバーから画像を受信してから操作してください(▶P.49)。

差出人／宛先／件名／電話番号／Eメールアドレス／URLを利用する

1 スレッド内容表示／Eメール詳細表示画面を表示

■差出人／宛先／本文中のEメールアドレスを利用する場合

2 差出人／宛先／本文中のEメールアドレスをタップ

3 項目を選択

Eメール作成	選択したEメールアドレス宛のEメールを作成します。
アドレス帳登録	選択したEメールアドレスを電話帳に登録します。
アドレスコピー	選択したEメールアドレスをコピーします。
振分け条件に追加*	選択したEメールアドレスをフォルダの振分け条件に登録します。 「新規振分けフォルダ作成」／「[「×××」(×××はフォルダ名)に追加]→「保存」 <ul style="list-style-type: none">ロックされたフォルダ(▶P.54)を選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。「保存」をタップした後、すぐに再振分けを行う場合は「再振分けする」をタップします。 ▶P.53「フォルダを作成／編集する」
拒否リスト登録	選択したEメールアドレスを迷惑メールフィルターの指定拒否リストに登録します。 ▶P.58「迷惑メールフィルターを設定する」

* フォルダモードのときのみ選択できます。

■ 件名をコピーする場合

2 件名をタップ→「コピー」

■本文中の電話番号を利用する場合

2 本文中の電話番号をタップ

3 項目を選択

音声発信	選択した電話番号を電話帳に登録します。
特番付加184	
特番付加186	
au国際電話サービス	
SMS作成	選択した電話番号を宛先としたSMSを作成します。 ▶P.62「SMSを送信する」
アドレス帳登録	選択した電話番号を電話帳に登録します。
電話番号コピー	選択した電話番号をコピーします。

■本文中のURLを利用する場合

2 本文中のURLをタップ

3 項目を選択

開く	選択したURLのページをブラウザで表示します。
・アプリケーションの選択画面が表示された場合は、使用するアプリケーションを選択します。	
URLをコピー	選択したURLをコピーします。



- ◎本文中のEメールアドレス、電話番号、URLは、表記のしかたによって正しく認識されない場合があります。

新着メールを問い合わせて受信する

「メール自動受信」(▶P.55)をオフに設定した場合や、Eメールの受信に失敗した場合は、新着メールを問い合わせて受信することができます。

1 ホーム画面で✉(Eメール)

2 ✉

新着のEメールがあるかどうかを確認します。



- ◎スレッド内容表示で、メール作成バーより上の部分を上方へスクロールさせ、指を離しても新着メールを問い合わせて受信することができます。

Eメールを検索する

1 ホーム画面で✉(Eメール)

2 🔎

- フォルダモードの場合は 🔎→「全検索」／「フォルダ内検索」をタップします。

3 キーワードを入力

- 半角と全角を区別して入力してください。

4 🔎

検索結果一覧画面が表示されます。

- 日時が新しいEメールから順に表示されます。

- フォルダモード画面から検索する場合、ロックされたフォルダ内のEメールは検索対象から外されます。



- ◎キーワード検索以外にも 🔎 をタップし、検索条件のアイコンをタップしたり、日付を指定して検索することができます。検索条件は複数選択できます。

Eメールを会話モードで確認する

受信したEメールは、相手先ごとにEメールをスレッドにまとめて表示できます。新着のEメールが既存のEメールへの返信Eメールであれば、それらは同じスレッドにまとめられます。

1 ホーム画面で (Eメール)

Eメールの会話モード画面が表示されます。

- 新着Eメールがあるスレッドには (赤色)、未読Eメールがあるスレッドには (青色)が表示されます。

2 確認するスレッドをタップ

スレッド内容表示が表示され、Eメールが確認できます。

会話モード画面でできること

1 会話モード画面で /

2 項目を選択

件名を表示／件名を非表示	件名の表示／非表示を設定します。
Eメール設定	▶P.54「Eメールを設定する」
ヘルプ	「サービス概要」や「更新情報」を確認できます。

■ アクションバーを利用する

1 会話モード画面

2 アイコンをタップ

(切替)	▶P.44「Eメールの表示モードを切り替える」
(新規作成)	▶P.47「Eメールを送信する」
(新着問合せ)	▶P.50「新着メールを問い合わせて受信する」
(検索)	▶P.50「Eメールを検索する」

■ スレッドを削除する

1 スレッド一覧→削除するスレッドにチェックを付ける

アクションバーに □ が表示されます。

2 □→「削除」

スレッド内のEメールはすべて削除されます。

- スレッド内に保護されたEメールがある場合は、保護されたEメールの削除を確認する画面が表示されます。「削除しない」をタップすると、保護されたEメールが残り、スレッドは削除されません。

Eメールを個別に操作する

1 スレッド内容表示で操作するEメールをロングタッチ

2 項目を選択

詳細表示	Eメール詳細表示画面を表示します。
本文転送	本文を転送するEメールを作成します。 <ul style="list-style-type: none">送信メール作成画面が表示されます。件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。元のEメールにファイルが添付されている場合は、転送メールにも添付されます。
保護／保護解除	Eメールを保護します。 <ul style="list-style-type: none">保護されているEメールでは「保護解除」をタップして保護を解除します。
フラグ／フラグ解除	Eメールにフラグを付けます。 <ul style="list-style-type: none">フラグ付きのEメールでは「フラグ解除」をタップしてフラグを外します。
削除	Eメールを削除します。
コピー	テキストをコピーします。
画像保存	オンライン画像を保存します。
文字コード	文字コードを変更します。
共有	データをBluetooth®やメール添付などで送信したり、SNSなどにアップロードしたりできます。

※ Eメールにより選択できる項目は異なります。

Eメールをフォルダモードで確認する

受信したEメールは、受信ボックスに保存されます。送信済みのEメールは送信ボックスに保存されます。受信したEメールや送信したEメールが振分け条件に一致した場合は、設定したフォルダに保存されます。送信せずに保存したEメール、送信に失敗したEメールは未送信ボックスに保存されます。

1 ホーム画面で (Eメール) → □

Eメールのフォルダモード画面が表示されます。

- 受信ボックスに新着メールがある場合は赤丸と件数が表示され、新着メールを確認すると青丸に変わります。
- 未送信ボックスにEメールがある場合は、青丸と件数が表示されます（送信に失敗したEメールがある場合は、赤丸に変わります）。

■ 受信メールを確認する場合

2 「受信ボックス」または「フォルダ」をタップ

受信メール一覧画面が表示されます。

3 Eメールをタップ

受信メール詳細表示画面が表示されます。

- ：返信のEメールを作成
- ：転送のEメールを作成
- ／□：Eメールを保護／保護解除
- ／□：Eメールにフラグを付ける／解除

■ 送信メールを確認する場合

2 「送信ボックス」または「フォルダ」をタップ

送信メール一覧画面が表示されます。

- フォルダを選択した場合は「送信」をタップします。

3 Eメールをタップ

送信メール詳細表示画面が表示されます。

- ：同じEメールをもう一度送信
- ：コピーして編集
- ／□：Eメールを保護／保護解除
- ／□：Eメールにフラグを付ける／解除

■ 未送信ボックスのEメールを確認する場合

2 「未送信ボックス」

未送信メール一覧画面が表示されます。

- 送信に失敗したEメールをロングタッチ→「送信失敗理由」をタップすると、送信に失敗した理由を確認できます。
- 日時指定した送信予約メールをロングタッチ→「送信予約情報」をタップすると、送信日時を確認できます。「編集」をタップして送信日時を編集すると、いったん送信予約は解除されます。
- 送信予約メールをロングタッチ→「送信予約解除」をタップすると、送信予約が解除されます。

3 Eメールをタップ

未送信メールをタップした場合、未送信メール詳細表示画面または送信予約メール詳細表示画面が表示されます。

- 宛先が入力されているEメールを送信
- Eメールを編集
- Eメールを保護／保護解除
- Eメールにフラグを付ける／解除

memo

- 宛先が不明で相手に届かなかったEメールは、送信ボックスに保存されます。
- 受信ボックスの容量を超えると、最も古い既読メールが自動的に削除されます。ただし、未読のEメール、保護されたEメール、本文を未受信のEメールは削除されません。
- 受信ボックスのすべてのメールが未読の状態で受信ボックスの容量を超えると、新着メールを受信できません。
- 送信ボックス・未送信ボックスの容量を超えると、最も古い送信済みメールが自動的に削除されます。削除できる送信済みメールがない場合は、サーバーに元のメールがなく転送に失敗したEメール、送信失敗メール、未送信メールの順に削除されます。ただし、保護されたメール、送信予約メールは削除されません。

フォルダモード画面でできること

1 フォルダモード画面で

2 項目を選択

フォルダ編集	▶P.53「フォルダを作成／編集する」
フォルダ削除	選択したフォルダとフォルダ内のメールをすべて削除します。 削除するフォルダにチェックを付ける→「削除」→「削除」 <ul style="list-style-type: none">ロックされたフォルダは選択できません。フォルダ内に保護されたEメールがある場合は、保護されたEメールの削除を確認する画面が表示されます。「削除しない」をタップすると、保護されたEメールが残り、フォルダは削除されません。
再振分け	現在設定されているフォルダの振分け条件で、Eメールの再振分けを行います。 <ul style="list-style-type: none">ロックされたフォルダがある場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。
テンプレート削除 ※	テンプレートを削除できます。
ストレージから読み込み*	本体ストレージやmicroSDカードに保存しているテンプレートを読み込みます。
Eメール設定	▶P.54「Eメールを設定する」
ヘルプ	「サービス概要」や「更新情報」を確認できます。

* テンプレートのときのみ選択できます。

アクションバーを利用する

1 フォルダモード画面

2 アイコンをタップ

(切替)	▶P.44「Eメールの表示モードを切り替える」
(新規作成)	▶P.47「Eメールを送信する」
(新着問合せ)	▶P.50「新着メールを問い合わせて受信する」
(検索)	▶P.50「Eメールを検索する」

Eメール詳細表示画面でできること

1 Eメール詳細表示画面で

2 項目を選択

転送	本文転送	本文を転送するEメールを作成します。 <ul style="list-style-type: none">送信メール作成画面が表示されます。件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。元のEメールにファイルが添付されている場合は、転送メールにも添付されます。
サーバ転送		サーバーに保存されているEメールを本文の最後に引用して転送します。 <ul style="list-style-type: none">送信メール作成画面が表示されます。件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。サーバーにある元のEメール(受信メール)を転送するため、受信できなかった添付データもすべて転送されます。デコレーションメールはサーバ転送できません。
移動		Eメールを移動します。 移動先のフォルダをタップ <ul style="list-style-type: none">あらかじめフォルダを作成してください(▶P.53)。
削除		Eメールを削除します。
本文選択		Eメールの本文を選択してコピーします。 表示される本文選択画面でコピーする文字列の開始位置をタップする、または をタップしてカーソルを移動→「選択開始」→ / で選択範囲を指定→「コピー」 <ul style="list-style-type: none">Eメール詳細表示画面で本文をロングタッチ→「本文選択」をタップしても本文選択画面を表示できます。本文選択画面をロングタッチ→ / をドラッグして選択範囲を指定→「コピー」をタップして操作することもできます。「全選択」をタップすると、本文全体を選択できます。絵文字やINLINE画像もコピーできます。一部の装飾(文字位置／効果、背景色)はコピーされません。
画像保存		オンライン画像を保存します。
文字サイズ		本文の文字サイズを一時的に切り替えます。「特大」「大」「中」「小」「極小」 <ul style="list-style-type: none">Eメール詳細表示画面を閉じると、「受信・表示設定」で設定した文字サイズに戻ります。
ストレージへ保存		Eメールを保存します。microSDカードが取り付けられている場合はmicroSDカードに、取り付けられていない場合は内蔵ストレージに保存します。 <ul style="list-style-type: none">microSDカードまたは内蔵ストレージに保存したEメールは、「Eメール設定」の「バックアップ・復元」でFJT21に読み込むことができます(▶P.57)。
文字コード		本文を表示する文字コードを一時的に切り替えます。「ISO-2022-JP」「Shift_JIS」「UTF-8」「EUC-JP」「ASCII」 <ul style="list-style-type: none">変更した文字コードは、表示中のEメール内容表示画面でのみ一時的に適用されます。
本文受信		本文未受信メールを表示した際、本文の受信を開始します。
共有		データをBluetooth®やメール添付などで送信したり、SNSなどにアップロードしたりできます。
送信予約情報		送信予約日時を確認します。
送信予約解除		送信予約を解除します。

* 画面により選択できる項目は異なります。

■ フォルダを作成／編集する

フォルダを作成して、フォルダごとにEメールの振分け条件や着信通知を設定したり、フォルダにロックをかけたりすることができます。

1 フォルダ一覧で「フォルダ作成」

フォルダ編集画面が表示されます。

2 フォルダ名称欄をタップ→フォルダ名を入力

・フォルダ名は、全角8／半角16文字まで入力できます。

■ フォルダアイコンを変更する場合

3 画面左上のフォルダアイコンをタップ

4 アイコンを選択→カラーを選択→「OK」→「保存」

■ フォルダ画像を設定する場合

3 画面左上のフォルダアイコンをタップ→「ギャラリーから写真を選択」

4 画像を選択→切り抜き範囲を指定→「切り抜き」→「OK」→「保存」

memo

◎最大20個のフォルダを作成できます。

■ フォルダに振分け条件を設定する

作成したフォルダに「メールアドレス」「ドメイン」「件名」「アドレス帳登録外」「不正なメールアドレス」の振分け条件を設定できます。設定した振分け条件に該当するEメールを受信／送信すると、自動的に設定フォルダにEメールが振り分けられます。

1 フォルダモード画面で■/■→「フォルダ編集」→「フォルダをタップ」

フォルダ編集画面が表示されます。

- ・ロックされたフォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。

■ 振分け条件を追加する場合

2 「振分け条件追加」→■

3 項目を選択

メールアドレス	Eメールアドレスを振分け条件に登録します。 Eメールアドレスを入力→「OK」→「保存」 ・ <input checked="" type="radio"/> をタップすると、「アドレス帳引用」「アドレス帳グループ引用」「メール受信履歴引用」「メール送信履歴引用」「プロファイル引用」「貼り付け*」から入力方法を選択して、Eメールアドレスを登録できます。
ドメイン	ドメインを振分け条件に登録します。 ドメインを入力→「OK」→「保存」 ・ <input checked="" type="radio"/> をタップすると、「アドレス帳引用」「メール受信履歴引用」「メール送信履歴引用」「プロファイル引用」「貼り付け*」から入力方法を選択して、ドメインを登録できます。
件名	件名を振分け条件に登録します。 件名を入力→「OK」→「保存」 ・件名の一部が一致する場合も振り分けられます。

※クリップボードに文字が記憶されている場合に表示されます。

■ アドレス帳登録外／不正なメールアドレスを振分け条件に設定する場合

2 「アドレス帳登録外」／「不正なメールアドレス」にチェックを付ける→「保存」

memo

- ◎振分け条件を設定／編集して「保存」をタップすると、フォルダの再振分けを行うかどうかの確認画面が表示されます。すぐに再振分けを行う場合は、「再振分けする」をタップします。
- ◎全フォルダで「メールアドレス」「ドメイン」「件名」を合わせて最大400件登録できます。
- ◎同一の振分け条件を複数のフォルダに設定することはできません。
- ◎「振分け条件設定」の一覧で、追加した条件の右横にある をタップして、条件を編集したり、削除することができます。
- ◎振り分けの対象となるEメールアドレスは、受信メールの場合は差出人、送信メールの場合は宛先です。
- ◎一致する振分け条件が複数あるEメールの場合は、メールアドレス>ドメイン>件名>その他の優先順位で振り分けられます。送信メールのメールアドレスは、To>Cc>Bccの優先順位で振り分けられ、先頭のメールアドレス／ドメイン>2番目のメールアドレス／ドメイン>…>最後のメールアドレス／ドメインの優先順位で振り分けられます。

■ フォルダごとに着信通知を設定する

受信ボックスや作成したフォルダごとにEメール受信時の着信音やバイブレーション、お知らせLEDのパターンを設定できます。

1 フォルダモード画面で■/■→「フォルダ編集」→受信ボックス／フォルダをタップ

フォルダ編集画面が表示されます。

- ・ロックされた受信ボックス／フォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。

2 「フォルダ別設定」

3 必要な項目を設定

着信音	OFF	着信音が鳴りません。
	Eメールプリセット	Eメールアプリにプリセットされている着信音を設定します。
着信音	アプリ	アプリを利用して着信音を設定します。
通知音	ストレージ	内蔵ストレージやmicroSDカードの音楽を着信音に設定します。
	その他	他のアプリを利用して着信音を設定します。
バイブルレーション	バイブルレーション	受信ボックス／選択したフォルダに振り分けられるEメールを受信したときのバイブルレーションを設定します。 「OFF」／パターンを選択→「OK」
LED	LED	受信ボックス／選択したフォルダに振り分けられるEメールを受信したときのお知らせLEDのパターンを設定します。 「OFF」／パターンを選択→「OK」
着信音鳴動時間	着信音鳴動時間	受信ボックス／選択したフォルダに振り分けられるEメールを受信したときの着信音の鳴動時間を設定します。 「一曲鳴動」／「時間設定」 ・「時間設定」を選択した場合は、1～60秒の範囲で指定します。
通知ポップアップ	通知ポップアップ	ロック画面上に新着Eメールをポップアップ表示するかどうかを設定します。 ▶P.49「Eメールを受信する」
メール受信時の画面点灯	メール受信時の画面点灯	Eメールを受信したときにスリープ解除し画面を点灯するかどうかを設定します。 ▶P.49「Eメールを受信する」

4 「OK」→「保存」

■ フォルダにロックをかける

受信ボックスや作成したフォルダにロックをかけて、フォルダロック解除パスワードを入力しないとフォルダを開いたり編集や削除ができないように設定できます。

あらかじめ「Eメール設定」の「パスワード設定」(▶P.54)でフォルダロック解除パスワードを設定してください。

1 フォルダモード画面で \square/\equiv →「フォルダ編集」→受信ボックス／フォルダをタップ

フォルダ編集画面が表示されます。

2 「フォルダロック」→「フォルダロック解除パスワードを入力」→「OK」

「フォルダロック」にチェックが付きます。

- ・フォルダ編集画面で「フォルダロック」のチェックを外すと、フォルダロック設定が解除されます。

3 「保存」

Eメールを設定する

1 ホーム画面で \square (Eメール)

2 \square/\equiv →「Eメール設定」

Eメール設定画面が表示されます。

3 必要な項目を設定

受信・表示設定	▶P.55「受信・表示に関する設定をする」
送信・作成設定	▶P.55「送信・作成に関する設定をする」
通知設定	▶P.56「通知に関する設定をする」
	▶P.56「個別の通知に関する設定をする」
添付ファイル保存設定*	保存場所の設定 メールにファイルが添付されているとき、添付ファイルが自動的に保存される場所を選択します。 本体メモリに保存: 本体メモリに保存する。 ストレージに保存: 内蔵ストレージに保存する。
	添付ファイル一括移動 自動的に保存された添付ファイルを別の場所にまとめて移動します。 ストレージへ一括移動: 本体メモリから内蔵ストレージに移動する。 本体メモリへ一括移動: 内蔵ストレージから本体メモリに移動する。

プライバシー設定	パスワード設定／パスワード変更 フォルダロック解除パスワード(4～16文字の英数字)を入力→「OK」→同じパスワードを再度入力→「OK」→ひみつの質問を選択→「OK」→ひみつの質問の回答を入力→「OK」 <ul style="list-style-type: none"> ・パスワードを設定すると「パスワード変更」が表示されます。 ・フォルダロック解除パスワードの入力を連続3回間違えるとひみつの質問画面が表示されます。「表示する」→回答を入力→「OK」をタップすると、新しいパスワードを設定できます。
パスワードリセット	パスワードをリセットします。 フォルダロック解除パスワードを入力→「OK」→「リセット」 <ul style="list-style-type: none"> ・パスワード未設定の場合は選択できません。 ・パスワードをリセットすると、フォルダロック、シークレット機能も解除されます。
シークレット	シークレット機能の有効、無効を設定します。 パスワードを入力→「OK」 <ul style="list-style-type: none"> ・表示されるシークレットモードの説明をよくお読みになりご利用ください。 ・パスワード未設定の場合は設定できません。 ・シークレット機能を有効／無効にする場合やシークレット機能を一時解除する場合に誤ったパスワードを入力しても、ポップアップなどは表示されません。
アドレス変更・その他の設定	▶P.57「アドレスの変更やその他の設定をする」
設定更新	Eメールアドレスの再初期設定を行います。
バックアップ・復元	▶P.57「Eメールをバックアップ／復元する」
Eメール情報	自分のEメールアドレスやEメール保存件数／使用容量、ソフトウェアバージョンを表示します。 <ul style="list-style-type: none"> ・Eメールアドレス欄をタップ→「アドレスコピー」をタップして、Eメールアドレスをコピーできます。

* 受信／送信／未送信メールに添付されているファイルの保存場所を設定します。設定によりシステムメモリの負担を軽減させることができます。本操作での「添付データ」はファイル検索を行ってもデータを確認できません。また、削除するメールにファイルが添付されている場合、添付ファイルも一緒に削除されます。残しておきたい添付ファイルの保存方法は、「添付データを受信・再生する」(▶P.49)にてご確認ください。

受信・表示に関する設定をする

① Eメール設定画面で「受信・表示設定」

② 必要な項目を設定

メール自動受信	サーバーに届いたEメールを自動的に受信する／しないを設定します。チェックを外してオフに設定すると、受信せずに新しいEメールがサーバーに到着したことをお知らせします。	
メール受信方法	全受信	差出人・件名と本文を受信します。
	指定全受信	<p>指定したアドレスからのEメールは、差出人・件名と本文を受信します。指定していないアドレスからのEメールは、差出人・件名のみを受信します。</p> <p>アドレス帳:電話帳に登録されているアドレスからのEメールは差出人・件名と本文を受信する。</p> <p>個別アドレスリスト:「個別アドレスリスト編集」で登録したアドレスからのEメールは差出人・件名と本文を受信する。</p> <p>個別アドレスリスト編集:個別アドレスを登録する。</p> <ul style="list-style-type: none"> • タップすると、「アドレス帳引用」「アドレス帳グループ引用」「メール受信履歴引用」「メール送信履歴引用」「プロフィール引用」「貼り付け*」から入力方法を選択して、個別アドレスを登録できます。 ※クリップボードに文字が記憶されている場合に表示されます。 • 登録した個別アドレスを削除するには、削除するアドレスの 「削除」をタップします。
	差出人・件名受信*	差出人・件名のみを受信します。
添付自動受信	受信メールの添付データを自動的に受信する／しないを設定します。チェックを付けてオンに設定すると、Eメールの受信と一緒に添付データを受信します。オフに設定すると、添付データを別途取得します。	
添付自動受信サイズ	自動受信する添付データの上限サイズを設定します。「100KB」「500KB」「1MB」「2MB」	
アドレス帳登録名表示	電話帳に登録された名前を表示する／しないを設定します。	
文字サイズ	Eメール内容表示画面／送信メール作成画面の本文の文字サイズを設定します。「特大」「大」「中」「小」「極小」	
テーマ設定	Eメールアプリの画面デザインを設定します。	
背景画像設定	背景画像(縦画面)	背景画像を設定します。
	背景画像(横画面)	「設定する」→画像を選択→「切り抜き」

* 差出人・件名のみを受信したEメールは、受信メール一覧画面でEメールをタップすると、本文を取得できます。本文未受信のままEメール詳細表示画面が表示されたときは、
 / →「本文受信」をタップすると、本文を取得できます。本文受信は、電波状態の良いところに行ってください。

送信・作成に関する設定をする

① Eメール設定画面で「送信・作成設定」

② 必要な項目を設定

返信先アドレス	Eメールを受信した相手の方が返信する場合に、宛先に設定されるアドレスを設定します。「設定する」→返信先のEメールアドレス(半角英数64文字まで)を入力→「OK」
差出人名称	送信先で表示される名前を設定します。「設定する」→差出人名称(全角12／半角24文字まで)を入力→「OK」
冒頭文	<p>本文の冒頭に挿入する文を設定します。「設定する」→冒頭文(全角1,250／半角2,500文字まで)を入力→「完了」→「設定」</p> <ul style="list-style-type: none"> • 冒頭文には、最大10種類の画像／デコレーション絵文字を挿入できます。 • 冒頭文／署名を挿入しただけで、画像／デコレーション絵文字の制限(最大20種類、または合計100KB以下)に達した場合は、本文入力時に画像／デコレーション絵文字を挿入できません。 • 冒頭文と署名に同じ画像を挿入した場合でも、冒頭文と署名が本文に挿入されると、画像は異なるファイルとして扱われます。 • 会話モードでご利用の場合、自動的に挿入されませんので、会話モードの送信メール作成画面で / →「挿入」→「冒頭文」をタップして挿入してください。
署名	<p>本文の末尾に挿入する文を設定します。「設定する」→署名(全角1,250／半角2,500文字まで)を入力→「完了」→「設定」</p> <ul style="list-style-type: none"> • 署名には、最大10種類の画像／デコレーション絵文字を挿入できます。 • 冒頭文／署名を挿入しただけで、画像／デコレーション絵文字の制限(最大20種類、または合計100KB以下)に達した場合は、本文入力時に画像／デコレーション絵文字を挿入できません。 • 冒頭文と署名に同じ画像を挿入した場合でも、冒頭文と署名が本文に挿入されると、画像は異なるファイルとして扱われます。 • 会話モードでご利用の場合、自動的に挿入されませんので、会話モードの送信メール作成画面で / →「挿入」→「署名」をタップして挿入してください。
返信メール引用	返信時、受信メールの内容を本文に引用する／しないを設定します。チェックを付けてオンに設定すると、受信メールの行頭に「>」を付けて引用します。受信メールがデコレーションメールの場合は、1行目の行頭のみ「>」を付けて引用します。
送信時確認表示	誤送信防止のために送信時の確認画面を表示する／しないを設定します。
自動再送信	送信失敗したメールを自動的に再送信する／しないを設定します。

通知に関する設定をする

① Eメール設定画面で「通知設定」→「基本通知設定」

② 必要な項目を設定

着信音	OFF	着信音が鳴りません。
	Eメールプリセット	Eメールアプリにプリセットされている着信音を設定します。
着信音	端末本体	端末本体にプリセットされている着信音、通知音を設定します。
通知音	ストレージから探す	内蔵ストレージやmicroSDカードの音楽を着信音に設定します。
	その他	他のアプリを利用して着信音を設定します。
バイブレーション	Eメール受信時のバイブレーションを設定します。 「OFF」/「パターンを選択」→「OK」	Eメール受信時のお知らせLEDのパターンを設定します。 「OFF」/「パターンを選択」→「OK」
LED	Eメール受信時のお知らせLEDのパターンを設定します。 「OFF」/「パターンを選択」→「OK」	Eメール受信時のお知らせLEDのパターンを設定します。 「OFF」/「パターンを選択」→「OK」
着信音鳴動時間	Eメール着信音の鳴動時間を設定します。 「一曲鳴動」「時間設定」 ・「時間設定」を選択した場合は、1~60秒の範囲で指定します。	Eメール着信音の鳴動時間を設定します。 「一曲鳴動」「時間設定」 ・「時間設定」を選択した場合は、1~60秒の範囲で指定します。
ステータスバー通知	Eメール受信時、ステータスバーに通知アイコンと共に差出人・件名または差出人を表示するか、または通知アイコンのみ表示するかどうかを設定します。 「差出人・件名」「差出人」「通知のみ」「OFF」	Eメール受信時、ステータスバーに通知アイコンと共に差出人・件名または差出人を表示するか、または通知アイコンのみ表示するかどうかを設定します。 「差出人・件名」「差出人」「通知のみ」「OFF」
送信失敗通知	Eメール送信失敗時にバイブレーションでお知らせする/しないを設定します。	Eメール送信失敗時にバイブレーションでお知らせする/しないを設定します。
通知ポップアップ	ロック画面上に新着Eメールをポップアップ表示するかどうかを設定します。 ▶P.49「Eメールを受信する」	ロック画面上に新着Eメールをポップアップ表示するかどうかを設定します。 ▶P.49「Eメールを受信する」
メール受信時の画面点灯	Eメールを受信したときにスリーブ解除し画面を点灯するかどうかを設定します。 ▶P.49「Eメールを受信する」	Eメールを受信したときにスリーブ解除し画面を点灯するかどうかを設定します。 ▶P.49「Eメールを受信する」
電源キー押下による着信音鳴動停止	着信音鳴動中に、⑩を押して画面点灯または消灯を契機に鳴動を停止するかどうかを設定します。	着信音鳴動中に、⑩を押して画面点灯または消灯を契機に鳴動を停止するかどうかを設定します。

個別の通知に関する設定をする

① Eメール設定画面で「通知設定」→「個別通知設定」

② 「新規設定」

③ 「アドレス帳引用」/「メール受信履歴引用」/「メール送信履歴引用」→設定するアドレスを選択→「選択」

④ 必要な項目を設定

着信音	OFF	着信音が鳴りません。
	Eメールプリセット	Eメールアプリにプリセットされている着信音を設定します。
着信音	端末本体	端末本体にプリセットされている着信音、通知音を設定します。
通知音	ストレージから探す	内蔵ストレージやmicroSDカードの音楽を着信音に設定します。
	その他	他のアプリを利用して着信音を設定します。
バイブレーション	Eメール受信時のバイブレーションを設定します。 「OFF」/「パターンを選択」→「OK」	Eメール受信時のバイブレーションを設定します。 「OFF」/「パターンを選択」→「OK」
LED	Eメール受信時のお知らせLEDのパターンを設定します。 「OFF」/「パターンを選択」→「OK」	Eメール受信時のお知らせLEDのパターンを設定します。 「OFF」/「パターンを選択」→「OK」
着信音鳴動時間	Eメール着信音の鳴動時間を設定します。 「一曲鳴動」「時間設定」 ・「時間設定」を選択した場合は、1~60秒の範囲で指定します。	Eメール着信音の鳴動時間を設定します。 「一曲鳴動」「時間設定」 ・「時間設定」を選択した場合は、1~60秒の範囲で指定します。
通知ポップアップ	ロック画面上に新着Eメールをポップアップ表示するかどうかを設定します。 ▶P.49「Eメールを受信する」	ロック画面上に新着Eメールをポップアップ表示するかどうかを設定します。 ▶P.49「Eメールを受信する」
メール受信時の画面点灯	Eメールを受信したときにスリーブ解除し画面を点灯するかどうかを設定します。 ▶P.49「Eメールを受信する」	Eメールを受信したときにスリーブ解除し画面を点灯するかどうかを設定します。 ▶P.49「Eメールを受信する」

アドレスの変更やその他の設定をする

- Eメール設定画面で「アドレス変更・その他の設定」→「接続する」

必要な項目を設定

Eメールアドレスの変更	<p>EメールアドレスはEメールアドレスの初期設定を行うと自動的に決まりますが、変更できます。</p> <ol style="list-style-type: none">暗証番号の入力欄をタップ→暗証番号(4桁)を入力→「送信」「承諾する」Eメールアドレスの入力欄をタップ→Eメールアドレスの「@」の左側の部分(変更可能部分)を入力→「送信」→「OK」Eメールアドレスの変更可能部分は、半角英数小文字、「-」「_」「.」を含め、半角30文字まで入力できます。ただし、「_」を連続して使用したり、最初と最後に使用することはできません。また、最初に数字の「0」を使用することもできません。変更後は、しばらくの間Eメールを受信できないことがありますので、あらかじめご了承ください。入力したEメールアドレスがすでに使用されている場合は、他のEメールアドレスの入力を求めるメッセージが表示されますので、再入力してください。Eメールアドレスの変更は1日3回まで可能です。
迷惑メールフィルター	<p>オススメの設定はこちら ▶P.58「迷惑メールフィルターを設定する」</p>
自動転送先	<p>受信したEメールを自動的に転送するEメールアドレスを登録します。</p> <ol style="list-style-type: none">暗証番号の入力欄をタップ→暗証番号(4桁)を入力→「送信」入力欄をタップ→Eメールアドレスを入力→「送信」→「終了」自動転送先のEメールアドレスは、2件まで登録できます。自動転送先の変更・登録は、1日3回まで可能です。 ※設定をクリアする操作は、回数には含まれません。「エラー！ Eメールアドレスを確認してください。」と表示された場合は、自動転送先のEメールアドレスとして使用できない文字を入力しているか、指定のEメールアドレスが規制されている可能性があります。Eメールアドレスを間違って設定すると、転送先の方に迷惑をかける場合がありますのでご注意ください。自動転送メールが送信エラーとなった場合、自動転送先のEメールアドレスを含むエラーメッセージが送信元に返る場合がありますのでご注意ください。

memo

◎暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。

Eメールをバックアップ／復元する

Eメールをフォルダごとにバックアップできます。バックアップしたデータはFJT21へ読み込むことができます。

memo

◎バックアップしたデータは、microSDカードが取り付けられている場合は、「/mnt/external_sd/private/au/email/BU」フォルダに、microSDカードが取り付けられていない場合は内蔵ストレージの「/storage/emulated/0/private/au/email/BU」フォルダに保存されます。

Eメールをバックアップする

microSDカードが取り付けられている場合は、バックアップデータをmicroSDカードに保存できます。

- Eメール設定画面で「バックアップ・復元」
- 「バックアップ」→「OK」
- バックアップするフォルダにチェックを付ける→「OK」
 - ロックされた受信ボックス／フォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。

バックアップデータを復元する

microSDカードが取り付けられている場合は、microSDカードに保存されているバックアップデータを復元できます。

- Eメール設定画面で「バックアップ・復元」
- 「メールを復元」
- 「受信メール」／「送信メール」／「未送信メール」／「ストレージから探す」→「OK」
 - 内蔵ストレージに保存されたバックアップデータを読み込む場合は、「ストレージから探す」→「OK」をタップして「storage」フォルダを選択してください。
- 復元するバックアップデータにチェックを付ける→「OK」
 - 「全選択」をタップすると、一覧表示しているデータをすべて選択できます。
 - 「Up」をタップして1つ上の階層のフォルダを選択できます。
 - 「MyFolder」をタップするとMyFolderを開くことができます。
- 「追加保存」／「上書き保存」→「OK」
 - 「上書き保存」を選択した場合は、確認画面で「OK」をタップします。

memo

◎添付されたデータもバックアップできます。

※バックアップしたファイルのサイズが端末本体に保存可能なサイズを超過した場合はバックアップできません。不要な添付ファイル付メールを削除したうえで再度バックアップを行ってください。

- シークレット機能を有効にし、シークレット機能が一時解除されている状態ではバックアップ、復元がご利用いただけません。シークレット機能を無効にしたうえでバックアップ、復元の操作を行ってください。
- シークレット機能を有効にしてバックアップを行うと、シークレット対象のメールはバックアップされませんのでご注意ください。
- バックアップデータを復元する際に「上書き保存」を選択した場合は、保存されているすべてのEメールを削除して(保護されているEメールや未読メール、ロックされたフォルダ内のEメールも削除されます)、バックアップしたEメールを復元します。
- 復元したEメールから未受信の本文や添付ファイルを取得したり、復元したEメールをサーバ転送することはできません。

迷惑メールフィルターを設定する

迷惑メールフィルターには、特定のEメールを受信／拒否する機能と、携帯電話・PHSなどになりますとしてくるEメールを拒否する機能があります。

1 Eメール設定画面で「アドレス変更・その他の設定」→「接続する」

■ おすすめの設定にする場合

2 「オススメの設定はこちる」→「登録」

なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否します。本設定により大幅に迷惑メールを削減できます。

■ 詳細を設定する場合

2 「迷惑メールフィルター」→暗証番号の入力欄をタップ→暗証番号(4桁)を入力→「送信」

3 必要な項目を設定

オススメ一括設定	1.オススメ設定	とにかく迷惑メールでお悩みの方にオススメします。なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否します。
	2.携帯メールのみ受信	パソコンからのメール・なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否して、携帯電話・PHSからのメールを受信する条件に設定します。
詳細設定	個別設定	一括指定受信 インターネット、携帯電話からのメールを一括で受信／拒否します。 迷惑メールおまかせ規制 メールサーバーで受信したPCメールの中で、迷惑メールの疑いのあるメールを自動検知して規制します。 なりすまし規制 送信元のアドレスを偽って送信してくれるメールの受信を拒否します。(高)(中)(低)の3つの設定があります。 ※ 指定受信リスト設定(なりすまし・転送メール許可)により「なりすまし規制」を回避して、自動転送メールを受信することもできます。 HTMLメール規制 メール本文がHTML形式で記述されているメールを拒否することができます。 URLリンク規制 本文中にURLが含まれるメールを拒否することができます。 ウィルスメール規制 メールサーバーで受信したメールの添付ファイルがウィルスに感染している場合に、受信規制を行います。 拒否通知メール返信設定 迷惑メールフィルターで拒否されたEメールに対して、受信エラー(宛先不明)メールを返信するかどうかを設定することができます。
指定受信リスト設定		個別に指定したEメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールを優先受信します。 ・指定受信リストに登録したアドレス以外のEメールをブロックする場合は、「一括指定受信」ですべてのチェックをオフ(受信拒否)にしてください。 ※ 指定受信リスト設定(なりすまし・転送メール許可)により「なりすまし規制」を回避して、自動転送メールを受信します。なお、本受信リストにezweb.ne.jpやその一部を登録すると、すべてのメールを受信するためご注意ください。
指定拒否リスト設定		個別に指定したEメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールの受信を拒否します。
アドレス帳受信設定		Friends Noteもしくはauアドレス帳に保存したメールアドレスからのメールを受信することができます。

設定確認／解除

PC設定用ワンタイムパスワード発行

迷惑メールフィルター設定状態の確認と、設定の解除ができます。

設定にあたって

迷惑メールフィルターの設定を行う際の説明を表示します。

※ 最新の設定機能は、auのホームページでご確認ください。

<http://www.au.kddi.com/> →「迷惑メールでお困りの方へ」→「迷惑Eメール防止方法」→「迷惑メールフィルター機能」

memo

○ 暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。

○ 迷惑メールフィルターの設定により、受信しなかったEメールをもう一度受信することはできませんので、設定には十分ご注意ください。

○ 迷惑メールフィルターは、以下の優先順位にて判断されます。

指定受信リスト設定(なりすまし・転送メール許可) >なりすまし規制 >指定拒否リスト設定 >指定受信リスト設定 >アドレス帳受信設定 >HTMLメール規制 >URLリンク規制 >一括指定受信 >迷惑メールおまかせ規制 >ウィルスメール規制

○ 「指定受信リスト設定(なりすまし・転送メール許可)」は、自動転送されてきたEメールが「なりすまし規制」の設定時に受信できなくなるのを回避する機能です。自動転送設定元のメールアドレスを指定受信リスト(なりすまし・転送メール許可)に登録することにより、そのメールアドレスがTo(宛先)もしくはCc(同報)に含まれているEメールについて、規制を受けることなく受信できます。
※ Bcc(隠し同報)のみに含まれていた場合(一部メールマガジン)は、本機能の対象外となりますのでご注意ください。

○ 「拒否通知メール返信設定」は、迷惑メールフィルター初回設定時に自動的に「返信する」に設定されます。なお、「返信する」に設定している場合でも、「なりすまし規制」および「迷惑メールおまかせ規制」でブロックされたメールには返信されません。

○ 「URLリンク規制」を設定すると、メールマガジンや情報提供メールなどの本文中にURLが記載されたEメールの受信や、一部のケータイサイトへの会員登録などができない場合があります。

○ 「HTMLメール規制」を設定すると、メールマガジンやパソコンから送られてくるEメールの中にHTML形式で記述されているEメールが含まれる場合、それらのメールが受信できない場合があります。また、携帯電話・PHSからのデコレーションメールは「HTML規制」を設定している場合でも受信できます。

○ 「なりすまし規制」は、送られてきたEメールが間違いくそそのドメインから送られてきたかを判定し、詐称されている可能性がある場合は規制するものです。この判定は、送られてきたEメールのヘッダ部分に書かれてあるドメインを管理しているプロバイダ・メール配信会社などが、ドメイン認証(SPFレコード記述)を設定している場合に限られます。ドメイン認証の設定状況につきましては、それぞれのプロバイダ・メール配信会社などにお問い合わせください。

※ パソコンなどで受け取ったEメールを転送させている場合、転送メールが正しいドメインから送られてきていないと判断され受信がブロックされてしまうことがあります。そのような場合は自動転送元のアドレスを「指定受信リスト設定(なりすまし・転送メール許可)」に登録してください。

■ パソコンから迷惑メールフィルターを設定するには

迷惑メールフィルターは、お持ちのパソコンからも設定できます。auのホームページ内の「迷惑メールでお困りの方へ」の画面内にある「PCからの迷惑メールフィルター設定」にアクセスし、PC設定用ワンタイムパスワードを入力して設定を行ってください。

PC設定用ワンタイムパスワードは、迷惑メールフィルター画面の「PC設定用ワンタイムパスワード発行」で確認できます。

PC設定用ワンタイムパスワードが発行されてから15分以内にパソコンから「迷惑メールフィルター設定」に接続を行ってください。15分を過ぎるとPC設定用ワンタイムパスワードは無効となります。

PCメールを利用する

普段パソコンなどで利用しているメールアカウントをFJT21に設定し、パソコンと同じようにFJT21からメールを送受信できます。

- PCメールを利用するには、パケット通信接続または無線LAN(Wi-Fi®)接続が必要です。

PCメールを使うために必要な設定をする

PCメールの送受信を行う前に、メールアカウントを設定する必要があります。

- あらかじめご利用のサービスプロバイダから設定に必要な情報を入手してください。

1 ホーム画面で[メール]→「メール」

初めて起動したときはメールアカウントの登録画面が表示されます。

2 メールアドレスを入力→「パスワード」にメールパスワードを入力→「手動セットアップ」

・「次へ」をタップすると、入力したメールアドレスによっては、自動的にメールサーバーの設定が終了して、受信トレイが表示される場合や、操作⑥の画面が表示される場合があります。画面の指示に従って操作してください。

3 アカウントのタイプを選択→必要な項目を設定(受信サーバー)

ユーザー名／ドメイン＼ユーザー名	ユーザー情報を入力します。
パスワード	メールパスワードを入力します。
POP3サーバー／IMAPサーバー／サーバー	サーバー情報を入力します。
ポート	ポート番号を入力します。
セキュリティの種類	必要な場合に選択します。
サーバーからメールを削除	受信したPCメールをサーバーから削除するかどうかを設定します。
IMAPバスのブリッキス	必要な場合に入力します。
安全な接続(SSL)を使用する	PCメール受信時にSSLを使用する場合にチェックを付けます。
すべてのSSL証明書を承認	すべてのSSL証明書を承認する場合にチェックを付けます。
クライアント証明書	使用するクライアント証明書を選択します。

4 「次へ」→必要な項目を設定(送信サーバー)

SMTPサーバー	サーバー情報を入力します。
ポート	ポート番号を入力します。
セキュリティの種類	必要な場合に選択します。
ログインが必要	必要な場合にチェックを付けます。 ・チェックを付けた場合は、「ユーザー名」と「パスワード」を入力します。
ユーザー名	「ログインが必要」にチェックを付けた場合にユーザー名を入力します。
パスワード	「ログインが必要」にチェックを付けた場合にパスワードを入力します。

5 「次へ」

6 必要な項目を設定

受信トレイを確認する頻度	新着メールの自動確認を、何分ごとに行うかを設定します。
いつもこのアカウントでメールを送信	チェックを付けると、メールを作成するときは、作成中のメールアカウントを使ってメールを送信します。
メールの着信を知らせる	チェックを付けると、新着メールがあることをお知らせします。
このアカウントからメールを同期する	チェックを付けると、設定したアカウントからメールを同期します。
Wi-Fiへの接続時に添付ファイルを自動的にダウンロードする	チェックを付けると、無線LAN(Wi-Fi®)に接続してメールを受信した際に自動的に添付ファイルをダウンロードします。

7 「次へ」

8 必要な項目を設定

このアカウントに名前を付ける	複数のメールアカウントを登録した際、メールアカウントを区別するために名前を入力します。 省略した場合は、メールアドレスが設定されます。
あなたの名前	このメールアカウントでメールを送信する際、差出人欄に表示する名前を入力します。

9 「次へ」

登録が完了し、受信トレイが表示されます。



- ◎LTE NET／LTE NET for DATAを使用する場合、送信メールサーバーのポート番号を25番に設定しているとメールを送信できません(OP25B)。送信メールサーバーの設定について詳しくは、ご利用のサービスプロバイダへお問い合わせください。
- ◎メールアカウントによっては、設定項目が異なる場合があります。
- ◎すでにメールアカウントが設定済みで、さらに別のメールアカウントを設定する場合は、受信トレイで[設定]→「アカウントを追加」をタップしてメールアカウントの登録画面を表示します。
- ◎新着メール自動確認の設定によっては、通信の頻度が多くなり、使用時間が短くなります。
- ◎POP3サーバーを利用してPCメールを受信する場合、ご利用のプロバイダによってはFJT21に保存されたメールが消える場合があります。GmailをPCメールで受信する場合は、IMAPサーバーを利用してください。

受信トレイを表示する

1 ホーム画面で[メール]をタップ

- 初めて起動したときはメールアカウントの登録画面が表示されます。詳しくは、「PCメールを使うために必要な設定をする」(▶P.59)をご参照ください。

2 受信トレイが表示されない場合は[■]を複数回タップ

- 複数のメールアカウントを登録している場合は、受信トレイで上部にある現在のアカウントをタップし、操作するメールアカウントをタップすると、指定したメールアカウントの受信トレイが表示されます。
- 「統合ビュー」をタップすると、すべてのメールアカウントのメールが混在した統合受信トレイが表示されます。各メールアカウントはメールの右側にあるカラーバーで区別されます。

メールを作成して送信する

1 受信トレイで「作成」

- 複数のメールアカウントを登録している場合は、作成するメールアカウントの受信トレイを表示してから操作してください。
- 統合ビューが表示されている場合は、優先アカウントに設定しているメールアカウントから送信されます。

2 「[To]」→相手のメールアドレスを入力

- CcやBccを追加する場合は、「CC/BCCを追加」をタップします。

3 「件名」→件名を入力

4 「メールを作成します」→メッセージを入力

- ファイルを添付する場合は、[添付]→アプリケーションを選択→ファイルを選択します。

5 「送信」

memo

○送信したメールは、パソコンからのメールとして扱われます。受信する端末側で「パソコンからの受信拒否」の設定をしていると、メールが届きません。

○メール送信時のアカウント名や名前、署名、優先アカウントを設定する場合は、[■]→「設定」をタップしてアカウントを選択し、各項目を設定します。

メールを受信する

1 メールを受信

- メールの受信が完了すると、ステータスバーに[■]が表示され、「メール受信時の動作を設定する」(▶P.60)で設定した通知音とバイブレーションでお知らせします。

2 ステータスバーを下にドラッグ

3 新着メール通知をタップ

新着メールを問い合わせて受信する

受信トレイの確認頻度を「自動確認しない」に設定している場合や、メールの受信に失敗した場合は、新着メールを問い合わせて受信することができます。

1 受信トレイで「更新」

- 複数のメールアカウントを登録している場合は、受信するメールアカウントの受信トレイを表示してから操作してください。

2 受信したメールをタップ

メールの内容が表示されます。

メールを返信／転送する

1 返信／転送するメールの本文を表示

■返信する場合

2 [返信]→メッセージを入力→「送信」

- 全員に返信する場合は[返信]をタップします。

■転送する場合

2 [転送]→転送先のメールアドレスを入力

3 メッセージを入力→「送信」

メールを削除する

1 受信トレイで削除するメールにチェックを付ける→「削除」

memo

○削除するメールの本文を表示→「削除」をタップしても削除できます。

メールアカウントごとに受信設定を行う

新着メールの自動確認間隔を設定する

新着メールの自動確認を、何分ごとに行うかを設定します。

新着メールの自動確認を設定すると、擬似的にメールを自動受信できますが、従量制データ通信をご利用の場合、メールを確認するたびに料金がかかります。

1 受信トレイで[■]→「設定」→メールアカウントをタップ→「受信トレイの確認頻度」

2 自動確認間隔をタップ

メール受信時の動作を設定する

1 受信トレイで[■]→「設定」→メールアカウントをタップ

2 着信通知に関する項目を設定

メール着信通知	チェックを付けると、新着メールを受信したときにステータスバーに通知アイコンを表示します。
着信音を選択	新着メールをお知らせする着信音を設定します。
バイブレーション	チェックを付けると、新着メールを受信したときに振動でお知らせします。

メールをバックアップ／復元する

メールをmicroSDカードへバックアップしたり、バックアップしたメールを本体へ復元したりできます。

1 受信トレイで[■]→「設定」→「バックアップ／復元」

■バックアップする場合

2 「microSDへバックアップ」→「開始」

3 「OK」

■復元する場合

2 「本体へ復元」→「開始」

3 「OK」

memo

○添付ファイルはバックアップされません。

Gmailを利用する

- GmailはGoogleのメールサービスです。FJT21のGmailで送受信したメールを、パソコンなどのブラウザからも確認できます。また、ブラウザでGmailを操作するとFJT21のGmailにも反映されます。
- Gmailを利用するには、パケット通信接続または無線LAN(Wi-Fi®)接続が必要です。また、FJT21にGoogleアカウントを設定する必要があります。Googleアカウントが未設定の場合は、初回Gmail起動時に画面の指示に従って設定してください(▶P.23)。
 - Gmailの詳細な操作方法については、受信トレイで➡→「ヘルプ」→アプリケーションを選択して、ヘルプをご参照ください。

受信トレイを表示する

1 ホーム画面で➡→「Gmail」

2 受信トレイが表示されない場合は➡を複数回タップ

- 複数のメールアカウントを登録している場合は、受信トレイの左上に表示されているGmailアカウントをタップすると、指定したアカウントの受信トレイが表示されます。

■ メッセージスレッドについて

Gmailでは、返信ごとにメールをメッセージスレッドにまとめて表示します。新着のメールが既存のメールへの返信メールであれば、それらは同じメッセージスレッドにまとめられます。新規のメールや既存のメールの件名を変更した場合は、新しいメッセージスレッドが作成されます。

送信済みや下書き保存したメールを確認する

送信トレイ、下書き、送信済みメールなどのトレイや、ラベル分けされたトレイが一覧できます。

1 確認するトレイをタップ

メールを作成して送信する

1 受信トレイで➡

2 「To」➡相手のメールアドレスを入力

- CcやBccを追加する場合は、「CC／BCCを追加」をタップします。

3 「件名」➡件名を入力

4 「メールを作成」➡メッセージを入力

- 画像を添付する場合は、➡→画像を選択します。

5 「送信」



○送信したメールは、パソコンからのメールとして扱われます。受信する端末側で「パソコンからの受信拒否」の設定をしていると、メールが届きません。

メールを受信する

1 メールを受信

メールの受信が完了すると、ステータスバーに➡が表示され、「メール受信時の動作を設定する」(▶P.61)で設定した通知音とバイブレーションでお知らせします。

2 ステータスバーを下にドラッグ

3 新着メール通知をタップ

Gmailを更新する

FJT21のGmailとウェブサイトのGmailを同期させて、受信トレイを更新します。

1 受信トレイで画面を下へフリック

2 受信したメールのスレッドをタップ

スレッドが表示されます。

メールを返信／転送する

1 受信トレイで返信／転送するメールを含むスレッドをタップ

■ 返信する場合

2 ➡➡メッセージを入力→「送信」

- 全員に返信する場合は➡をタップします。

■ 転送する場合

2 ➡➡転送先のメールアドレスを入力

3 メッセージを入力→「送信」

スレッドを操作する

1 受信トレイで操作するスレッドをロングタッチ

画面上部のアイコンの種類が変わります。

2 操作するアイコンをタップ

➡ : アーカイブ

- スレッドを保管します。保管されたスレッドは受信トレイに表示されません。

➡ : 削除

- タップするとスレッドごと削除されます。スレッドの中の一部のメールだけを選択して削除することはできません。

➡/➡ : 既読／未読

➡ : 移動

- ラベルを変更します。

➡ : 「ラベルを変更」「スターを付ける」「スターをはずす」「重要マークを付ける」「重要マークを外す」「ミュート」「迷惑メールを報告」「フィッシングを報告」



○FJT21ではラベルを作成できません。GmailのWebサイトで作成してください。

メール受信時の動作を設定する

1 受信トレイで➡→「設定」→設定するアカウントをタップ→「受信トレイの音とバイブレーション」

2 着信通知に関する項目を設定

メールの同期	新着メールを受信したときに同期するかどうかを設定します。
ラベル通知	チェックを付けると、新着メールを受信したときにステータスバーに通知アイコンを表示します。
着信音	新着メールをお知らせする着信音を設定します。
バイブレーション	チェックを付けると、新着メールを受信したときに振動でお知らせします。
新着メールごとに通知する	チェックを付けると、新着メールを受信するごとに通知します。

SMSを利用する

タブレットや携帯電話同士で、電話番号を宛先としてメールのやりとりができるサービスです。海外の現地携帯電話の電話番号を宛先にしてもメッセージが送れます。



◎ 海外でのSMSのご利用については、auホームページをご参照ください。

SMSを送信する

漢字・ひらがな・カタカナ・英数字・記号・絵文字・顔文字のメッセージ（メール本文）を送信できます。

1 ホーム画面で田→「SMS」

相手先別のスレッド一覧画面が表示されます。

2 「新規作成」

SMS作成画面が表示されます。

- 同じ相手にSMSを送信するときは、スレッドをタップしても、SMSを作成できます。その場合は操作④に進みます。

3 「To」→相手先電話番号を入力

- 「電話帳」をタップすると、電話帳から相手先電話番号を選択して入力することもできます。
- 電話帳に電話番号を登録している相手にSMSを送信する場合は、電話帳に登録した名前を入力すると相手の電話番号が表示され、電話番号を選択できます。
- 海外へ送信する場合は、相手先電話番号の前に「010」と「国番号」を入力します。

「0」「1」「0」+国番号+相手先電話番号

※ 相手先携帯電話番号が「0」で始まる場合は「0」を除いて入力してください。

※ 電話帳などから相手先電話番号を引用した場合は、もう一度宛先をタップして「010」と「国番号」を入力してください。

4 「メッセージを入力」→本文を入力

- メッセージは全角70／半角160文字まで送信できます。
- 「絵文字」をタップすると顔文字／絵文字を入力できます。

5 「送信」

- 送信したメッセージをタップすると送信結果を確認できます。



◎ メッセージ作成中に田をタップすると、スレッド一覧画面に「下書き」が表示され、メールを送信せずに下書きとして保存できます。

◎ SMSセンターは、以下の通りSMSをお預かりします。

お預かり(蓄積)可能時間	72時間まで ※ 蓄積されてから72時間経過したSMSは、自動的に消去されます。
お預かり可能件数	制限なし ※ 受信されるお客様のご利用状況、また、送信されるお客様の電話機の種類により、SMSセンターでお預かりできない場合があります。

◎ 蓄積されたSMSが配信されるタイミングは、以下の通りです。

SMS蓄積後すぐ配信	新しいSMSがSMSセンターに蓄積されるたびに、SMSセンターでお預かりしていたSMSがすべて配信されます。
リトライ機能による配信	相手の方が電波の届かない場所にいるときや、電源が入っていないなどの理由で、蓄積後すぐに配信できなかった場合は、最大72時間、相手先へSMSを繰り返し送信するリトライ機能によりSMSを配信します。

※ 国際SMSの場合、配信タイミングが異なる場合があります。

◎ 発信者番号通知をせずにSMSを送信することはできません。

◎ 絵文字を他社の携帯電話に送信すると、一部他社の絵文字に変換されたり、受信側で正しく表示されないことがあります。

また、異なるau電話に送信した場合は、auの旧絵文字に変換される場合があります。

◎ SMSの送信が成功しても、電波の弱い場所などではまれに▲が表示される場合があります。

◎ 国際SMSの詳細につきましては、auホームページをご確認ください。

<http://www.au.kddi.com/mobile/service/global/sms/>

SMSを受信する

1 SMSを受信

SMSの受信が終了すると、ステータスバーに■が表示され、メール受信音が鳴ります。

2 ホーム画面で田→「SMS」

3 確認する相手先のスレッドをタップ

受信したSMSを含むスレッド内容表示画面が表示されます。



◎ SMSの受信は、無料です。

◎ 受信したSMSでは、送信してきた相手の方の電話番号を確認できます。

◎ 受信したメールの内容によっては正しく表示されない場合があります。

SMSを返信／転送する

1 ホーム画面で田→「SMS」

2 返信／転送するスレッドをタップ

■ 返信する場合

3 「メッセージを入力」→本文を入力

4 「送信」

■ 転送する場合

3 転送するメッセージをロングタッチ

オプションメニューが表示されます。

4 「転送」

5 「To」→相手先電話番号を入力

- 「電話帳」をタップすると、電話帳から相手先電話番号を選択して宛先を入力することもできます。

6 本文を入力

7 「送信」

メールアドレス／URLを利用する

1 スレッド内容表示画面を表示

■ 本文中のEメールアドレスを利用する場合

2 本文中のEメールアドレスをタップ

3 アプリケーションを選択

メール作成画面が表示されます。

■ 本文中のURLを利用する場合

2 本文中のURLをタップ

3 アプリケーションを選択

URLのページが表示されます。



◎ 本文中にEメールアドレスやURLを含むSMSを受信するには、SMS安心ブロック機能を解除する必要があります(▶P.64)。

◎ 本文中の電話番号をタップすると、電話番号を連絡先に追加できます。

SMSを保護／保護解除する

- 1 スレッド内容表示画面を表示
- 2 保護／保護解除するメッセージをロングタッチ
- 3 「ロック」／「ロック解除」

保護したメッセージには  が表示されます。

SMSの電話番号を電話帳に登録する

- 1 スレッド内容表示画面を表示
- 2  →「電話帳に追加」
 - ・スレッド一覧画面で登録する相手先の  →「OK」をタップしても登録できます。
- 3 電話番号を追加する連絡先を選択→「OK」

連絡先に電話番号が追加登録されます。

・「新しい連絡先を作成」をタップした場合は、連絡先編集画面が表示されます。

SMSを検索する

- 1 スレッド一覧画面で「検索」→「メッセージの検索」→キーワードを入力
 - ・半角と全角を区別して入力してください。
- 2 キーボードの  検索結果一覧画面が表示されます。

SMSを削除する

- 1 ホーム画面で  →「SMS」
- 2 ■ 1件削除する場合
- 3 削除するメッセージがあるスレッドをタップ
- 4 削除するメッセージをロングタッチ
- 5 「削除」→「削除」
- スレッドごと削除する場合
- 2 削除するスレッドをタップ
- 3  →「スレッドを削除」→「削除」
- 複数のスレッドを削除する場合
- 2 削除するスレッドをロングタッチ
- 3 削除するスレッドをタップ
- 4 「削除」→「削除」
- すべてのスレッドを削除する場合
- 2  →「すべてのスレッドを削除」→「削除」

SMSを設定する

着信通知や受信の設定をします。

- 1 ホーム画面で  →「SMS」
- 2  →「設定」
- 3 必要な項目を設定

古いメッセージを削除	チェックを付けると、設定した上限件数に達した場合に古いメッセージを削除します。
メッセージの制限件数	スレッドごとに保存できるメッセージの上限件数を設定します。
受取確認通知	チェックを付けると、送信したメッセージの受取確認通知を受け取ることができます。
通知	チェックを付けると、新着SMSを受信したときにステータスバーに通知アイコンを表示します。
着信音	新着SMSをお知らせする着信音を設定します。
着信音鳴動時間	着信音の鳴動時間を設定します。
バイブレーション	チェックを付けると、新着SMSを受信したときに振動でお知らせします。
LED	新着SMSを受信したときに点灯するお知らせLEDの色を設定します。
指定番号	指定番号の受信を拒否
指定番号一覧	チェックを付けると、「指定番号一覧」に登録した番号からのSMSを拒否します。 <ul style="list-style-type: none">・指定番号一覧が表示されます。・「+」をタップすると、受信を拒否する電話番号を登録できます。「連絡先引用」「電話番号入力」から入力方法を選択できます。・登録済みの電話番号をロングタッチすると、電話番号を編集したり削除できます。・ →「全件削除」→「OK」をタップすると、電話番号を全件削除できます。・電話番号は、最大10件まで登録できます。・電話番号の先頭に「184(発信者番号非通知)」「186(発信者番号通知)」が付加されている場合は、「184」「186」を削除して登録します。・受信フィルターで受信を拒否しても、送信側は正常に送信されたことになります。送信料もかかります。
電話帳登録外	チェックを付けると、電話帳に登録されていない電話番号からのSMSを拒否します。

SMS安心ブロック機能を設定する

SMS安心ブロック機能は、本文中にURLや電話番号を含むSMSを受信拒否する機能です。

memo

- ◎ SMS安心ブロック機能は、ご利用開始時から設定が有効となっています。
- ◎ 機種変更した場合は、以前ご使用の機種で設定された内容がそのまま継続されます。
- ◎ ブロック対象のSMSは、通常のSMS(ibriペイド送信含む)です。
着信お知らせサービス、お留守番サービスEX(伝言お知らせ)*、待ちうた情報お知らせサービスは、対象外です。
* お留守番サービスEXは有料オプションサービスです。

■ SMS安心ブロック機能の設定方法

SMS安心ブロック機能の設定は、特定の電話番号にSMSを送信することで行います。

設定を解除する	本文に「解除」と入力して、09044440010にSMSを送信する。
設定を有効にする	本文に「有効」と入力して、09044440011にSMSを送信する。
設定を確認する	本文に「確認」と入力して、09044440012にSMSを送信する。

* 設定時のSMS送信は無料です。

* 設定完了の案内SMSは、「09044440012」の番号通知で届きます。

■ SMS安心ブロック機能で受信拒否された場合

送信したSMSがSMS安心ブロック機能により受信拒否された場合は、送信したメッセージに▲が表示され、送信はされません。

インターネット

インターネットに接続する	66
パケット通信を利用する	66
パケット通信接続を切断する	66
ブラウザを利用する	66
Webページを表示する	66
ブラウザの基本的な操作について	66
Webページに表示されている情報を利用する	66
新しいタブを開く	67
履歴からWebページを表示する	67
ブックマークを利用する	67
Webページをオフラインで保存する	67
Webページの用語を辞書で調べる	67
ブラウザを設定する	68
ホームページを設定する	68
プライバシーとセキュリティを設定する	68

インターネットに接続する

FJT21では、パケット通信(LTE／3Gネットワーク)または無線LAN(Wi-Fi®)機能を使用してインターネットに接続できます。無線LAN(Wi-Fi®)機能については「無線LAN(Wi-Fi®)機能を利用する」(▶P.98)をご参照ください。

memo

◎LTE NETまたはLTE NET for DATAに加入していない場合は、パケット通信を利用できません。

パケット通信を利用する

FJT21は、LTE NETやLTE NET for DATAのご利用により、FJT21を手軽にインターネットに接続してパケット通信を行うことができます。FJT21にはあらかじめLTE NETでインターネットへ接続する設定が組み込まれており、インターネット接続を必要とするアプリケーションを起動すると自動的に接続されます。

memo

◎LTE NET for DATAでインターネットへ接続するには、ホーム画面で[?]→「無線とネットワーク」の「その他...」→「モバイルネットワーク」→「接続先ネットワーク(LTE)」→「LTE NET for DATA」をタップしてください。

◎LTEフラットなどのパケット通信料定額／割引サービスご加入でインターネット接続時の通信料を定額でご利用いただけます。LTE NET／LTE NET for DATA、パケット通信料定額／割引サービスについては、最新のau総合カタログ／auのホームページをご参照ください。

■ パケット通信ご利用上の注意

- 画像を含むホームページの閲覧、動画データなどのダウンロード、通信を行うアプリケーションやGoogleサービスなどのアプリケーションを使用するなど、データ量の多い通信を行うとパケット通信料が高額となるため、パケット通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめします。
- ネットワークへの過大な負荷を防止するため、一度に大量のデータ送受信を継続した場合やネットワークの混雑状況などにより、通信速度が自動的に制限される場合があります。

■ ご利用パケット通信料のご確認方法について

ご利用パケット通信料は、次のURLでご照会いただけます。

<https://cs.kddi.com/>(auお客さまサポート)

※初回のご利用の際は、お申し込みが必要です。

パケット通信接続を切断する

1 ホーム画面で[?]→「無線とネットワーク」の「その他...」→「モバイルネットワーク」

2 「データ通信を有効にする」のチェックを外す

データ通信に関する確認画面が表示されます。内容を確認して「OK」をタップします。「以後、表示しない」にチェックを付けると、次回から確認画面が表示されなくなります。

ブラウザを利用する

ブラウザを利用して、パソコンと同じようにWebページを閲覧できます。

Webページを表示する

1 ホーム画面で[?] (ブラウザ)

- ホーム画面で[?]→「ブラウザ」をタップしても起動できます。

2 アドレスバーをタップして、URLまたはキーワードを入力

URLまたはキーワードの候補リストが表示されます。

- アドレスバーをタップしてから[?]をタップすると、音声検索ができます。
- 画面上部のアドレスバーが見えなくなったときは、現在表示中のWebページのタブをタップしてください。

3 候補リストから表示するWebページをタップ、またはキーボードの「実行」をタップ

memo

◎非常に大きなWebページをブラウザで表示した場合など、Webページによってはブラウザが自動的に終了する場合があります。

ブラウザの基本的な操作について

次の方法でWebページを閲覧できます。

Webページの縦／横表示切替：FJT21を縦または横に持ち替える
Webページの拡大／縮小：画面をピンチアウト／ピンチイン

- [?]が表示されているときは、現在の拡縮率のまま、次のWebページを開きます。アイコンをタップすると、拡縮率引継ぎの有効／無効を切り替えます。

Webページの拡大／元に戻す：画面をダブルタップ(2回続けてタップ)

見たい部分を表示(スクロール)：画面をスライド

Webページに表示されている情報を利用する

■ Webページのリンクを操作する

リンクとは、画面をタップしたときに他のページを開いたりすることのできる部分です。

Webページに表示されているリンクに対して、以下の操作ができます。

リンクの種類	操作
URL	<ul style="list-style-type: none">リンクをタップしてWebページを開きます。リンクをロングタッチして、新しいタブでWebページを開いたり、URLをコピーしたり、リンクを保存したりします。
メールアドレス	<ul style="list-style-type: none">リンクをタップしてメールを作成します。リンクをロングタッチして、メールを作成したり、メールアドレスをコピーしたりします。
電話番号	<ul style="list-style-type: none">リンクをロングタッチして、連絡先として追加したり、電話番号をコピーしたりします。

■ Webページに表示されている画像を保存する

保存した画像はギャラリーで確認できます。

1 Webページを表示中に、保存する画像をロングタッチ→「画像を保存」

memo

◎Webページを表示中に、[?]→「設定」→「全般」→「ダウンロードファイル保存先」→「内蔵ストレージ優先」／「SDカード優先」をタップしてファイルの保存先を選択できます。お買い上げ時は「SDカード優先」に設定されています。

■ Webページのテキストをコピーする

コピーしたテキストは、他のアプリケーションなどで貼り付けて利用できます。

1 Webページを表示中に、テキストをロングタッチ

テキスト範囲が青色でハイライト表示されます。

- テキスト範囲の両端にあるつまみをドラッグすると、選択範囲を調節できます。

2 「コピー」

テキストがクリップボードにコピーされます。

- コピーしたテキストを貼り付けるには、文字入力画面でテキスト挿入位置をロングタッチ→「貼り付け」をタップします。

■ Webページを印刷する

Canon製またはEPSON製のワイヤレス印刷対応プリンターでWebページを印刷することができます。

- あらかじめ無線LAN(Wi-Fi®)機能をオンにしてください(▶P.98)。

1 Webページを表示中に、■→「ワイヤレス印刷」

2 プリンターを選択

- 初回起動時は、許可画面や利用規約画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。

新しいタブを開く

1 Webページを表示中に、タブの■

新しいタブが開き、設定しているホームページが表示されます。

- ■→「新しいタブ」をタップしても開きます。
- Webページを表示中に、■→「新しいシークレットタブ」→アドレスバーにURL／キーワードを入力してWebページを開くと、シークレットタブで表示することができます。シークレットタブで表示中はタブに■が表示されます。

タブを切り替える／閉じる

1 Webページを表示中に、表示するタブをタップ

- 閉じるときは閉じるWebページのタブをタップ→タブの■をタップします。

履歴からWebページを表示する

1 Webページを表示中に、アドレスバーの□→「履歴」

- 画面上部のアドレスバーが見えなくなったときは、現在表示中のWebページのタブをタップしてください。

2 表示するWebページの履歴をタップ

- 「今日」、「過去7日間」などをタップすると、その期間の履歴の表示／非表示を切り替えることができます。
- よく閲覧するWebページの履歴を表示する場合は、「よく使用」をタップします。
- 履歴をロングタッチ→「新しいタブで開く」をタップすると、新しいタブで開くことができます。

ブックマークを利用する

ブックマークを保存する

1 ブックマークに登録するWebページを表示中に、アドレ

スバーの★

- 画面上部のアドレスバーが見えなくなったときは、現在表示中のWebページのタブをタップしてください。

2 ブックマークのラベルやURLなどを確認／必要に応じて変更→「OK」



◎ブックマークはプライバシーモード(▶P.110)の対象に設定することができます。

ブックマークからWebページを表示する

1 Webページを表示中に、アドレスバーの□

2 ブックマークを選択

- ブックマークをロングタッチすると、ブックマークの編集や削除などができます。

Webページをオフラインで保存する

Webページをオフラインで保存できます。

1 保存するWebページを表示中に、■→「オフラインで読めるよう保存」

- 保存したWebページは、ブックマーク画面の「保存したページ」タブに表示されます。保存したWebページをタップしてオフラインで閲覧できます。オフラインのWebページは、タブに□が表示されます。

Webページの用語を辞書で調べる

Webページに表示されている用語を選択して、その場で辞書で調べることができます。

- 「ブラウザを設定する」(▶P.68)で「全般」の「すぐ辞書を表示する」にチェックを付けた場合に利用できます。

1 Webページ表示中に、テキストをロングタッチ

テキスト範囲が青色でハイライト表示され、テキスト範囲の用語を辞書で検索した結果が吹き出しで表示されます。

- テキスト範囲の両端にあるつまみをドラッグすると、選択範囲を調節できます。

2 吹き出しをタップ

- 「富士通モバイル統合辞書+」が起動し、検索候補一覧が表示されます。
- 該当する用語が辞書にないときは、吹き出しが表示されません。

3 候補一覧から、調べたい用語をタップ

ブラウザを設定する

ブラウザの表示方法やコンテンツに関する設定、プライバシーとセキュリティに関する設定などを行えます。変更した設定をリセットすることもできます。

1 Webページを表示中に、■→「設定」

2 必要な項目を設定

全般	ブラウザ起動時に表示するWebページ、ダウンロードファイルの保存先、フォームの自動入力、辞書検索の利用などを設定します。
プライバシーとセキュリティ	▶P.68「プライバシーとセキュリティを設定する」
ユーザー補助	テキストのサイズや画面の表示などについて設定します。
高度な設定	検索エンジンの設定やJavaScript・プラグインの有効／無効、ページコンテンツに関する設定、リセットなどを設定します。 <ul style="list-style-type: none">「プラグインを有効にする」を「OFF」にすると、サイトの構成によって映像を再生または操作できない場合があります。「ウェブサイト設定」では、WebページによってFJT21に保存されたデータを、Webページごとに削除できます。「ページの自動調整」にチェックを付けている場合は、Webページ内のテキストなどの表示が画面に合わせて最適化されます。テキストをダブルタップすると、テキストが画面の幅に収まるように調整されます。「初期設定にリセット」を行うと、ブラウザのすべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。ただし、ブックマークや履歴、キャッシュは削除されません。
帯域幅の管理	検索結果のプリロードや画像の読み込みの設定をします。
Labs	クイックコントロールや全画面モードの設定をします。

ホームページを設定する

新しいブラウザウィンドウを開いたときに表示されるホームページを設定します。

1 Webページを表示中に、■→「設定」→「全般」

2 「ホームページを設定」→「その他」

・表示中のWebページをホームページに設定するときは、「現在のページ」をタップします。

3 ホームページに設定するURLを入力→「OK」

プライバシーとセキュリティを設定する

1 Webページを表示中に、■→「設定」→「プライバシーとセキュリティ」

2 必要な項目を設定

キャッシュを消去	サイトの閲覧時に保存されたページデータ（キャッシュ）を削除します。
履歴消去	ブラウザの閲覧履歴をすべて削除します。
セキュリティ警告	チェックを付けると、サイトの安全性に問題がある場合に警告が表示されます。セキュリティ保護のため、チェックを外さないことをおすすめします。
Cookieを受け入れる	チェックを外すと、Cookieの保存と読み取りが禁止され、安全性をより高めることができます。
Cookieをすべて消去	保存されているCookieをすべて削除します。
フォームデータを保存	チェックを外すと、フォームに入力した内容が保存されなくなり、安全性をより高めることができます。
フォームデータを消去	保存されているフォームデータをすべて削除します。
位置情報を有効にする	チェックを外すと、Webページ閲覧中に現在地情報の読み取りが禁止され、安全性をより高めることができます。
位置情報アクセスを消去*	サイトからの位置情報アクセスをすべて削除します。
パスワードを保存	チェックを外すと、Webページ閲覧中にサイトで入力したユーザー名とパスワードが保存されなくなり、安全性をより高めることができます。
パスワードを消去	保存されているユーザー名とパスワードをすべて削除します。

*「位置情報を有効にする」にチェックを付けている場合に選択できます。

memo

◎「Cookieを受け入れる」のチェックを外すと、一部のWebサービスが利用できなくなる場合がありますのでご注意ください。

ツール・アプリケーション

アプリケーション一覧	70	予定表の機能を設定する	85
NX!電話帳を利用する	72	YouTubeを利用する	85
連絡先を登録する	72	Googleマップを利用する	86
連絡先の内容を確認する	72	地図を表示する	86
連絡先をインポート／エクスポートする	72	ストリートビューを見る	86
KSfilemanagerを利用する	73	興味のある場所を検索する	86
テレビ(フルセグ／ワンセグ)を利用する	73	レイヤを表示する	86
テレビの初期設定をする	74	道案内を取得する	86
テレビを見る	74	ローカルを利用する	86
テレビの視聴予約／録画予約を行う	75	Friends Noteを利用する	86
番組を録画する	75	auお客さまサポートを利用する	87
地デジ番組を再生する	76	安心セキュリティパックを利用する	87
テレビの機能を設定する	76	auスマートサポートを利用する	88
カメラを利用する	77	スマートフォン自動診断を利用する	88
カメラをご利用になる前に	77	au災害対策アプリを利用する	89
撮影画面の見かた	77	災害用伝言板を利用する	89
静止画を撮影する	78	緊急速報メールを利用する	89
動画を撮影する	78	災害用音声お届けサービスを利用する	90
静止画や動画を楽しむ	79	災害情報／義援金サイトを利用する	90
静止画や動画を再生する	79	安心アクセス for Android™を利用する	90
静止画を壁紙や連絡先の顔写真に設定する	79	Document Viewerを利用する	91
静止画や動画を共有する	79	電卓を使う	91
音楽を楽しむ	80	統合辞書を利用する	92
音楽プレイヤーで音楽を楽しむ	80		
DLNA対応機器と連携させる	80		
DiXiM Serverを設定する	80		
FJT21のコンテンツをDLNA対応機器で再生する	81		
FJT21のコンテンツをDLNA対応機器へ配信する	81		
DLNA対応機器のコンテンツをFJT21で再生する	81		
外部機器に接続して表示する	82		
Miracastでテレビに表示する	82		
MirrorLinkでカーナビと接続する	82		
MHLでテレビに表示する	82		
NFCを利用する	82		
Androidアプリを利用する	83		
Google Playを利用する	83		
auスマートパスを利用する	84		
ハングアウトを利用する	84		
チャットを開始する	84		
ハングアウトの機能を設定する	84		
ログアウトする	84		
予定表でスケジュールを管理する	85		
予定を登録する	85		
予定の内容を確認する	85		

アプリケーション一覧

FJT21には次のアプリケーションが搭載されています。

アプリケーション名	概要	参照先
NX!電話帳	電話番号やメールアドレスなどを入力でき、連絡先から簡単な操作で連絡できます。	P.72
Eメール	(@ezweb.ne.jp)のアドレスを利用してメールの送受信ができます。絵文字やデコレーションメールに対応しています。	P.44
SMS	SMSの送受信ができます。	P.62
Gmail	Googleアカウントのメールを送受信できます。	P.61
メール	パソコンなどで使用しているメールアカウントを設定して、メールの送受信ができます。	P.59
ブラウザ	Webページを閲覧できます。	P.66
Chrome	Googleの高速Webブラウザです。	—
かんたんインターネット	簡単な操作で、パソコンと同じようにWebページを開覧できます。	—
Google	クリック検索ボックスで情報を検索します。	P.32
音声検索	Google音声検索を利用できます。	—
設定	FJT21の各種設定を行います。	P.104
auお客さまサポート	auの端末の契約内容や月々の利用状況などを簡単に確認できるアプリです。	P.87
au災害対策	災害用伝言板や緊急速報メール(緊急地震速報、災害・避難情報、津波警報)、災害用音声お届けサービスを利用することができますのできるアプリです。	P.89
リモートサポート	タブレットの操作で困ったとき、お客様のFJT21の画面を共有し、お客様の操作をサポートするアプリです。	P.87
3LM Security	FJT21を盗難・紛失された場合に、FJT21を遠隔操作でロックすることができます。	P.87
安心アクセス	お子さまがauの端末を安心してご利用いただけるよう、不適切と思われるWebページへのアクセスやアプリケーションのご利用を制限するフィルタリングアプリです。	P.90
au Wi-Fi接続ツール	au Wi-Fi SPOTの利用可能なスポットで簡単にWi-Fi®を利用できます。また、「かんたん接続」搭載の無線LANアクセスポイントと簡単にWi-Fi®設定できます。	—
auバックアップアプリ	お客様のタブレットに保存しているさまざまなデータをmicroSDカードにバックアップ/復元できるアプリです。	—
Backup	連絡先や画像などをバックアップ・復元できるアプリです。	—
Google設定	Googleアプリに関する設定をします。	—
auかんたん設定	auかんたん設定は、auの便利な機能やサービスをご利用いただくための設定をサポートする設定アプリです。	P.23
au ID 設定	au IDを設定します。	P.23
おはなしアシスタント	タブレットに向かって話しかけることで、天気予報、メール作成、アラーム設定などが簡単に行えます。さらに、アシスタントキャラクターとの楽しい会話も可能です。	—
GLOBAL PASSPORT	海外でご利用の際、渡航先に応じて、適用される利用料金、ご利用設定方法などをチェックできるアプリです。	—

アプリケーション名	概要	参照先
取扱説明書	FJT21の操作方法や設定方法を確認できます。	—
auスマートバス	月額390円(税込)でアプリが取り放題、会員特典としてのお得なクーポンやプレゼント、写真のお預かりサービスやセキュリティソフトなど、安心・快適なスマホライフが楽しめるサービスです。	P.84
au Market	auスマートバスのアプリ取り放題に対応したAndroidアプリをインストールできます。	—
Playストア	Google Playを利用できます。	P.83
auショッピングモール	スマートフォングッズ・グルメ・ファッショングッズなどのインターネット通販が楽しめるauショッピングモール公式アプリです。	—
こどもパーク	お子様の成長を促す楽しい知育アプリを、保護者の方が設定した安心な環境で、お子様の伸び伸びしたい科目や能力、興味関心に応じてご利用いただけます。	—
クックパッド for AU smartpass	クックパッド プレミアムサービス(月294円)の人気機能、つくれぽが100人以上からついた美味しいレシピがすぐに見つかる「つくれぽ100人レシピ」、管理栄養士が毎日更新!一汁三菜の組み合わせで600Kcal前後の「太らない献立」、の2機能が利用できます。	—
@ Fケータイ応援団	@ Fケータイ応援団のサイトにアクセスします。	—
Skype	ビデオ通話、音声通話や、インストントメッセージが利用できます。	—
TOLOT フォトブック	タブレットで撮影した写真で、おしゃれなフォトブックが簡単に作れます!旅行や記念日の思い出に、家族や友人へのプレゼントにもおすすめ。	—
My Cloud	富士通のMy Cloudが提供するアプリなどをご紹介します。これらのアプリを使えば、機能に対応した富士通パソコンと連携して、外出先からでもご自宅にあるパソコン内のデータにアクセスできるなど、タブレットをより便利にお使いいただけます。	—
Drive Port	ECLIPSEのカーナビ画面でMirrorLink対応アプリのダウンロードや呼び出しが簡単にできます。	—
Google+	Google+を利用できます。	—
メッセンジャー	Google+のメッセンジャーを利用してチャットができます。	—
ハングアウト	ハングアウトを使用してチャットができます。	P.84
Friends Note	電話帳とFacebookやTwitterなど複数のSNSの友人やメッセージを管理、投稿できるサービスです。	P.86
Facebook	Facebookを利用できます。	—
カメラ	静止画や動画を撮影したり、QRコードを読み取ります。	P.77
ギャラリー	カメラで撮影したり、Webページからダウンロードして保存した静止画や動画を表示できます。	P.79
テレビ	フルセグ／ワンセグを視聴できます。	P.73
auテレビ.Gガイド	テレビ番組表の閲覧や、番組検索ができます。さらにテレビアプリ連携やSNS連携、リモート録画予約機能がご利用いただけます。	—
DiXiM Player	DLNA対応機器のコンテンツをFJT21で再生したり、DLNA対応機器にFJT21のコンテンツを配信できます。	P.80

アプリケーション名	概要	参照先
ビデオパス	幅広いジャンルの映画やドラマ、アニメなどの人気作品をお楽しみいただけるアプリです。	—
YouTube	YouTubeの動画が見られます。	P.85
Playムービー	Google Playでレンタルしたり自分で撮影したりした動画を管理することができます。	—
うたバス	多彩な音楽チャンネルから流れてくる音楽を1人で楽しめるだけでなく、離れた友達と一緒に聴くことができるサービスです。	—
LISMO	音楽を再生したり、最新の音楽情報を調べたりできます。また、楽曲の試聴・購入も可能なアプリです。	—
KKBOX	友達同士で一緒に音楽が聴ける、聴き放題音楽配信サービスです。	—
LISMO WAVE	全国のFMラジオやミュージッククリップなどの映像が楽しめます。	—
Playミュージック	音楽を再生します。	P.80
音楽番組Ch.	話題のミュージックビデオが24時間楽しめます。	—
ブックパス	コミック・小説・写真集など多くの電子書籍を楽しむことができます。	—
Playブックス	Google Playから新作、ベストセラーなどをダウンロードして読むことができます。	—
BooksV	BooksV(ブックスバイ)は富士通が提供する書籍・雑誌、ビジネスに使える統計・レポートなどのコンテンツを販売するサービスサイトを簡単に利用できるアプリです。	—
ゲームギフト	大人気ゲームのアイテム無料配信を中心に、最新ゲーム情報や攻略記事、特集レビューといった様々なお得(ギフト)を紹介する新感覚のゲームメディアサービスです。	—
将棋ウォーズ	『将棋ウォーズ』【日本将棋連盟公認】は、従来の将棋アプリの常識を覆す派手な演出、グラフィックとAIを駆使し、初心者から上級者まですぐに適切な相手が見つかる充実のオンライン対局を提供するサービスです。	—
麻雀	麻雀をオンラインで対戦できます。	—
Play ゲーム	新しいゲームの発見、実績やスコアの管理ができるほか、世界中の人とマルチプレイが簡単に楽しめます。	—
どうぶつSW	どうぶつしようざをオンラインでも対戦できます。	—
時計	時計／タイマー／ストップウォッチ／アラーム／世界時計の機能を提供します。	—
予定表	カレンダーを確認したり、予定を管理したりすることができます。	P.85
Keep	Google Keepを利用できます。	—
電卓	加算、減算、乗算、除算などを、計算式を入力して計算できます。	P.91
KSfilemanager	高機能ファイルマネージャーアプリです。	P.73
Document Viewer	Word、Excel、PowerPoint、PDFファイルの閲覧ができます。	P.91
統合辞書+	電子辞書「富士通モバイル統合辞書+」を利用できます。	P.92
ウルトラ統合検索	検索するサイトを選択して検索ができます。	P.32
マップ	現在地の表示や別の場所の検索、ルート検索などを行うことができます。	P.86

アプリケーション名	概要	参照先
助手席ナビ	最新のVICS渋滞情報や交通状況を考慮して、目的地までの最適ルートを案内するカーナビゲーションアプリです。	—
ナビウォーク	乗物・歩徒を組み合わせた最適なルートをナビゲーションするアプリです。	—
ナビ	Googleマップナビを起動してルート検索ができます。	P.86
ローカル	近くの場所の詳細情報を検索できます。	P.86
バーコードリーダー	進化するQRコードリーダー／アイコード！ QRコードを作成したり、QRコードを読み取るだけで、動画・音声・画像・テキストなどのさまざまなアクションがタブレットならではのクオリティで再生されます。	—
F-LINK	撮影した静止画や動画をワイヤレスで簡単にパソコンやタブレットに取り込んで楽しむことができます。	—

memo

- ◎ アプリケーションの名称は予告なく変更される場合があります。
- ◎ お買い上げ時に搭載されるアプリケーションは、予告なく変更される場合があります。
- ◎ アプリケーションによっては初回起動時にダウンロードが必要なものがあります。
- ◎ データの初期化(▶P.112)を行っても、お買い上げ時にFJT21にインストールされているアプリケーションは削除されません。

NX!電話帳を利用する

NX!電話帳には電話番号やメールアドレスなどの連絡先情報を入力できます。

- 登録した連絡先は、プライバシーモード(▶P.110)の対象に設定することができます。

連絡先を登録する

ここでは連絡先を新規登録する操作を説明しています。

1 ホーム画面で[■]→「NX!電話帳」

連絡先一覧が表示されます。

2 「登録」

- アカウントを選択するポップアップメニューが表示されたときは、連絡先を登録するアカウントを選択します。他のアカウントが未登録で、初めて連絡先を登録する場合は本体アカウントで登録するかどうかのポップアップメニューが表示されます。

3 必要な項目を入力

- 「別のフィールドを追加」をタップすると、別の項目を追加できます。
- 「新しく追加」をタップすると項目を追加したり、をタップすると削除できる項目もあります。

4 「完了」

memo

- 「アカウントと同期の設定をする」(▶P.112)を利用してGoogleアカウントと同期すると、自動的にグループが登録されます。また、「同僚」「家族」「友達」「Myコンタクト」「お気に入り」「グループなし」のグループ名の編集や削除はできません。
- 本体およびGoogle以外のアカウントでは、グループの作成や削除、編集などができるないものがあります。
- 連絡先一覧で[■]→「グループを追加」→グループを登録するアカウントを選択→必要な項目を入力→「完了」をタップすると、新規でグループを作成できます。
- 連絡先に登録された電話番号や名前は、事故や故障によって消失してしまうことがあります。大切な電話番号などは控えておかれるをお勧めします。事故や故障が原因で連絡先が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

連絡先の内容を確認する

1 ホーム画面で[■]→「NX!電話帳」

連絡先一覧が表示されます。

2 確認する連絡先の名前をタップ

詳細情報が表示されます。

■ 連絡先一覧について



① 表示切り替えボタン

タップして表示する連絡先を設定します。

② 自分の連絡先(プロフィール)

自分の電話番号が表示されます。電話番号をタップ→「編集」をタップすると情報を登録できます。

③ インデックスバー

④ 名前

タップすると詳細情報を表示します。

⑤ 50音インデックス

タップした文字のインデックスバーにジャンプします。

⑥ 顔写真

タップすると、写真を撮影したり、ギャラリーから画像を選択して顔写真を登録できます。

⑦ 検索

タップして、検索する電話番号(先頭の番号から入力)や名前(姓名、フリガナ)を入力すると、連絡先を検索できます。

⑧ 手書き検索

タップするたびに、手書き検索、どこでも手書き検索、OFFを切り替えます。

⑨ 登録

タップして連絡先を新規登録します。

⑩ 編集

タップすると、詳細情報を表示している連絡先の登録情報を編集できます。

⑪ メニュー

タップすると、手書き検索、インポート／エクスポート、共有、アカウントの同期や変更、グループの追加、連絡先の削除、auサーバへの保存、情報の表示などができます。

⑫ 登録情報

表示される項目は、連絡先の登録内容によって異なります。項目をタップすると、SMS作成、メール作成などができます。

表示する連絡先を設定する

特定のアカウントやGoogleアカウントのグループに含まれる連絡先の表示／非表示を設定できます。

1 連絡先一覧で表示切り替えボタンをタップ

一覧が表示されます。複数のアカウントが登録されているときは、「すべての連絡先」「グループなし」「カスタマイズ」以外にアカウント名が表示されます。

2 「カスタマイズ」

- アカウント名をタップすると、そのアカウントに登録されている連絡先のみ表示できます。
- 「すべての連絡先」をタップすると、すべてのアカウントと本体に登録されている連絡先を表示できます。

3 アカウントを選択→表示する連絡先のグループにチェックを付ける→「OK」

チェックを付けたグループに含まれる連絡先が表示されます。

連絡先をインポート／エクスポートする

1 連絡先一覧で[■]→「インポート／エクスポート」

2 項目を選択し、それぞれの操作を行う

SIMカードからインポート	au Micro IC Card (LTE)にバックアップした連絡先データをインポートします。
ストレージからインポート*	microSDカードにバックアップした連絡先データ(vCardファイル)をインポートします。ファイルが複数ある場合は、インポートするファイルを選択します。
ストレージにエクスポート*	「プロファイル」を除く連絡先データを、microSDカードに全件エクスポートします。 <ul style="list-style-type: none">プライバシーモードの対象に指定した連絡先は、エクスポートできません。
表示可能な連絡先を共有	電話帳データを他のアプリから共有します。

* アカウント毎にインポート／エクスポートできます。

K'Sfilemanagerを利用する

K'Sfilemanagerは、内蔵ストレージやmicroSDカード内のフォルダやファイルを表示して、データのコピーや貼り付けなどに利用できます。

1 ホーム画面で→「K'Sfilemanager」

- 「ファイルマネージャー」をタップしてコンテンツ一覧からファイル一覧に表示を変更できます。
- 「内部ストレージ」「SDカード」をタップすると内蔵ストレージ内またはmicroSDカード内のフォルダやファイルの一覧が表示されます。
- フォルダやファイルをロングタッチして、「コピー」をタップすると、クリップボードにフォルダやファイルがコピーされます。クリップボードにコピーできるのは1件のみです。
- クリップボードのデータを保存するには、貼り付けたいフォルダを表示して「貼り付け」→「OK」をタップします。

テレビ(フルセグ／ワンセグ)を利用する

フルセグは、地上デジタルテレビ放送サービスをハイビジョン画質で視聴できます。

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像・音声とともにデータ放送を受信することができます。

「フルセグ／ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページをご確認ください。

一般社団法人デジタル放送推進協会

<http://www.dpa.or.jp/>

■ フルセグ／ワンセグ利用時のご注意

- フルセグ／ワンセグの利用には、パケット通信料はかかりません。ただし、通信を利用したデータ放送の付加サービスなどを利用する場合はパケット通信料がかかります。
- フルセグ／ワンセグは日本国内の地上波デジタルテレビ放送フルセグ／ワンセグ専用です。海外では、放送方式や放送の周波数が異なるため使用できません。また、BS-110度CSデジタル放送を見ることはできません。
- テレビ画面表示中は、FJT21が温かくなり、長時間肌に触れたまま使用していると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中や歩行中はテレビを利用しないでください。周囲の音が聞こえにくく、映像や音声に気をとられ、交通事故の原因となります。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて視聴すると、聴力に悪い影響を与えることがありますので、ご注意ください。

■ 電波について

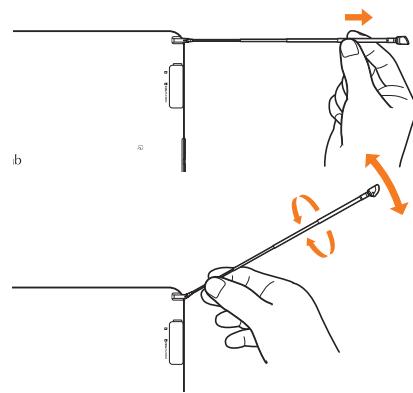
- 次のような場所では、電波の受信状態が悪く、画質や音質が劣化したり受信できない場合があります。
 - 放送局から遠い地域または極端に近い地域
 - 移動中の電車・車、地下街、トンネルの中、室内など
 - 山間部やビルの陰
 - 高圧線、ネオン、無線局、線路、高速道路の近くなど
 - その他、妨害電波が多かったり、電波が遮断されたりする場所
- 室内で視聴する場合は、窓のそばに移動すると、より受信状態が改善される場合があります。

■ TVアンテナについて

テレビを視聴する際は、放送波を十分受信できるようにTVアンテナを伸ばしてご利用ください。

- TVアンテナは、最後までしっかり伸ばしてください。
- TVアンテナの向きを変える場合は、アンテナの根元を持ち、無理な力を加えないでください。

- TVアンテナを収納する場合は、アンテナをまっすぐにしてから収納してください。



memo

- TVアンテナの向きを変えたり、FJT21を体から離したり近づけたり、場所を移動することで受信状態が良くなることがあります。
- テレビ視聴時以外ではTVアンテナを収納してください。アンテナを引き出したままで操作などすると、顔などにあたり思わずかの原因となります。

■ TVアンテナ入力用microUSB変換ケーブルについて

付属のTVアンテナ入力用microUSB変換ケーブルと市販のテレビアンテナケーブル(F型接栓ケーブル)を使用して、FJT21と地上デジタル放送用アンテナを接続すると、安定した電波の受信状態でフルセグを視聴することができます。

- あらかじめ市販のテレビアンテナケーブル(F型接栓ケーブル)をご用意ください。
- TVアンテナ入力用microUSB変換ケーブルを使用してフルセグを視聴する場合は、あらかじめ、外部アンテナ利用を有効にしてください(▶P.76)。
- 外部接続端子カバーの開閉のしかたについては、「外部接続端子カバー／スロットカバーを開く／閉じる」(▶P.20)をご参照ください。

1 FJT21の外部接続端子にTVアンテナ入力用microUSB変換ケーブルのmicroUSBプラグを差し込む

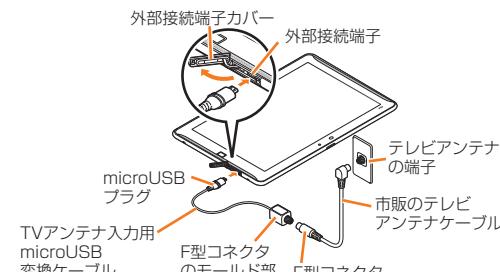
- microUSBプラグには向きがありますので、プラグ端子の凸部(▲部)を下に向けて、外部接続端子にまっすぐに差し込んでください。microUSBプラグを誤った向きに差し込むと、FJT21の外部接続端子が破損する原因となります。

2 TVアンテナ入力用microUSB変換ケーブルの入力端子(F型コネクタのモールド部)に市販のテレビアンテナケーブルのF型コネクタを差し込む

- 市販のテレビアンテナケーブルのF型コネクタのピンが曲がらないようご注意ください。

3 市販のテレビアンテナケーブルのもう一方のF型コネクタを壁の地上デジタル放送用テレビアンテナの端子に差し込む

- 使用後は、FJT21と市販のテレビアンテナケーブルからTVアンテナ入力用microUSB変換ケーブルを取り外してください。





- ◎TVアンテナ入力用microUSB変換ケーブルを取り外しても、外部アンテナ利用は無効となりません。TVアンテナ入力用microUSB変換ケーブルを使用しない場合は、必ず外部アンテナ利用を無効にしてください(▶P.76)。有効になっていると、放送波を受信できません。
- ◎ご契約のケーブルテレビによっては、フルセグを受信できない場合があります。詳しくは、ケーブルテレビ事業者にお問い合わせください。

テレビの初期設定をする

テレビを初めて起動したときは、チャンネルリストを作成します。

1 ホーム画面で田→「テレビ」

2 使用許諾を読んで「同意する」

3 「地域を選択してスキャン」「受信チャンネルをスキャン」「CATVを含む全帯域の受信チャネルをスキャン」

放送局をスキャンしてチャンネルリストを表示します。

- ・「地域を選択してスキャン」をタップした場合は、地域を選択するとスキャンが始まります。地域ごとに割り当てられているチャンネルに加え、現在地で受信可能な放送局をスキャンします。
- ・「受信チャンネルをスキャン」をタップした場合は、現在地で受信可能な放送局をスキャンします。
- ・「CATVを含む全帯域の受信チャネルをスキャン」をタップした場合は、ケーブルテレビのチャンネルを含む受信可能な放送局をスキャンします。

4 「保存」

チャンネルリストが保存され、テレビ視聴画面が表示されます。

- ・確認画面が表示されたら「OK」をタップします。「今後確認しない」にチェックを付けると、次回から確認画面が表示されなくなります。

テレビを見る

テレビを起動／終了する

■ テレビを起動する

1 ホーム画面で田→「テレビ」

テレビ視聴画面が表示されます。

- ・確認画面が表示されたら「OK」をタップします。「今後確認しない」にチェックを付けると、次回から確認画面が表示されなくなります。

■ テレビを終了する

1 テレビ視聴画面で三→「テレビ終了」

- ・三を2回タップしてもテレビを終了できます。
- ・録画中の場合は、録画を停止してテレビを終了するかどうかの確認画面で「OK」をタップすると終了します。



- ◎テレビは、電池残量が少ないと起動できません。起動時に最低限必要な電池残量は5%です。また、起動中に動作を継続するのに最低限必要な電池残量は2%です。

- ◎テレビを起動したり、チャンネルを変更したときは、デジタル放送の特性として映像やデータ放送のデータ取得に時間がかかる場合があります。

- ◎電波状態によって映像や音声が途切れたり、止まったりする場合があります。

- ◎ケーブルテレビの自主放送は視聴できないことがあります。FJT21は、コンテンツ権利保護のための仕組みとして「コンテンツ権利保護専用方式(ソフトウェア方式)」を採用しています。このため、ケーブルテレビの自主放送にてソフトウェア方式を採用していない場合は、視聴できません。

- ◎「バックグラウンド再生」(▶P.76)をオフに設定していると、テレビ視聴時にホーム画面に戻った場合やスリーブモードになった場合などにもテレビの音声出力が続きます。バックグラウンド再生を終了するにはテレビ視聴画面に戻り、テレビを終了してください(▶P.74)。また、バックグラウンド再生は連続2時間で終了します。

- ◎「マルチメディアの設定をする」(▶P.107)で「動画補正」をオンにすると、高画質エンジンを使用して視聴できます。

テレビ視聴画面について



《テレビ視聴画面》

① テレビ映像エリア

左右にフリックすると選局できます。

全画面表示では、タップすると画面上部に視聴中の番組情報が表示され、画面下部にチャンネルとテレビ操作エリアが表示されます。

② テレビ操作エリア

③ コントロールバー

□(データ放送)、■(チャンネル)、■(番組表)、■(ブラウザ)をタップして情報エリアの表示を切り替えます。

- ・「データ放送」はワンセグでのみご利用できます。

④ 情報エリア

コントロールバーで選択した情報が表示されます。

- ・「チャンネル」表示の場合は、放送局名をタップすると選局することができます。

- ・「番組表」表示の場合は、番組名をタップすると番組詳細を表示します。番組名をロングタッチすると視聴予約／録画予約を行うことができます。

- ・「ブラウザ」表示の場合は、「ブラウザ」アプリで設定したホームページが表示され、Webページを閲覧できます。



- ◎コントロールバーで、データ放送やブラウザを選択すると情報エリアの下部に操作ボタンが表示されます。情報エリア内を直接タップして操作できないときは操作ボタンをタップして操作してください。

- ◎横画面表示中、ナビゲーションキーが表示されていない場合は、画面をタップすることでナビゲーションキーを表示できます。

テレビ操作エリアについて

テレビ視聴画面の下部にテレビ操作エリアが表示されます。全画面表示では、テレビ映像エリアをタップするとテレビ操作エリアが表示されます。



《テレビ操作エリア》

① 番組情報

番組タイトル、フルセグ／ワンセグ種別、チャンネル番号、放送局名が表示されます。

② ワンセグ／フルセグ切り替えボタン

ワンセグとフルセグを切り替えます。お買い上げ時は「自動切替」に設定されています。

③ マルチチャンネル切り替えボタン

チャンネルや時間帯によりマルチチャンネルの放送が行われている場合は、サービス選局を選択できます。

④ 音量調節バー

左右にドラッグすると、音量を調節できます。

- をタップするとミュート(消音)になります。

⑤ チャンネル切り替えボタン

ロングタッチすると、チャンネルサーチを実行できます(▶P.76)。

⑥ 録画開始／終了スイッチ

左にドラッグすると、録画を開始します。録画中に右にドラッグすると、録画を終了します。

⑦ 全画面切替ボタン

タップすると全画面表示に切り替えます。再度タップすると元に戻ります。

■ テレビ視聴画面でのキー操作について

- Ⓐ 音量大／1秒以上押して選局
- Ⓑ 音量小／1秒以上押して選局

■ テレビリンクを利用する

番組によっては、データ放送に関連サイトへのリンク情報(テレビリンク)が表示される場合があります。FJT21にテレビリンクを登録すると、あとで関連サイトに接続できます。

■ FJT21にテレビリンクを登録する

1 データ放送表示でテレビリンク登録可能な項目を選択

- ・テレビリンクの登録方法は、番組によって異なります。

memo

◎リンク先によってはテレビリンクを登録できないことがあります。

■ 登録したテレビリンクを表示する

1 テレビ視聴画面で【≡】→「TVリンク」

2 テレビリンクをタップ→「接続」

登録されたサイトに接続します。

- ・アプリケーションの選択画面が表示された場合は、使用するアプリケーションを選択します。

memo

◎テレビリンクをロングタッチ→テレビリンクを選択→【≡】→「OK」をタップすると、テレビリンクを削除できます。

◎テレビリンクには有効期限が設定されている場合があります。

■ テレビの視聴予約／録画予約を行う

テレビ番組の視聴や録画の予約ができます。

1 テレビ視聴画面で【≡】→「予約一覧」

予約一覧画面が表示されます。

2 【+】→「手動で予約」

- ・「番組表から予約」をタップすると、auテレビ.Gガイドアプリケーションから番組を選択して設定することができます。

3 必要な項目を設定→「完了」

- ・録画予約の場合は、予約録画登録の確認画面が表示されたら「OK」をタップします。「今後確認しない」にチェックを付けると、次回から確認画面が表示されなくなります。

■ 予約した時刻になると

予約した時刻が近づくとステータスバーに予約の予告通知が表示され、予約アラーム設定で設定した時間になると、アラーム音や振動でお知らせします。

- ・予約アラームの設定を変更するには、テレビ視聴画面で【≡】→「設定」→「アラーム設定」をタップして各項目を設定します。

memo

◎予約した時刻にFJT21の電源を切っている場合は、予約を実行できません。
◎手動で録画を行っている際に別の予約録画の開始時刻になった場合は、現在の録画は終了し、予約録画が開始されます。

◎「長時間モード」(▶P.76)がオンの場合、フルセグを録画できません。フルセグの録画予約を設定した場合は、録画が開始されるまでに「長時間モード」をオフにしてください。

■ 予約内容を確認する

1 テレビ視聴画面で【≡】→「予約一覧」

予約一覧画面が表示されます。

2 確認する予約をタップ

予約の詳細画面が表示されます。

memo

◎予約の詳細画面で【+】/【-】をタップすると、予約を編集／削除できます。

■ 録画予約の結果を確認する

1 テレビ視聴画面で【≡】→「予約一覧」→「視聴／録画予約」→「録画予約結果」

録画予約結果一覧が表示されます。

2 確認する録画予約結果をタップ

memo

◎録画予約結果一覧で録画予約結果をロングタッチすると、録画予約結果を選択して削除できます。

■ 番組を録画する

視聴中の映像・音声・字幕・データ放送を録画してmicroSDカードに保存します。

1 テレビ視聴画面で【≡】を左にドラッグ

録画が開始されます。

2 【≡】を右にドラッグ

録画が終了します。

memo

◎microSDカードはFJT21でフォーマットしてからご利用ください。(▶P.94 「microSDカード内のデータを消去(フォーマット)する」)

◎録画を開始するにはmicroSDカードの空き容量が10MB以上(フルセグは150MB以上)、電池残量が20%以上必要です。

◎録画中に次のいずれかの状態になると、録画が自動で停止します。

- ・microSDカードの空き容量が2MB以下(フルセグは5MB以下)
- ・電池残量が10%以下
- ・録画開始から6時間経過

◎FJT21で録画したフルセグ番組は、ご利用の端末でのみ再生できます。

◎microSDHCカードに録画した番組を再生すると、映像や音声が途切れることができます。録画する際は、microSDXCカードのご利用をおすすめします。

◎録画時間が極端に短い(10秒未満)場合は、録画を停止することができません。

◎受信状態の安定した場所で録画してください。受信状態が不安定な場合、録画されないことがあります。

◎録画中は、チャンネル切り替えはできません。

◎録画中に他のアプリケーションを起動すると、正常に録画できない場合があります。

◎録画中にデータ通信サービスを行うと、テレビの電波状態が悪くなり、正常に録画できなくなる場合があります。

◎録画しているテレビ番組が有料放送やコピー制御されている場合や、放送エリアが変わった場合は、録画が途中で終了する場合があります。

◎フルセグ録画中にワンセグ視聴に切り替わっても、録画はワンセグに切り替わりません。ワンセグ録画中にフルセグに切り替わった場合も録画はフルセグに切り替わりません。

◎「長時間モード」(▶P.76)がオンの場合、フルセグを録画できません。

◎ワンセグとフルセグの録画最大件数はそれぞれ99件となります。

■ 録画した番組を再生する

1 テレビ視聴画面で【≡】→「録画一覧」

2 録画データをタップ

・前回途中で再生を終了した場合は、続きから再生されます。

- ・【+】/【-】をタップすると、約5秒戻す／約15秒進めることができます。

・●/○をタップすると、一時停止／再生することができます。

- ・【+】/【-】をタップすると、ワンセグで録画した番組の場合、早戻し(タップごとに2倍早戻し／10倍早戻しに切り替え)／早送り(タップごとに1.5倍速再生／2倍早送り／10倍早送りに切り替え)することができます。

フルセグで録画した番組の場合、早戻し(タップごとに2倍早戻し／10倍早戻しに切り替え)／早送り(2倍早送り／10倍早送りに切り替え)することができます。

- ・プログレスバー上のつまみを左右にドラッグすると、再生位置を調節できます。

地デジ番組を再生する

HDDレコーダーなどでmicroSDカードに書き込んだ地デジ放送番組を、FJT21でも高画質(VGAクラス)で視聴することができます。

- 書き込んだ機器によっては再生できない場合があります。

1 microSDカードに地デジ放送番組を書き込む

- 書き込み方法については、レコーダーなどの取扱説明書をご覧ください。

2 microSDカードをFJT21に取り付ける

- microSDカードの取り付けかたについては、「microSDカードの取り付けかた／取り外しかた」(▶P.94)をご参考ください。

3 ホーム画面で■→「テレビ」→■→「録画一覧」

4 地デジ番組を選択

テレビの機能を設定する

1 テレビ視聴画面で■→「設定」

2 必要な項目を設定

文字スーパー設定	フルセグの文字スーパーの表示／非表示を設定します。
データ放送設定	情報エリアにデータ放送を表示したときの各種設定を行います。
アラーム設定	予約視聴／予約録画の開始時のアラーム音量や時間などを設定します。
オフタイマー設定	テレビをオフにするまでの時間を設定します。
なめらかモード*	映像をなめらかに表示します。
長時間モード*	電池の消費を抑え、ワンセグを長時間視聴できるように設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • イベント会場など特定エリアに放送されているエリアワンセグを視聴する場合には、長時間モードに設定してください。
外部アンテナ利用	TVアンテナ入力用microUSB変換ケーブルを使用してフルセグを視聴できます。
バックグラウンド再生	テレビ視聴時にホーム画面に戻った場合やスリープモードになった場合などにも、テレビの音声をバックグラウンドで継続して再生するように設定します。
再生情報表示	録画番組の再生時に再生情報を表示します。
Webブラウザー設定	アプリ内のWebブラウザでキャッシュしたコンテンツをすべて削除します。
CAS情報の初期化	フルセグの受信で記録された情報を初期化します。
製品情報	アプリのバージョンを確認できます。

* ワンセグ視聴時にのみ使用できます。

memo

◎「なめらかモード」を使用すると、映像がなめらかに表示されますが、電池の消費が増え、使用しないときと比べると視聴できる時間が短くなります。

チャンネルを設定する

■ チャンネルリストを作成する

1 テレビ視聴画面で■→「チャンネル設定」→「チャンネルリスト編集」

2 「新規作成」

- 初回起動時に設定したチャンネルリストを含め、最大3つのチャンネルリストを作成できます。

3 画面の指示に従って操作

- 「テレビの初期設定をする」(▶P.74)の操作③以降の操作を行ってください。

■ チャンネルリストを切り替える

1 テレビ視聴画面で■→「チャンネル設定」→「チャンネルリスト切替」

2 受信するチャンネルリストをタップ

■ 放送局をチャンネルリストに追加する

1 テレビ視聴画面で■→「チャンネル設定」→「チャンネルサーチ」

チャンネルサーチが開始されます。

- チャンネル切り替えボタン(▶P.74)をロングタッチしても、チャンネルサーチを開始できます。

2 未登録の放送局が見つかったら■→「チャンネル設定」→「チャンネル個別登録」→割り当てるチャンネル番号をタップ

■ チャンネルリストから放送局を削除する

1 テレビ視聴画面で■→「チャンネル設定」→「チャンネルリスト編集」

2 編集するチャンネルリストをタップ

3 ■→「選択して削除」

4 削除する放送局を選択

5 ■→「OK」→「保存」

■ チャンネル番号の割り当てを変更する

1 テレビ視聴画面で■→「チャンネル設定」→「チャンネルリスト編集」

2 編集するチャンネルリストをタップ

3 放送局を割り当てるチャンネル番号をタップ→放送局名をタップ

4 「保存」

カメラを利用する

FJT21に内蔵されているカメラを使って、静止画や動画を撮影できます。撮影した静止画／動画はmicroSDカードまたは内蔵ストレージに保存され、「ギャラリー」(▶P.79)などで閲覧できます。

カメラをご利用になる前に

- ・カメラは非常に精密な部品から構成されており、中には常時明るく見える画素や暗く見える画素もあります。また、非常に暗い場所での撮影では、青い点、赤い点、白い点などが出ますのでご了承ください。
- ・カメラを起動したとき、画面に縞模様が出ることがあります。故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- ・カメラで撮影した静止画や動画は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- ・太陽やランプなどの強い光源を撮影しようとすると、画面が暗くなったり、撮影画像が乱れたりする場合があります。
- ・暗い場所での撮影では、ノイズが増え、ざらついた静止画などになる可能性があります。
- ・レンズに指紋や油脂などが付くと、鮮明な静止画／動画を撮影できなくなります。撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いてください。
- ・撮影時にはレンズ部に指や髪、ストラップなどがかからないようにご注意ください。ストラップが撮影の邪魔になる場合は、ストラップを手で固定してから撮影してください。
- ・手ブレにご注意ください。画像がブレる原因となりますので、本体が動かないようにしっかりと持って撮影するか、セルフタイマー機能を利用して撮影してください。
- 特に室内など光量が十分でない場所では、手ブレが起きやすくなりますのでご注意ください。
- また、被写体が動いた場合もブレた画像になりますのでご注意ください。
- ・動画を録画する場合は、マイクを指などでおおわないようにご注意ください。また、録画時の声の大きさや周囲の環境によって、マイクの音声の品質が悪くなる場合があります。
- ・動画撮影中にメールの着信があっても撮影を継続します。その場合、メールの着信音が録音されることがあります。
- ・不安定な場所にFJT21を置いてセルフタイマー撮影を行うと、着信などでバイブレータが振動するなどしてFJT21が落下するおそれがあります。
- ・待機中に約2分間操作をしないと、カメラは終了します。
- ・カメラ利用時は電池の消費が多くなります。電池残量が少ない状態で撮影を行った場合、画面が暗くなったり、撮影画像が乱れたりすることがあります。また、電池残量が少ないとカメラを利用できなくなる場合があります。十分に充電してからカメラをご利用ください。
- ・マナーモード設定中でも、カメラ利用時のスクリーンショットやキャプチャ音、シャッター音、セルフタイマーのカウントダウン音、撮影開始／終了音は鳴ります。
- ・接写をするときは、被写体とレンズの距離を約10cmにしてください。
- ・FJT21の温度が高い状態では、カメラをご利用できない場合があります。FJT21の温度が下がってからカメラをご利用ください。

著作権・肖像権について

FJT21を利用して撮影または録音したものを著作権者に無断で複製、改変、編集などすることは、個人で楽しむなどの目的を除き、著作権法上禁止されていますのでお控えください。また、他人の肖像を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますのでお控えください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影または録音が禁止されている場合がありますのでご注意ください。



カメラ付き端末を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどで配慮ください。

撮影画面の見かた



《静止画撮影画面》



《動画撮影画面》

① 位置情報アイコン

「カメラ設定」の「位置情報」をオンにすると表示されます。位置情報を取得中(未取得)は「Loading」、取得すると「OK」のアイコンになります。

② シャッター／撮影開始／撮影停止ボタン

③ メニューボタン



◎撮影画面を左にクリックすると、撮影した静止画や動画を確認することができます。

静止画を撮影する

1 ホーム画面で□(カメラ)

- ・ホーム画面で□→「カメラ」をタップしても起動できます。

2 静止画撮影画面に被写体を表示

- ・撮影画面をピンチアウト／ピンチインするとズームを調整できます（アウトカメラのみ）。

3 □(シャッターボタン)またはⒶ

- フォーカス枠が表示され、ピントが合うと緑色になります。
シャッター音が鳴り、撮影した静止画が保存されます。

静止画撮影時の撮影設定メニューについて

静止画撮影画面で「MENU」または☰をタップすると、次の設定ができます。設定が終わったら、「閉じる」をタップします。

撮影モード		撮影モードを選択します。 「静止画」「動画」「パノラマ」「QRコード」
カメラ設定	カメラ切替	アウトカメラ／インカメラを切り替えます。
撮影サイズ	撮影サイズを選択します。 「最大画素 8M 3264X2448」「最大画素ワイド 3264X2048」「SNS 2048X1536」「TV出力 1920X1080」「ケータイメール 640X480」 ・インカメラの場合は次の撮影サイズが選択できます。 「最大画素 1.2M 1280X960」「最大画素ワイド 1280X800」「HD 1280X720」「ケータイメール 640X480」	
セルフタイマー	セルフタイマーを設定します。 タップするたびに「2秒」「5秒」「OFF」に切り替わります。	
位置情報	位置情報のオン／オフを切り替えます。 ・位置情報を取得するには、「位置情報にアクセス」(▶P.109)をオンにしてください。	
保存先	保存先を設定します。 「本体」「SDカード」	
グリッド表示	撮影画面に枠線を表示するかどうかを設定します。	

パノラマ撮影をする

1 ホーム画面で□(カメラ)

2 「MENU」→「パノラマ」

3 □(撮影開始ボタン)またはⒶ

- 開始音が鳴り、パノラマ撮影が始まります。

4 撮影したい範囲でカメラを左右または上下にゆっくりと動かす

- 撮影した範囲がインジケータに表示されます。

5 「完了」またはⒶ

- 終了音が鳴り、撮影したパノラマ画像が保存されます。

- ・「完了」をタップしなくとも、またはⒶを押さなくても、インジケータの最後まで撮影すると自動的に撮影が終了します。

QRコードリーダーを利用する

QRコードをカメラで読み取って利用できます。

1 ホーム画面で□(カメラ)

2 「MENU」→「QRコード」

3 読み取るQRコードを読み取り枠に合わせて画面に表示



- 自動的にQRコードが読み取られ、読み取り結果画面が表示されます。

memo

◎読み取り結果画面でURL／電話番号／メールアドレスをタップすると、Webページを開いたり、電話帳への登録やメール作成などができます。

◎読み取り結果画面で☰をタップすると電話帳一括登録、ブックマークへの登録、履歴の保存、コピーができます。履歴を表示するには、QRコード撮影画面で☰→「履歴」をタップします。

動画を撮影する

1 ホーム画面で□(カメラ)

2 「MENU」→「動画」

3 動画撮影画面に被写体を表示

- 撮影画面をピンチアウト／ピンチインするとズームを調整できます（アウトカメラのみ）。

4 □(撮影開始ボタン)またはⒶ

- フォーカス枠が表示され、ピントが合うと緑色になります。

開始音が鳴り、動画撮影が始まります。

- 動画撮影中に□をタップすると静止画を撮影することができます。

5 □(撮影終了ボタン)またはⒶ

- 終了音が鳴り、撮影した動画が保存されます。

動画撮影時の撮影設定メニューについて

動画撮影画面で「MENU」または☰をタップすると、次の設定ができます。設定が終わったら、「閉じる」をタップします。

撮影モード		撮影モードを選択します。 「静止画」「動画」「パノラマ」「QRコード」
カメラ設定	カメラ切替	アウトカメラ／インカメラを切り替えます。
撮影サイズ	撮影サイズを選択します。 「TV出力 1920X1080」「HD 1280X720」「ケータイメール 640X480」 ・インカメラの場合は次の撮影サイズが選択できます。 「HD 1280X720」「ケータイメール 640X480」	
保存先	保存先を設定します。 「本体」「SDカード」	

静止画や動画を楽しむ

カメラで撮影したりWebサイトからダウンロードしたりして、au Cloud上や内蔵ストレージまたはmicroSDカードに保存した画像(静止画、動画)を、表示／再生したり、簡単な編集を行ったりすることができます。

FJT21では、次の形式のファイルを開くことができます。

画像の種類	ファイル形式
静止画	JPEG、BMP、GIF*、PNG、WebP
動画	WMV9、H.264、H.263、MPEG-4、VC-1、VP8

* GIFアニメーションは再生できません。

・ファイルによっては再生できない場合があります。

・「ギャラリー」で表示する静止画は、プライバシーモード(▶P.110)の対象に設定することができます。

静止画や動画を再生する

1 ホーム画面で□(ギャラリー)

アルバム一覧画面が表示されます。

- ・ホーム画面で□→「ギャラリー」をタップしても起動できます。
- ・「カメラ撮影」をタップすると、カメラを起動できます。
- ・画面上部の「アルバム」をタップするとアルバム別の表示から、「ロケーション」「時間」別に切り替えることができます。「Picasa」や「au Cloud」などのオンラインアルバムでは、「タグ」別の切り替えもできる場合があります。

2 アルバムをタップ

画像一覧画面が表示されます。

- ・動画は□が表示されます。

3 再生する静止画や動画をタップ

- ・静止画の場合はピンチアウト／ピンチインやダブルタップで画像を拡大／縮小したり、□をタップして、スライドショー、編集、回転、切り抜き、登録、移動／コピー、ワイヤレス印刷、詳細情報の表示、地図に表示などの操作ができます。また、画面左下の□をタップして静止画を編集することもできます。
- ・動画の場合は、画面をタップして表示されるボタンやプログレスバーで、再生／一時停止などの操作ができます。音量は、Ⓐ／Ⓑで調節します。
- ・画面を左右にフリックすると、前後の静止画や動画に切り替えることができます。
- ・静止画や動画の再生中は、一定時間が経過するとナビゲーションキー／アイコンが非表示になります。画面をタップすると再度表示できます。

memo

◎ Canon製のプリンターで印刷可能なファイル形式はJPEGです。複数選択して一度に印刷できる件数は39件までです。

◎ EPSON製のプリンターで印刷可能なファイル形式はJPEG、BMP、PNGです。複数選択(ファイル形式が同一の場合のみ)して一度に印刷できる件数は30件までです。

◎ 「au Cloud」アルバムを同期するには、アルバム一覧画面で□→「設定」→「同期」にチェックを付けます。ご利用には、au IDが必要になります。au IDの設定については、「au IDを設定する」(▶P.23)をご参考ください。

静止画をスライドショーで再生する

1 画像一覧画面で□→「スライドショー」

スライドショーを開始します。

- ・表示中に画面をタップするとスライドショーが終了します。

静止画を壁紙や連絡先の顔写真に設定する

1 画像一覧画面で設定する静止画をロングタッチ

静止画にチェックが付いて、選択状態になります。

2 □→「登録」

3 「壁紙」／「連絡先の写真」

- ・「壁紙」をタップした場合は、操作⑤に進みます。

4 連絡先を選択

- ・「新しい連絡先を作成」をタップした場合は、連絡先編集画面が表示されます。

5 表示範囲を設定

- ・連絡先の写真に設定する場合に、複数の人の顔が検出されたら、顔を選択します。
- ・トリミング枠の内部をドラッグして位置を指定し、トリミング枠をドラッグして表示範囲を設定します。
- ・壁紙に設定する場合は、「スライドあり」にチェックを付けると、トリミング枠をスライドする画面サイズに切り替えることができます。チェックを外すと、ホーム画面にぴったり収まる画面サイズに切り替えることができます。

6 「OK」

memo

◎ 設定する静止画を表示中に□→「登録」をタップしても操作できます。

静止画や動画を共有する

静止画や動画を、Bluetooth®通信やメールで送信したり、YouTubeなどにアップロードしたりして、他のアプリケーションと共有できます。

1 ギャラリーで共有するアルバム／静止画／動画をロングタッチ

画像にチェックが付いて、選択状態になります。続けて他のアルバムや画像をタップすると、複数のアルバム／画像や動画を選択できます。

- ・□をタップすると、「すべて選択」／「選択をすべて解除」を選択できます。

2 □

- ・よく使用する機能は、□の隣に独立してアイコンで表示されます。タップするとその機能を使用できます。独立させる機能を変更するには、アイコンをロングタッチし、リストから変更する機能をタップします。

3 使用する機能をタップ

- ・プリンターを選択すると、ワイヤレス印刷ができます。
- ・「キャプメモ」をタップした場合は、キャプメモで画像を編集できます(ファイル形式がPNGの画像のみ)。
- ・「すべて表示」をタップすると、すべての機能を表示できます。

静止画や動画をmicroSDカードに移動する

内蔵ストレージに保存されている静止画や動画をmicroSDカードに移動できます。

1 ギャラリーでmicroSDカードに移動するアルバム／静止画／動画をロングタッチ

画像にチェックが付いて、選択状態になります。

2 □→「移動／コピー」

3 「SDカードに移動」→「はい」

- ・アルバムの場合は、「内蔵ストレージ／SDカードに移動」→「はい」をタップします。

音楽を楽しむ

microSDカードや内蔵ストレージに保存した音楽を再生できます。

音楽プレイヤーで音楽を楽しむ

- 音楽プレイヤーを使用して、microSDカードや内蔵ストレージに保存した音楽を再生したり、プレイリストを作成したりできます。
- ・パソコンからmicroSDカードへ音楽ファイルを転送する方法については、「FJT21をパソコンと接続して操作する」(▶P.95)をご参照ください。
 - ・Googleアカウントを設定して同期することもできます。Googleアカウントが未設定の場合は、初回起動時に画面の指示に従って設定してください。
 - ・利用方法などの詳細については、■→「ヘルプ」をタップしてヘルプをご参照ください。

音楽を再生する

1 ホーム画面で■→「Playミュージック」

Playミュージック画面が表示されます。

2 「音楽を聞こう」

- ・「マイライブラリ」をタップすると、カテゴリー別にアイテムを選択することができます。

3 アイテム／曲をタップ

曲が再生されます。



◎音量は、▲／▼で調節します。

◎Playミュージック画面に戻るには、■をタップします。

◎曲をmicroSDカードや内蔵ストレージに保存する際は、保存する場所に制限はありませんが、アルバムごとに曲を表示するために、アルバムごとにフォルダを作成することをおすすめします。

◎再生中にロック画面が表示されても、セキュリティを解除せずに一時停止／再生、前の曲または再生中の曲を最初から再生／次の曲を再生の操作ができます。

曲や関連情報を検索する

microSDカードや内蔵ストレージに保存されている曲を検索することができます。

1 Playミュージック画面や曲の一覧などで■→曲名やアーティスト名などを入力

検索結果が表示されます。

プレイリストを作成する

1 プレイリストに追加する項目／曲の⋮→「プレイリストに追加」

2 「新しいプレイリスト」

3 プレイリスト名を入力→「OK」

作成したプレイリストにアイテム／曲が追加されます。



◎プレイリストを確認するには、Playミュージック画面で「プレイリスト」をタップします。

◎プレイリスト一覧で「最近追加」以外のプレイリストの⋮→「削除」→「OK」をタップすると、プレイリストが削除されます。曲は削除されません。

DLNA対応機器と連携させる

FJT21に保存されている静止画、動画、音楽のコンテンツを、DLNA対応のテレビやパソコンで再生できます。また、DLNA対応のパソコンやネットワーク接続HDD(NAS)のコンテンツを、FJT21で再生できます。連続再生やリレー再生、ギャラリーなどからの共有によるアップロード／転送にも対応しています。

- ・DLNA対応機器と連携するには無線LAN(Wi-Fi®)接続が必要です(▶P.98)。
- ・DLNA対応機器側での操作については、DLNA対応機器の取扱説明書をご覧ください。
- ・FJT21とすべてのDLNA対応機器での連携を保証するものではありません。
- ・FJT21はDTCP-IPに対応しています(DTCP+にも対応)。ただし、すべてのDTCP-IP対応機器との連携を保証するものではありません。

DiXiM Serverを設定する

FJT21のコンテンツを、ホームネットワーク上で公開するための設定を行います。

1 ホーム画面で■→「DiXiM Player」

- ・ようこそ画面が表示された場合は、「Wi-Fi設定」をタップしてWi-Fi®を設定し、再度DiXiMを起動してください。「次回以降表示しない」にチェックを付けると、次回から確認画面が表示されなくなります。

2 ■→「アプリの設定」→「DiXiM Serverの設定」

- ・「DiXiM Server」の確認画面が表示されたら、「はい」をタップします。「次回以降表示しない」にチェックを付けると、次回から確認画面が表示されなくなります。

3 必要な項目を設定

DiXiM Server		チェックを付けると、DiXiM Serverを起動し、DLNA対応機器にFJT21が表示されます。
サーバー名		DLNA対応機器に表示される名称を変更できます。
アクセス権の設定	アクセス権の初期設定	チェックを付けると、新しいDLNA対応機器が見つかったときにFJT21へのアクセスを許可します。 チェックを外すと、「接続機器の一覧」でチェックを付けるまでFJT21へのアクセスを禁止します。
接続機器の一覧		検出されたDLNA対応機器の一覧が表示されます。チェックを付けるとFJT21へのアクセスを許可します。 • DLNA対応機器を長押し→「この接続機器を拒否」／「この接続機器を削除」をタップすると、DLNA対応機器のアクセスを拒否したり、DLNA対応機器を削除できます。
保存先設定		DLNA対応機器からアップロードされるコンテンツの保存先を設定します。 microSDカードまたは内蔵ストレージに保存できます。
公開フォルダ設定		接続機器に公開するフォルダを設定します。
Wi-Fi設定		Wi-Fi®ネットワーク接続を設定できます。
非表示になったメッセージ		起動時にメッセージを表示するかどうかを設定することができます。
自動終了設定		自動的にサーバーが停止するまでの時間を設定します。
画面ロック中の動作		チェックを付けると、画面ロック中でもDiXiM Serverの動作を継続します。



◎サーバー／フォルダ／コンテンツ／再生先一覧画面で「サーバー起動」／「サーバー停止」をタップしても、DiXiM Serverの起動／停止を操作できます。

FJT21のコンテンツをDLNA対応機器で再生する

DLNA対応機器からFJT21のコンテンツを操作して再生できます。

- あらかじめDiXiM Serverを起動し、DLNA対応機器からのアクセスを許可しておきます。(▶P.80「DiXiM Serverを設定する」)

1 DLNA対応機器側でFJT21のコンテンツを再生

DLNA対応機器からFJT21のDiXiM Serverにアクセスしてコンテンツを再生します。

- DLNA対応機器側での操作については、DLNA対応機器の取扱説明書をご覧ください。

memo

◎FJT21のカメラで撮影した動画などは、FJT21以外のDLNA対応機器で再生できない場合があります。

FJT21のコンテンツをDLNA対応機器へ配信する

FJT21のコンテンツをDLNA対応機器に配信し、FJT21で再生の操作ができます。

- あらかじめDiXiM Serverを起動し、DLNA対応機器からのアクセスを許可しておきます。(▶P.80「DiXiM Serverを設定する」)
- また、DLNA対応機器側でもFJT21からの制御を許可しておきます。

1 ホーム画面で田→「DiXiM Player」→サーバー一覧でFJT21のサーバー名を選択

2 田→「アプリの設定」→「コンテンツタップ時の動作」→「別の機器で再生」

3 「再生先機器の選択方法」→「その都度選ぶ」／「あらかじめ決めておく」

- 「その都度選ぶ」を選択した場合は、操作⑤に進みます。

4 「既定の再生先機器」→再生先のDLNA対応機器を選択

5 田→再生する種別を選択→フォルダを選択→コンテンツを選択

- 「再生先機器の選択方法」で「その都度選ぶ」を選択した場合は、リモート再生機器一覧から選択してください。

DLNA対応機器のコンテンツをFJT21で再生する

- あらかじめDLNA対応機器側でコンテンツを公開し、FJT21からのアクセスを許可してください。

1 ホーム画面で田→「DiXiM Player」→サーバー一覧でDLNA対応機器のサーバー名を選択

2 田→「アプリの設定」→「コンテンツタップ時の動作」→「この端末で再生」

- 「コンテンツタップ時の動作」で「別の機器で再生」をタップし、「再生先機器の選択方法」を設定することで、別のDLNA対応機器で再生することもできます。

3 田→再生する種別を選択→フォルダを選択→コンテンツを選択

4 プレーヤー画面で再生

- ドラマなどの連続放送の録画番組は、コンテンツが終了すると次のコンテンツを連続して再生します。
- プレーヤーとしてコンテンツ再生をしているときに再生先を切り替えると、コンテンツの続きから再生します。

memo

◎コンテンツ選択画面でコンテンツをロングタッチ→田をタップすると、コンテンツのダウンロードができます。ただし、著作権保護されたコンテンツはダウンロードできません。

デジタル録画番組を持ち出して再生する

レコーダーなどのDLNA対応機器に録画したデジタル録画番組をFJT21に保存し、再生できます。

- DLNA対応機器はコンテンツのアップロードに対応している必要があります。
- あらかじめDLNA対応機器からFJT21へのアクセスを許可してください。

1 ホーム画面で田→「DiXiM Player」

2 DLNA対応機器側でコンテンツをアップロード

「保存先設定」(▶P.80)で設定した保存先に、コンテンツが保存されます。

3 田→「持ち出し番組」

4 持ち出し番組一覧で再生するコンテンツを選択

外部機器に接続して表示する

Miracastでテレビに表示する

FJT21に保存されている静止画、動画、音楽のコンテンツを、無線LAN(Wi-Fi®)接続を使って、Miracast対応テレビで再生できます。

1 ホーム画面で「Miracast」

2 「OFF」をタップして「ON」にする

Miracast機能と無線LAN(Wi-Fi®)機能がオンになり、接続可能な機器を検索します。

3 接続する機器を選択→「OK」

FJT21に表示されている写真や動画がテレビに表示されます。

memo

- ◎ Miracastで接続中に着信すると、出力先にも着信画面が表示されます。
- ◎ Miracastで接続中にMHLケーブル(市販品)を接続すると、Miracastの接続が切断され、MHL接続の画像が表示されます。

MirrorLinkでカーナビと接続する

MirrorLink対応のカーナビなどの車載機器とFJT21をmicroUSBケーブル(別売)で接続すると、FJT21のMirrorLink対応アプリ画面を車載機器に表示できます。また、車載機器からFJT21を操作することも可能です。

1 MirrorLink対応アプリを起動

2 microUSBケーブル(別売)でFJT21と車載機器を接続

接続されると、MirrorLink対応アプリの画面や音声が、車載機器のディスプレイで再生されます。

memo

- ◎ 一定時間が経過してスリープモードになった場合でも、車載機器への出力は停止されません。◎ または指紋センサーを押してスリープモードを設定した場合は、車載機器への出力が停止され、スリープモードを解除すると再開されます。
- ◎ 車載機器連携中、車載機器で音楽を再生している間は、タッチ操作音等は鳴動しません。

MHLでテレビに表示する

FJT21とテレビを接続して、テレビに静止画、動画、ブラウザ画面などを表示することができます。

1 接続にはMHLケーブル(市販品)が必要です。

・ HDMIケーブル(市販品)をご利用になる場合は、MHLケーブル HDMI変換アダプタ(市販品)が必要です。HDMI変換アダプタ(市販品)の接続方法については、HDMI変換アダプタ(市販品)の取扱説明書をご覧ください。

1 FJT21の外部接続端子とテレビ側のMHL対応端子をMHLケーブル(市販品)で接続

・ テレビ側のMHL対応端子への接続方法や入力の切り替え、音量の調整などについてはテレビの取扱説明書をご覧ください。

2 FJT21側で操作

memo

- ・ MHL出力中は、テレビのリモコンで静止画や動画の操作ができる場合があります。
- ・ テレビで再生する際、コンテンツによっては、全画面表示できない場合があります。また、FJT21のディスプレイが黒く表示される場合があります。

NFCを利用する

NFCとは

NFCとはNear Field Communicationの略で、ISO(国際標準化機構)で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。リーダー／ライター機能(R/W)、機器間通信機能(P2P)などがFJT21でご利用いただけます。NFCを利用したサービスによっては、ご利用になりたいサービスプロバイダのNFC対応アプリをダウンロードする必要があります。

NFCご利用にあたって

- ・ NFC対応サービスの内容、提供条件などについては、各サービス提供者にご確認、お問い合わせください。
- ・ 各サービスの提供内容や対応機種は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・ 対応機種によって、NFCで提供するサービスの一部がご利用いただけない場合があります。詳しくは、各サービス提供会社にお問い合わせください。
- ・ 次の場合は、NFCを利用できません。
 - 機内モード中
 - 充電中

NFC機能を有効にする

1 ホーム画面で「無線とネットワーク」の「その他...」

2 「NFC」にチェックを付ける

ステータスバーに■が表示されます。

- ・ Androidビームをオンにするには、「Androidビーム」→「OFF」をタップして「ON」にします。

memo

- ◎ 通知パネルからもNFCとAndroidビームのオン／オフを切り替えることができます(▶P.27)。

NFCデータをやりとりする

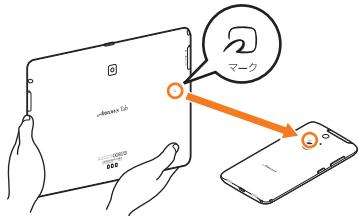
FJT21背面の□マークをリーダー／ライターにかざしたり、NFC機能を持つ機器間同士で□マークを近づけたりすることで、NFCデータのやりとりができます。

■ リーダー／ライターにかざす

- ・ □マークをリーダー／ライターにかざすだけでリーダー／ライターとやりとりできます。
- ・ □マークをリーダー／ライターにかざす際に強くぶつけないように注意ください。
- ・ □マークはリーダー／ライターの中心に平行になるようにかざしてください。なお、□マークはFJT21の中心ではなく音量キー付近にあります。かざす位置にご注意ください。
- ・ □マークをリーダー／ライターにかざす際はゆっくりと近付けてください。
- ・ □マークをリーダー／ライターの中心にかざしても読み取れない場合は、FJT21を少し浮かす、または前後左右にずらしてかざしてください。
- ・ □マークとリーダー／ライターの間に金属物があると読み取れないことがあります。また、□マークの付近にシールなどを貼り付けると、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。

■他の端末との間でデータを送受信する

NFC機能(Androidビーム)を搭載した端末との間でデータをやりとりできます。



- ・「マーク」を相手の端末の「マーク」と平行になるように重ね合わせてください。なお、「マーク」はFJT21の中心ではなく音量キー付近にあります。重ね合わせる位置にご注意ください。
- ・データの送受信が完了するまではFJT21と相手の端末を動かさないでください。
- ・送受信の操作や送受信されるデータについては、対応するアプリケーションによって異なります。画面の指示に従って操作してください。
- ・「マーク」を重ね合わせても、送受信を失敗する場合があります。失敗した場合は、送受信の操作を再度行ってください。
- ・NFC機能を利用した送受信を行う場合は、あらかじめ「NFC」と「Androidビーム」をオンにしてください(▶P.82)。
- ・「マーク」をゆっくりと重ね合わせると送受信を失敗することがあります。
- ・本体の電源が切れている状態や画面ロックの状態ではご利用いただけません。

Androidアプリを利用する

Google Playやauスマートパスを利用すると、便利なアプリケーションや楽しいゲームをFJT21にダウンロード、インストールすることができます。また、アプリケーションのフィードバックや意見を送信することができます。

memo

- アプリケーションのインストールは安全であることを確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、ウィルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、FJT21内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- 万一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどによりお客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリケーションによってはインターネットに接続し、自動で通信を行うものがあります。パケット通信料金が高額になる場合がありますのでご注意ください。

Google Playを利用する

Google Playは、Googleのサービスです。

- ・Google Playを利用するには、パケット通信接続または無線LAN(Wi-Fi®)接続が必要です。また、FJT21にGoogleアカウントを設定する必要があります。Googleアカウントが未設定の場合は、初回Google Play起動時に画面の指示に従って設定してください(▶P.23)。

アプリケーションを検索してインストールする

1 ホーム画面で[■] (Playストア)

Google Play画面が表示されます。

- ・ホーム画面で[■]→「Playストア」をタップしても起動できます。

2 「アプリ」→アプリケーションを探す

3 インストールするアプリケーションをタップ

アプリケーションの情報が表示されます。

4 説明や価格、ユーザーの評価、レビューなどを確認

5 画面の指示に従って購入またはダウンロード

ダウンロードおよびインストールが始まります。

- ・有料のアプリケーションを購入する場合は、ダウンロードする前に購入手続きを行います。
- ・アプリケーションがFJT21のデータや機能にアクセスする必要がある場合、そのアプリケーションがどの機能を利用するかを示す画面が表示されます。アプリケーションがアクセスする内容に同意する場合は「同意する」をタップします。
- ・一覧画面でインストール中のアプリケーションをタップすると、進捗状況を確認することができます。
- ・インストールしたアプリケーションは、メインメニュー(▶P.29)またはユーザー補助プラグイン一覧(▶P.113)から起動できます。

memo

○有料のアプリケーションに満足しない場合は、購入から一定時間以内にアプリケーションを削除すると、全額払い戻しを受けることができます。なお、払い戻しは、各アプリケーションに対して最初の一回のみ有効です。過去に一度払い戻しをしたアプリケーションを再度購入した場合には、払い戻すことはできません。

○アプリケーションを削除する場合は、Google Play画面で[■]→削除するアプリケーションをタップ→「アンインストール」→「OK」をタップします。

○有料のアプリケーションの支払いは、Googleウォレットを利用します。

GoogleウォレットはGoogleのサービスで、FJT21からアプリケーションを購入するための高速、安全、便利な購入手段です。

詳しくは、Googleウォレット購入者ヘルプをご覧ください。

<http://support.google.com/wallet/?hl=ja&topic=2446103&rd=3>

○Googleウォレットを持っていない場合は、画面の指示に従って操作してください。

○FJT21にGoogleウォレットが記憶されるため、他の人に使用されないようにセキュリティの解除方法を設定してください(▶P.40)。

Google Playのヘルプを利用する

1 Google Play画面で[■]→「ヘルプ」

- ・アプリケーションの選択画面が表示された場合は、使用するアプリケーションを選択します。

auスマートパスを利用する

auスマートパスは、月額390円(税込)で、アプリ取り放題、会員特典としてのお得なクーポンやプレゼント、大切な写真や動画・電話帳のお預かりサービス、セキュリティアプリなど、タブレットを安心・快適にご利用いただけるサービスです。

- 利用方法などの詳細については、auスマートパストップページ右上から『(サイドメニュー)→「設定」→「ヘルプ」をタップしてヘルプをご参照ください。
- ご利用の際はパケット通信料が高額になる場合がありますので、パケット通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめします。
- 一部アプリは、別途有料となる場合があります。

1 ホーム画面で■(auスマートパス)

- ホーム画面で■→「auスマートパス」をタップしても起動できます。
- アプリケーションの選択画面が表示された場合は、使用するアプリケーションを選択します。

2 「auスマートパス」

auスマートパスのサービス一覧画面が表示されます。

- auスマートパストップページ右上→『(サイドメニュー)→「auスマートパス」をタップしても、auスマートパスのサービス一覧画面を表示できます。
- auスマートパスに登録いただいている場合は、「auスマートパス会員登録・退会」をタップし、au IDとパスワードを入力後、利用規約の内容をご確認のうえ、「利用規約に同意」をタップしてください。au IDをお持ちでない場合は、au IDを取得してください。

3 項目を選択

タイムライン	auスマートパストップページに戻り、タイムラインを表示します。
会員特典	クーポン、イベント、ショッピングなど、さまざまな会員限定の特典をご利用いただけます。
アプリ	利用したいアプリケーションを検索してダウンロードできます。
映像*	映画・ドラマ、アニメを検索して閲覧できます。
音楽*	最新の洋楽からJ-POP、懐かしのヒット曲を検索して聴くことができます。
ブック*	コミック、小説、雑誌、実用書、写真集などの電子書籍を検索して楽しむことができます。
クーポン	現在地周辺の利用できるクーポンを確認・利用できます。
あんしん	本製品を安心してご利用いただくためのアプリケーションやサービスなどを確認できます。
auスマパス総会	auスマパス総会の確認や参加ができます。

*一部有料となる場合があります。

memo

- サービスを解約された場合、すべてのサービスが利用できなくなります。ダウンロードしたアプリについてはサービス解約後、自動的に消去されます。解約後はご利用いただけません。
- アプリケーションなどによりお客様が操作していない場合でも自動的にパケット通信が行われる場合があります。
- ご利用になれるコンテンツは機種によって異なる場合があります。
- 各コンテンツは予告なく終了、または内容が変更になる場合があります。

ハングアウトを利用する

ハングアウトは、Googleのインスタントメッセージサービスです。ハングアウトを使用して、メンバーとチャットを楽しむことができます。

- ハングアウトを利用するには、パケット通信接続または無線LAN(Wi-Fi®)接続が必要です。また、FJT21にGoogleアカウントを設定する必要があります。Googleアカウントが未設定の場合は、初回起動時に表示される画面の指示に従って設定してください(▶P.23)。
- 利用方法などの詳細については、Googleのホームページをご覗ください。
- サービス内容は予告なく変更される場合があります。

チャットを開始する

1 ホーム画面で■→「ハングアウト」

ハングアウト画面が表示されます。チャットする相手の名前をタップすると、チャット画面が表示されます。

- 新規の相手とチャットを開始する場合は、チャットする相手をタップ→「メッセージ」をタップします。
- チャット画面で■をタップすると、ビデオハングアウトに切り替えることができます。

チャット画面のメニュー操作

チャット画面表示中に■をタップすると、グループチャットや履歴のオン／オフなどの操作ができます。

- チャットのメッセージはGmailの「チャット」ラベルに保存されますが、履歴をオフにすると保存されません。

ハングアウト画面のメニュー操作

ハングアウト画面で名前やメールアドレス、電話番号を入力して新しいメンバーを追加することができます。

また、ハングアウト画面で■をタップすると、ハングアウトリクエストや設定などの操作ができます。

ハングアウトの機能を設定する

新着メッセージ通知を設定する

1 ハングアウト画面で■→「設定」

2 アカウントを選択→必要な項目を設定

ログアウトする

新着メッセージを受け取らないときはログアウトします。

1 ハングアウト画面で■→「設定」

2 アカウントを選択→「ログアウト」→「OK」

memo

- ハングアウトを終了しても新着メッセージを受け取りたいときはログアウトしないでください。
- ビデオハングアウトでチャットしている場合は、ビデオハングアウトを終了してからログアウトしてください。